THE ANNUAL REPORT ON ARCHAEOLOGICAL RESERCHERS THE KUMAMOTO UNIVERSITY/2000

7

熊本大学埋蔵文化財調査室年報　2000年度

2001　熊本大学埋蔵文化財調査室

THE ANNUAL REPORT ON ARCHAEOLOGICAL RESERCHERS

THE KUMAMOTO UNIVERSITY/2000

7

熊本大学埋蔵文化財調査室年報　2000年度

2001　熊本大学埋蔵文化財調査室

序　文

熊本大学にあっては、文、教育、法、理、工の５学部が置かれている黒髪地区、医学部及び同附属病院のある本荘地区、それに薬学部の主要キャンパスに加え、医療技術短期大学部九品寺地区、教育学部附属小・中学校が設置されている京町地区、さらには、学生諸君の体育の場に供されている旧電波工業専門学校跡の大江地区と、数多くのキャンパスで教育と研究が営まれている。これらのキャンパスは熊本市内に散在しているが、いずれも市の主要な地域を占め一世紀以上もの歴史を重ねており、埋蔵文化財包蔵地に指定されている。

キャンパスの再開発にあたり、本学では、キャンパス内に埋蔵されている文化財を調査保存し活用する目的で、埋蔵文化財調査室と埋蔵文化財調査委員会を学内措置により設置し、学内の要請に応え鋭意調査を実施してきた。また、貴重な文化財については詳細に記録に残すと共に、その保存に努めてきた。本調査年報は、2000年度の調査記録である。

本年度の調査は、本年報に記載されているように、比較的規模の小さい調査が多く、発掘調査４か所、立会調査17か所、試掘調査２か所にとどまった。しかし、調査によって得られた成果は大きく、資料もまた価値の高いものであった。

例えば、医学部附属病院が設置されている本荘北地区の調査は、同病院の主要病棟の新築工事に関連する共同溝敷設に伴う本年度の最も調査面積の大きなものであり、興味深い成果が得られた。この地区の調査は病棟本体の建設に際し、昨年度も実施されているが、本荘北地区西部の古墳時代初頭から古代にかけての集落がさらに北側に、白川岸に向けて広がることが明らかにされ、昨年度の調査における予見が確認されたのである。また、教育学部附属中学校の体育器具庫改築に伴う発掘調査では、京町地区についての1994年度に実施された調査結果、すなわち弥生時代後期と江戸時代の遺物、遺構、に加え弥生時代末葉の包含層と炉址及び古代の土壙と各時代の遺物が今回の調査で確認された。

これらの調査結果は、既に触れたように、熊本大学の各キャンパスが熊本市域での太古から現在に至る人々の営みの足跡を知る上で、貴重な生活跡や遺物を包蔵していることを端的に物語っている。のみならず、今回の調査結果は今後の調査にも意義の大きな指針を与えるものである。

年毎に調査は着実に進められているが、既に述べた如く、本学の埋蔵文化調査室は、国によって保証された施設ではなく、あくまでその必要性から本学が自発的に設置した学内施設である。したがって、調査を円滑に実施するための人的並びに財政的条件も甚だ厳しく、常に限界を超えた自助努力が強いられてきた。にも拘わらず、年毎に高く評価され得る成果が蓄積されてきたのは、ひとえに、埋蔵文化財調査室と埋蔵文化財調査委員会の不断の努力の賜物である。

本年度の熊本大学埋蔵文化財調査年報が刊行されるにあたり、埋蔵文化財調査室長甲元眞之文学部教授はじめ調査にあたられた方々、並びに埋蔵文化財調査委員会委員各位に深く感謝する。また、年々刊行される熊本大学埋蔵文化財調査年報が、将来の関連領域研究と熊本地域の文化の理解の促進のために広く活用されると共に、埋蔵文化財調査室の意義深い地道な活動が、より力強く全学的に支えられることを切に願うのである。

2001年３月

熊本大学

学　長　江口吾朗

例　言

1. 本書は熊本大学構内において，2000年４月１日から2001年３月31日まで行われた埋蔵文化財の調査および熊本大学埋蔵文化財調査室の活動内容に関する年次報告書である．
2. 構内遺跡の調査は，昨年度に引き続き，年次と調査順を表す調査番号で表すこととし，出土遺物や記録類もこの番号で整理・管理している．
3. 遺跡略号は，地区ごとにローマ字３文字で以下のように表記した．黒髪町遺跡黒髪南地区（KKS），同北地区（KKN），本庄遺跡病院構内（HJH），京町地区京町台遺跡（KMS），大江地区大江遺跡（OED）．
4. 遺物への注記は，遺跡略号＋調査番号＋出土遺構（位置）の順で行った．
5. 本書に掲載した遺物やその他の出土遺物および調査にかかわる記録類はすべて熊本大学埋蔵文化財調査室にて保管している．
6. 本書で使用した遺構実測図は，小畑弘己・大坪志子，遺物実測・製図は大坪・冨永明子が行った．
7. なお，遺構実測には手書きによる記録とともに遺跡調査汎用システム（カタタ Ver. 3－アーケオテノクノ社）を使用した．
8. 本書の執筆は，表１・２，付篇１・２および抄録を冨永が，Ⅱ－２を小畑が，第Ⅲ章は小畑・大坪が，跋文は甲元室長が，英文サマリーを小畑・大坪が，ハングル文については小畑が行った．その他の文章は大坪が執筆した．
9. 本書の編集は，甲元室長の指導のもと大坪が行った．

目　次

＜本文目次＞

第Ⅰ章　本年度の調査概要 ―― 1
第Ⅱ章　発掘調査 ―― 5
Ⅱ－1　0006調査地点 ―― 5
1. 遺跡の立地と周辺遺跡 ―― 5
2. 調査の概要（Ⅰ区）―― 5
3. 調査の結果 ―― 5
a　基本層序 ―― 5
b　検出遺構と遺物 ―― 9
4. 調査の概要（Ⅱ区）―― 16
5. 調査の結果 ―― 16
a　基本層序 ―― 16
b　検出遺構と遺物 ―― 16
6. 調査の概要（Ⅲ区）―― 19
7. 調査の結果 ―― 19
a　基本層序 ―― 19
b　検出遺構と遺物 ―― 19
8. 成果と問題点 ―― 19
Ⅱ－2　0007調査地点 ―― 23
1. 遺跡の立地と周辺遺跡 ―― 23
2. 調査の概要 ―― 23
3. 調査の結果 ―― 23
a　基本層序 ―― 23
b　検出遺構と遺物 ―― 23
第Ⅲ章　立会・試掘調査 ―― 25
Ⅲ－1　黒髪北地区 ―― 25
1. 黒髪北地区生涯学習教育研究センタースロープ取設工事（0008）―― 25
2. 黒髪北地区体育部室解体・新営工事（0010）―― 25
3. 黒髪地区外灯取設工事（0012）―― 25
4. 旧生活共同組合事務所解体撤去工事（0014）―― 27
Ⅲ－2　黒髪南地区 ―― 27
1. 水生動物飼育舎新営工事その他（給排水管）（0001）―― 27
2. 水生動物飼育舎新営工事その他（電気工事）（0002）―― 27
3. 黒髪地区S．V．B．Lに伴う新営電気工事（0004）―― 27
4. 工学部植栽工事（0005）―― 28
5. 理学部1・2号館身体障害者用設備整備工事（0009）―― 28
Ⅲ－3　本荘北地区 ―― 28
1. 医学部附属病院格納庫移設工事（0003）― 28
2. 附属病院基幹・環境整備（0006）―― 30
2－1　第1井戸受水槽設営工事 ―― 30
2－2　第3井戸給排水管配管工事 ―― 30
2－3　電気設営工事 ―― 31
2－4　第1井戸給水管配管工事 ―― 31
2－5　給水管工事 ―― 31
Ⅲ－4　大江地区 ―― 32
1. 旧ボイラー室・旧食堂一部解体・撤去工事（0011）―― 32
2. 渡鹿団地尚武館取壊し工事（0013）―― 32
跋　文 ―― 33
Summary ―― 34
付篇1　寄贈図書一覧（1994～2000年度）―― 35
付篇2　2000年度熊本大学埋蔵文化財保護対策組織 55
付篇3　9911調査地点 ―― 58
1. 遺跡の立地と周辺遺跡 ―― 58
2. 調査の概要 ―― 58
3. 調査の結果 ―― 58
a　基本層序 ―― 58
b　検出遺構と遺物 ―― 58
4. 成果と問題点 ―― 58
報告書抄録 ―― 60

＜図版目次＞

図1　黒髪町遺跡・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図（1/25000）―― 2
図2　本荘北地区における調査地点配置図（1/2000）6
図3　0006調査地点遺構配置図実測図（1/80）―― 7
図4　調査区壁・各遺構土層断面実測図（1/30・1/50）―― 8
図5　22・29号竪穴住居址実測図（1/50）―― 10
図6　22号竪穴住居址出土遺物実測図（1/4）―― 11
図7　9号竪穴住居址実測図・出土遺物実測図（1）（1/50・1/4）―― 13
図8　9号竪穴住居址出土遺物実測図（2）（1/4）― 14
図9　28号竪穴住居址実測図・出土遺物実測図（1/50・1/4・1/3）―― 15
図10　その他の遺物（1/3・1/4）―― 16
図11　Ⅱ区出土遺物実測図（1）（1/4・1/8）―― 17

図12　Ⅱ区出土遺物実測図（2）（2/3・1/1・1/3）— 18
図13　京町地区における調査地点配置図（1/3000）— 24
図14　0007調査地点遺構全体図および土層断面実測図
（1/100）— 24
図15　黒髪北地区における調査地点配置図（1/2000）26
図16　黒髪南地区における調査地点配置図（1/2000）29
図17　黒髪南地区における調査地点配置図（1/2000）・
9911調査区土層断面図（1/80）（南西・北西壁）59

＜写真目次＞

写真１　Ⅰ区全景（東より）— 9
写真２　22号住居址（南より）— 9
写真３　22号住居址遺物出土状況（北東より）— 9
写真４　29号住居址（北西より）— 11
写真５　9号住居址（南より）— 12
写真６　9号住居址遺物出土状況（南より）— 12
写真７　28号住居址（北より）— 12
写真８　Ⅱ区1号土坑遺物出土状況（北より）— 16
写真９　Ⅱ区2号土坑遺物出土状況（東より）— 18
写真10　Ⅱ区遺物出土状況・土器群1（北東より）— 18
写真11　Ⅱ区遺物出土状況・土器群2（西より）— 18
写真12　Ⅲ区全景（南より）— 19
写真13　出土遺物１— 20
写真14　出土遺物２— 21
写真15　出土遺物３— 22
写真16　Ⅰ区全景（北より）— 23
写真17　Ⅱ区全景（東より）— 23
写真18　0008調査地点調査区全景（北東より）— 25
写真19　0012－3調査地点掘削状況（西より）— 25
写真20　0001調査地点掘削風景（北西より）— 27
写真21　0002調査地点掘削状況（南東より）— 27
写真22　0004調査地点全景（北より）— 28
写真23　0009調査地点エレベーター設置部調査状況
（西より）— 28
写真24　0003調査地点1トレンチ掘削状況（東より）30
写真25　0006調査地点試掘状況（北より）— 30
写真26　0006調査地点掘削状況（西より）— 30
写真27　0006調査地点掘削状況（北より）— 31
写真28　0006調査地点ピット検出状況（東より）— 31
写真29　0006調査地点掘削状況（西より）— 31
写真30　0006調査地点試掘状況（西より）— 32
写真31　0013調査地点基礎撤去状況（北より）— 32
写真32　Ⅱ区全景（東南より）— 58

＜表目次＞

表１　熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧 — 1
表２　2000年度調査一覧 — 3
表３　寄贈図書一覧 — 35

第Ⅰ章　本年度の調査概要

本年度の埋蔵文化財の調査は，表2にあるように，発掘調査4件，立会調査17件，試掘調査2件であった．

本年度の事業は表2の調査面積からも分かるように，規模の比較的小さい事業が多かった．しかし，後述のように資料的には得たものは大きかった．

最も調査面積の大きかったのは本荘北地区における基幹整備事業である．共同溝敷設のための支障配管替えと受水槽建設に伴う調査である．

本荘北地区において昨年度実施された病棟建設に伴う調査（9901）によって，本荘北地区の西部には古墳時代初頭から古代にかけての集落があることが明らかとなっていたが，今回の調査によってこれがさらに北側に広がることが確認された．敷地の北側の縁辺部まで遺跡が広がっており，白川の河川敷へ延びる様相を呈している．支障配管替えによる立会調査では，3号病棟建設による基礎工事の根切りが予想のほか周囲に及んでいないことが分かった．遺物も非常に良好な状態で出土した．器種も豊富であり一括資料としては昨年度の調査に比肩するものである．今後，隣接地で予定されている共同溝敷設工事による調査でも同様な遺構・遺物の出土があるものと思われる．

一方，病院敷地内東側における第一井戸受水槽新設予定地では，当初から予想されていたとおり旧小松原墓地（明治初～昭和40年代）の墓石・遺体が検出された．調査区の一部を試掘した結果，墓地の下にはその他の時代の遺構等は検出されなかった．

京町地区では体育器具庫新営に伴う発掘調査を行った．1994年度に実施された熊本大学附属中学校コンピューター教育施設新設工事に伴う調査以来である．このときの調査で弥生時代後期と江戸時代の遺物・遺構が確認されていた．今回の調査では，弥生時代終末の包含層・炉址と古代の土壙と各時期の遺物が出土した．94年度の調査では，遺構面まですでに削平されており，住居址などはかろうじてその規模を知り得たようである．しかし，今回の調査結果から京町地区でも，削平をまぬがれた台地斜面部においては，概ね包含層・遺構が良好に遺存していることが予想されよう．

この他の立会調査・試掘調査により，部分的ではあるが包含層あるいは遺構面の有無や深さが少しずつ把握されてきている．本年度実施された調査は小規模ながら，情報としては有意義な内容であった．

表1　熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧（アミ部分は本年度調査した地区を示す）

No.	地区名（学部名）	所在地	遺跡名称	遺跡の種類	遺跡の時代	備　考
1	黒髪北地区（法・文・教・大教センター） 黒髪北地区（教育学部附属養護学校）	熊本市黒髪2丁目40-1 熊本市黒髪5丁目17-1	黒髪町遺跡	集落址	縄文・弥生 奈良・平安	
2	黒髪南地区（工・理）	熊本市黒髪2丁目39-1	黒髪町遺跡	集落址	縄文・弥生 奈良・平安	
3	京町地区（教育学部附属小・中学校）	熊本市京町本丁5-12	京町台遺跡	集落址	弥生・近世	
4	城東地区（教育学部附属幼稚園）	熊本市城東5-9	熊本城址	城館址・熊本城関連遺構	近世	
5	教育学部新南部農場	熊本市新南部居屋敷240-1	新南部遺跡	散布地	縄文・弥生	
6	理学部臨海実験所	天草郡松島町大字会津6061	前島貝塚	集落址	縄文・弥生	1995年度の調査によって貝塚でないことが判明
7	本荘南地区（医）	熊本市本荘2丁目2-1	本庄遺跡	散布地・集落址	縄文・弥生・奈良・平安・中世	
8	本荘北地区（医学部附属病院）	熊本市本荘1丁目1-1	本庄遺跡（熊大病院敷地遺跡）	散布地・集落址・墓地	縄文・弥生・古墳・奈良・平安・近代	
9	九品寺地区（医療技術短期大学部）	熊本市九品寺4丁目24-1	本庄遺跡	散布地・集落址	縄文・弥生・奈良・平安・中世	周辺遺跡
10	薬学部（薬）	熊本市大江本町5-1	出水国府跡	官衙址	奈良・平安	周辺遺跡
11	大江地区	熊本市渡鹿4丁目1-1	大江遺跡	集落址	奈良・平安	

図１　黒髪町遺跡・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図（1/25000）

表２　2000年度調査一覧

調査期日	調査番号	地　点　名	調査の種類	調査面積	時　代	遺構・遺物
00・４・７	０００１	黒髪団地南地区水生動物飼育舎新営給水管設営工事	立会調査	6.1㎡		遺構・遺物なし
00・４・11	０００２	黒髪団地南地区水生動物飼育舎新営電気設営工事	立会調査	4.1㎡		遺構・遺物なし
00・４・17	０００３	（医病）格納庫移設工事	試掘調査	5.8㎡		遺構・遺物なし
00・10・23	０００４	工学部衝撃・極限環境研究センター・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー棟新営電気設営工事	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし
00・10・30	０００５	工学部植栽工事	立会調査	63㎡		遺構・遺物なし
00・11・６～11・22	０００６（Ⅰ区）	（医病）基幹・環境整備第３井戸受水槽設営工事	発掘調査	119.4㎡	縄文・古墳古代	縄文時代石器・古墳時代住穴・住居址・土師器・須恵器
00・11・22	０００６	（医病）基幹・環境整備第１井戸受水槽設営工事	試掘調査	４㎡（工事面積63㎡）	近・現代墓地	墓石・墓壙・遺骨
00・11・27～11・29	０００６	（医病）基幹・環境整備第３井戸給水管配管工事	立会調査	85.5㎡		遺構・遺物なし
00・12・４～12・13	０００６（Ⅱ区）	（医病）基幹・環境整備排水管配管工事	発掘調査 立会調査	32㎡（工事面積97.6㎡）		土壙状遺構・縄文時代石器土師器・ガラス玉・鉄器・須恵器
00・12・８～01・１・10	０００６（Ⅳ区）	（医病）基幹・環境整備電気設営工事	立会調査	31.5㎡		遺構なし 土師器数点
00・12・19～12・20	０００６（Ⅲ区）	（医病）基幹・環境整備排水管配管工事	発掘調査 立会調査	20.4㎡	古代	住居址・土師器
00・12・26～12. 28	０００６	（医病）基幹・環境整備第１井戸給水管配管工事	立会調査	100.7㎡	近・現代墓地	近・現代墓壙・墓石・遺骨
01・１・29	０００６（Ⅴ区）	（医病）基幹・環境整備給水管配管工事	立会調査	７㎡		遺物・遺構なし
01・１・22～１・30	０００７	附属中学校体育器具庫改築工事	発掘調査	119.4㎡	弥生・古代	弥生・古代土師器・鉄器・土製紡錘車
01・２・５	０００８	黒髪団地北地区生涯学習境域研究センタースロープ取設工事	立会調査	28㎡		撹乱を受けており，遺構・遺物ともに検出できず
01・２・６～２・９	０００９	理学部１・２号館身体障害者用設備整備工事	立会調査	70㎡	古代	包含層を確認・土師器・須恵器
01・２・16～２・20	００１０	黒髪団地北地区体育系部室解体・新営工事	立会調査	372㎡		遺構・遺物なし
01・２・22	００１１	大江地区旧食堂解体撤去工事・旧ボイラー室解体撤去工事	立会調査	132㎡		遺構・遺物なし
01・３・５～６	００１２	黒髪北地区外灯取設工事	立会調査	３㎡		遺構・遺物なし
01・３・６	００１３	大江地区屋内運動場〔尚武館〕取り壊し工事	立会調査	500㎡		遺構・遺物なし
01・３・22	００１４	黒髪団地北地区旧生活協同組合事務所解体撤去工事	立会調査	66㎡		遺構・遺物なし

第Ⅱ章　発掘調査

Ⅱ—1　0006調査地点

1. 遺跡の立地と周辺遺跡

本荘北地区に所在する本庄遺跡は，熊本市遺跡地図№8－95の熊大病院敷地遺跡として周知されている遺跡である．

阿蘇に発する白川は，中流域で河岸段丘を発達させながら熊本大学黒髪地区付近で蛇行したあと，ゆるやかに曲線を描きながら有明海にそそぐ下流へとつづく．本遺跡はその中流から下流へさしかかる地点であり，白川左岸に形成された自然堤防上（標高14m）に位置している．

本荘北地区は，校舎・病棟の新営などにより規模の大きな調査を行ってきた地区である．これまでの発掘調査では，まず8世紀～9世紀の古代の集落址が調査され(9601)，「田井」「杉本寺」などのヘラ書きや墨書をもつ土器が大量に出土している．本遺跡の上流にはこれらと類似した「田井」のヘラ書き土器が出土している大江遺跡群や新屋敷遺跡といった奈良・平安時代の集落址がある．また古墳時代前期の住居址が，付近一帯としては初めて確認され，古墳時代から古代にかけての複合的な遺跡の広がりを示している（熊本大学埋蔵文化財調査室年報3）．また1998年度の発掘調査（9807）では，7世紀後半から9世紀初頭にかけての竪穴住居址や掘立柱建物を検出した（熊本大学埋蔵文化財調査室年報5）．さらに昨年度の調査（9901）では古墳時代初に遡る時期の住居址や溝などが検出され，古墳時代前期から古代にかけての集落を確認した．本遺跡の営みは縄文時代に始まり，また古墳時代前期からの集落が広がることが明らかとなっている（熊本大学埋蔵文化財調査室年報6）．

2. 調査の概要（Ⅰ区）

本事業は平成10年の年度当初，計画にあげられていた事業である．当時の計画では病棟の新営工事とそれに付随する共同溝があげられ10年度に発掘調査の申請も行っている．そのうち病棟新営工事に伴う発掘調査は昨年度実施した（9901）．

共同溝に関しては昨年度より7月から調査の実施が予定されていたが，施設部より具体的な日程調整の打診と病院からの許可を受け調査に入ったのは11月上旬である．

本年度実施した調査は，共同溝敷設に伴う支障配管替えと第1井戸（Ⅰ区)･第3井戸受水槽建設，それに伴う給・排水管配管工事（Ⅱ～Ⅴ区）に伴う調査である．

Ⅰ区の本調査は10月30日に1次掘削を行い，11月6日第3井戸受水槽設営地点から調査を始め，随時給・排水管等の立会を行った．Ⅱ区及びⅢ区は本来排水管配管工事に伴う立会調査を実施する予定であったが，遺物と遺構面を検出したため，急遽発掘調査に切り替えた．これら一連の調査で古墳時代前期から古代にかけての住居址等の遺構と遺物を確認した．

なお，図面中の遺構の番号については遺構の種類によらず検出順に1連の番号を与えている．

＜調査面積＞

Ⅰ区　119.4㎡

Ⅱ区　32㎡（工事部分97.6㎡）

Ⅲ区　20.4㎡

＜調査期間＞

Ⅰ区　2000年11月6日～11月22日

Ⅱ区　2000年12月4日～12月13日

Ⅲ区　2000年12月19日～12月20日

＜調査員・参加者＞

大坪志子．

岡田イツ代，岡村久美子，河野義勝，黒木タケ子，早田小百合，高松北子，水上順子，宮村邦子，村上幸子，森川征子，森川護，森田ミドリ．

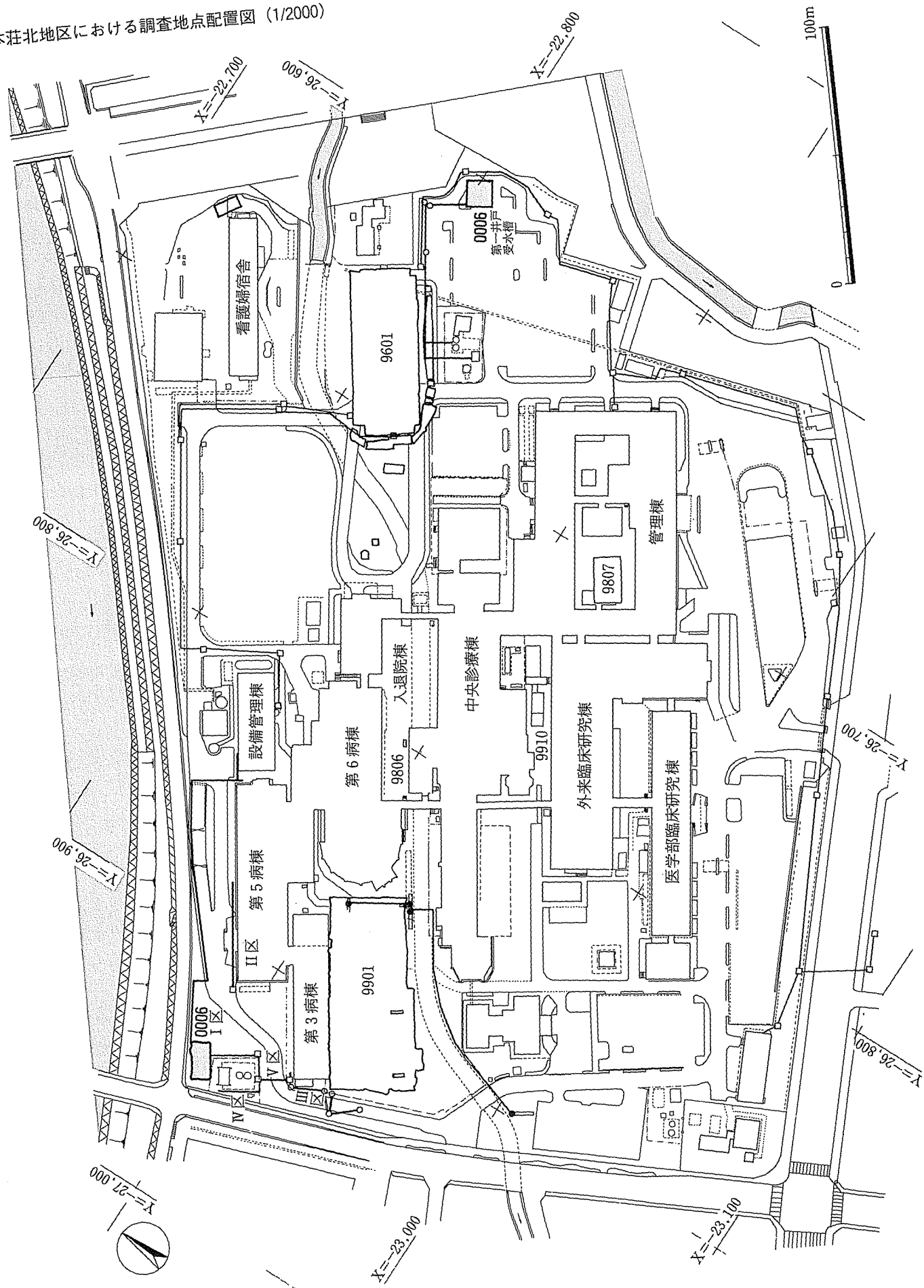
3. 調査の結果

a　基本層序（図4－2）

Ⅰ区は，本荘北地区の西北端に位置する。以前この付近には建築物があったようで，調査区周囲の土層はほとんど撹乱を受けていた．調査区の西壁で確認した土層は次のとおりである．

1層は現代埋土で，以前にあったと思われる建物の基礎も観察された．茶碗等のゴミが投棄されている．建物撤去後の整地のための客土か，黒色の砂が上部に堆積している．2層は近世・近代の耕作土である．3層－黒褐色土（10YR2/2-2/3，厚さ20～35cm），4層－黒褐色土（10YR2/3，20cm）が古墳～古代の遺物包含層および遺構の覆土である．5層－暗褐色土（10YR3/4）はいわゆる地山であり遺構検出面である．4層は3層と5層の漸移層のようである．黒髪北地区の調査では（9802調査地点）この5層に縄文時代前期の土器が包含されることが

図2　本荘北地区における調査地点配置図（1/2000）



Ⅱ−1　０００６調査地点

図３　0006調査地点遺構配置図実測図（1/80）（アミは撹乱）

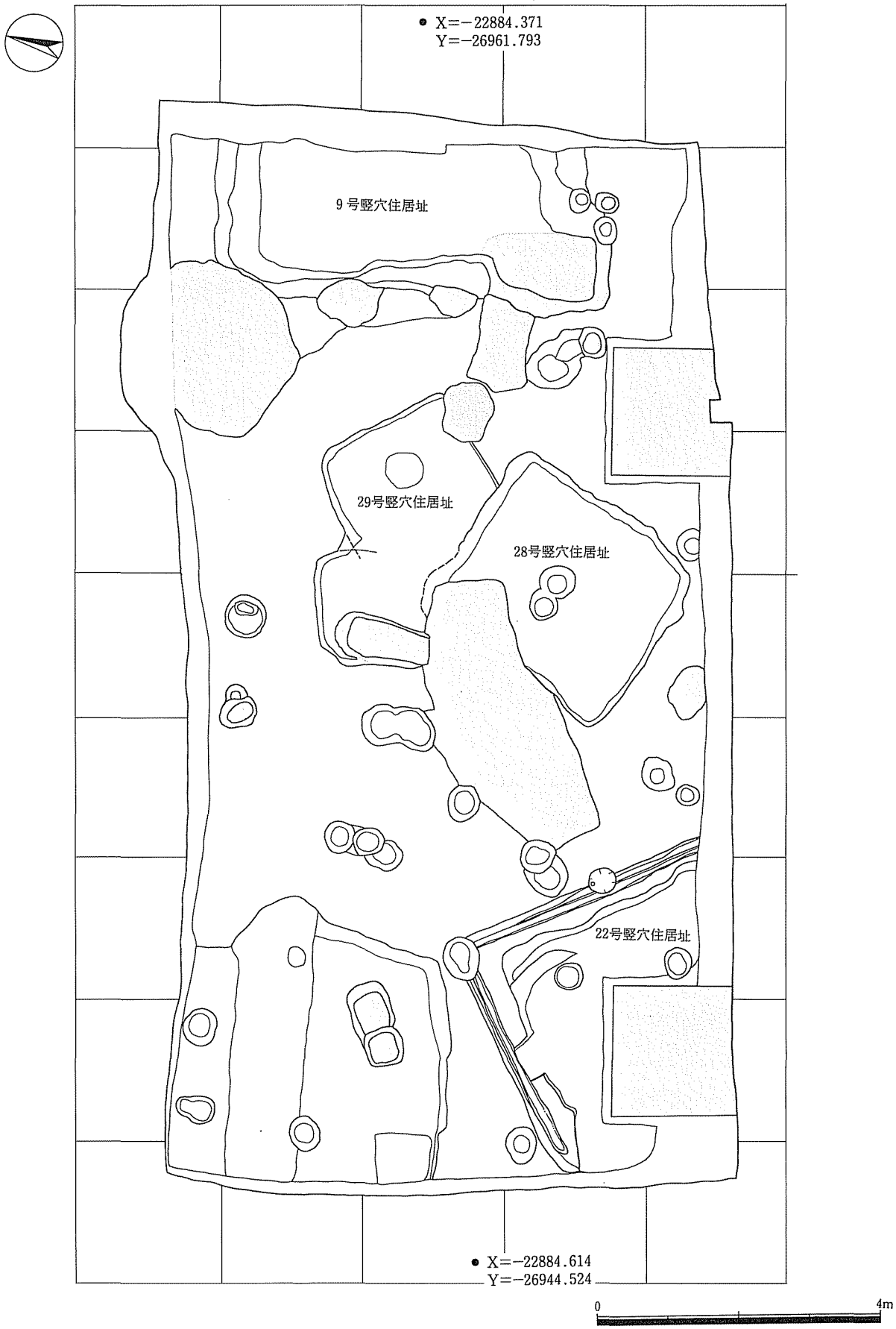
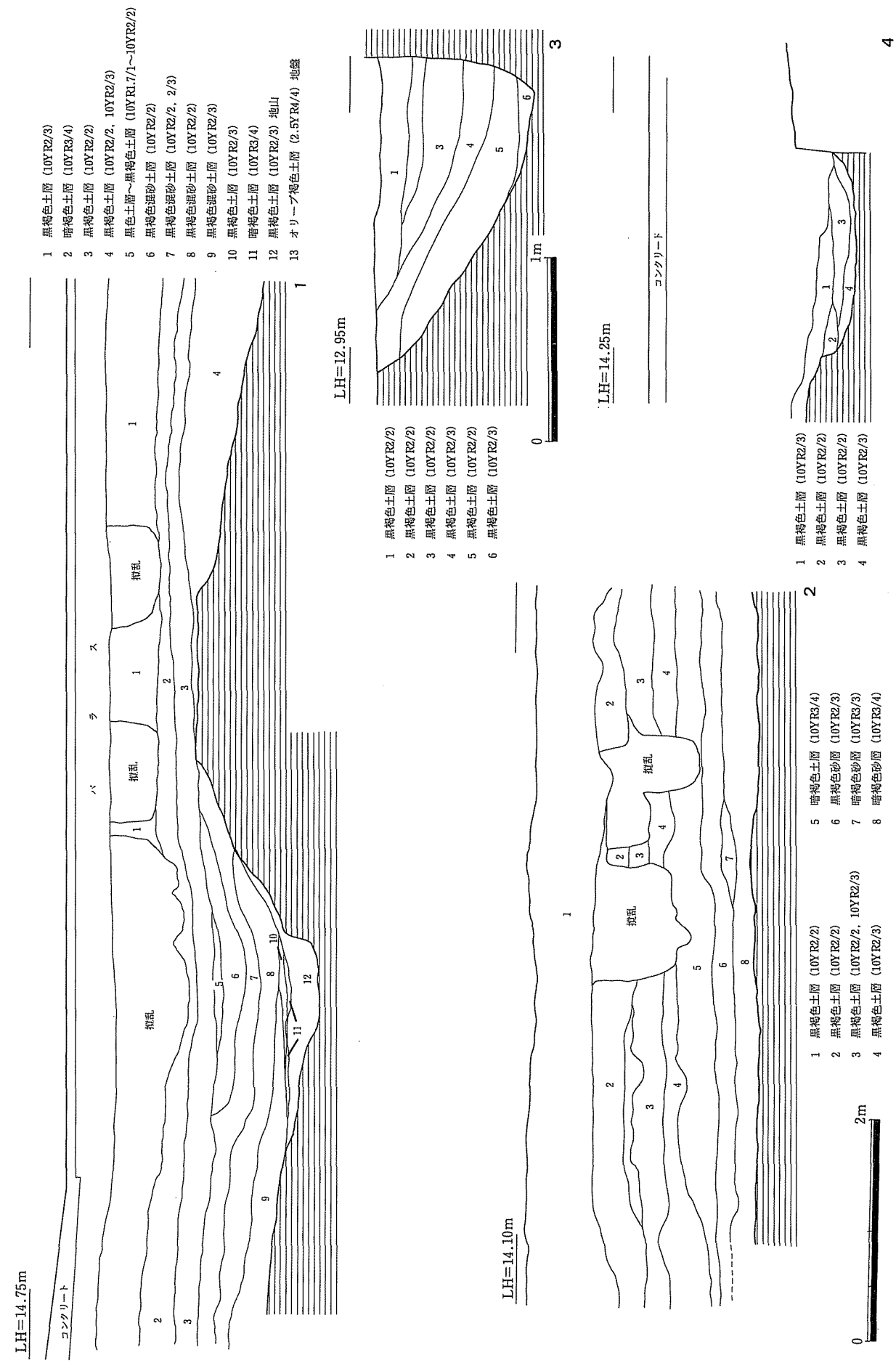
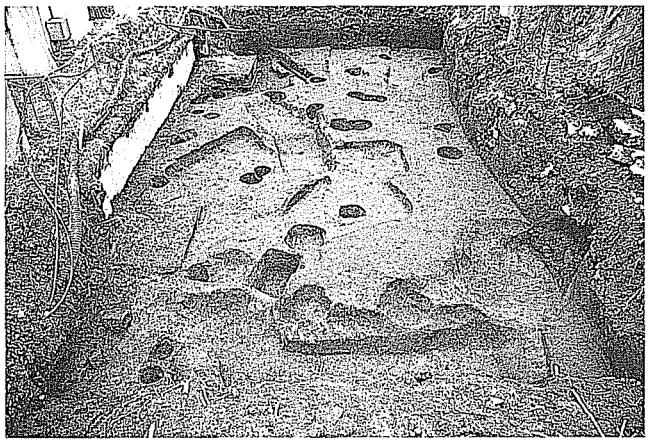


図4　調査区壁・各遺構土層断面実測図（1/30・1/50）



Ⅱ—1　０００６調査地点

写真１　Ｉ区全景（東より）



確認されており，本荘北地区においても今回の調査地点に近接する9901調査地点で縄文時代の黒曜石製の石器が遺構検出面（5層）に含まれる様相がうかがえた．そこで今回遺構の実測を終了した後この遺構検出面以下を一部掘り下げてみた．6層以下はすべて砂層であり，8層の下は砂質の礫からなる基盤層である．この試掘による縄文時代の遺物の出土はなかった．

Ｉ区

b　検出遺構と遺物（図３）

今回調査で検出した遺構は，古墳時代前期の竪穴住居址２基と当該期のものと考えられるもの１基，古代の竪穴住居址と思われるもの１基，柱穴と考えられるものも含めピットが29である．

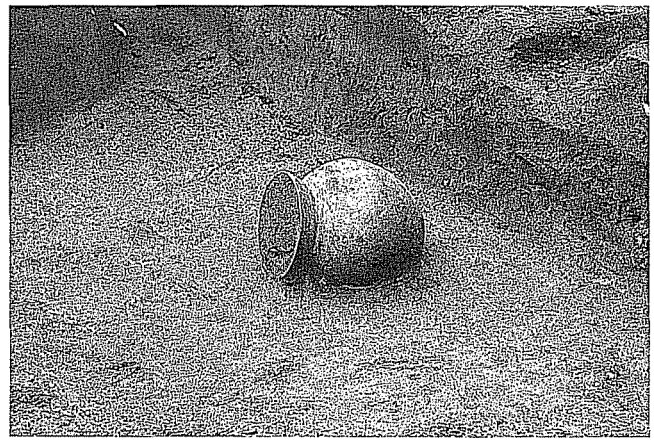
＜竪穴住居址＞

22号竪穴住居址（図５）

調査区の南西隅で検出された．西壁と南壁にかかっており，全体の規模は不明である．現在長3.8m×3.9mであり，主軸は南北から45°ほど東に振れている．当初，プランを確認してのち30～35cm程度掘り下げ地山と認

写真２　22号住居址（南より）

写真３　22号住居址遺物出土状況（北東より）



識している暗褐色土を検出し，土師器甕と小形丸底壷の２点が出土したためここを床面とした．しかし，建物基礎による撹乱部分を清掃していた際，下方より土器が出土し，断面観察から，床と認定した暗褐色土層下に別の黒色土の層があることが分かった．黒色土層の広がりに従い床面と思われた暗褐色土を除くと，黒色土層下に地山が検出された．その結果，完掘状況としては壁の下が幅20～30cmのテラス状になり，テラスには幅10cm程度の壁溝が廻る．そして住居の中央が一段下がる．これは，昨年度の調査において検出された住居址（9901調査地点：352・353号住居址）と類似しており，主軸方向も同一である．いずれも同じような建物基礎によって破壊を受けているが，包含層（遺構覆土）と思われる黒色土層が良く残っており，遺物もその中から比較的破損の少ない状態で出土している．ベッド状遺構を持つ住居址のようであるが、最初に検出した暗褐色の層は壁の崩落・流れ込み、あるいは撹乱によるもののような様子もなく、床面である可能性も考えられる．

遺物は土師器が出土した（図６）．上段の床面から出土したものは図６－７・13である．その他のものは黒色土層からの出土である．おおよそ４世紀後半のものである．

29号住居址（図５）

調査区の中央で検出された．28号住居址と撹乱土壙により南西部を破壊されている．現在長2.2m×2.16m程である．主軸は22号住居址と同じで，東に45°程振れている．これは昨年度に確認した古墳時代前期の住居址と同様で，条里制が施行される以前の，この一帯の住居址は主軸を北東―南西にとっていたことを示している．プランを検出した時には，既に上面がかなり削平されており，深さは15cm程度しか残っていなかった．住居址中央のやや南西部で，焼土の広がりを確認した．

南西部の突出した部分との切りあいは，現場で正確に

図5　22・29号竪穴住居址実測図（1/50）

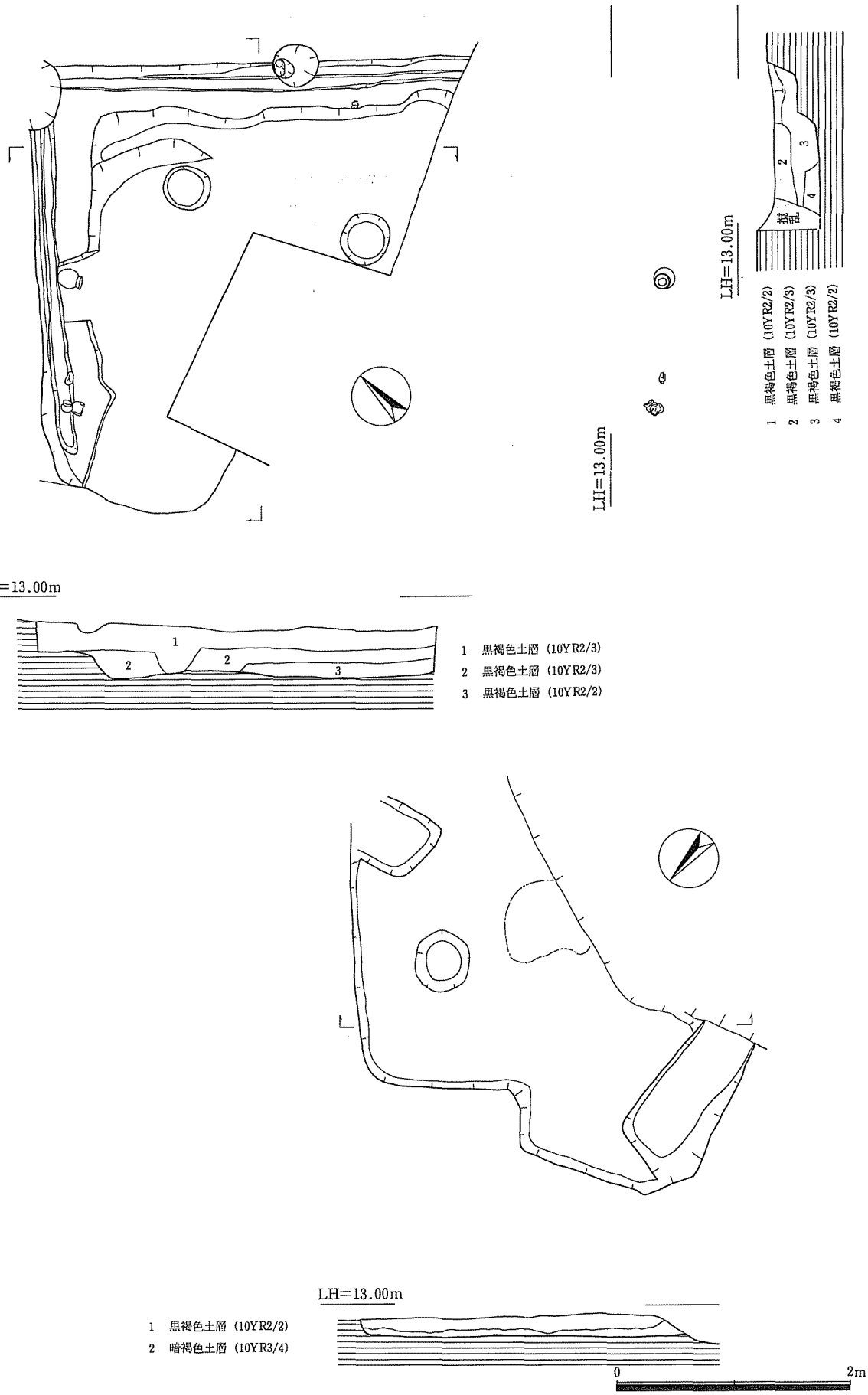
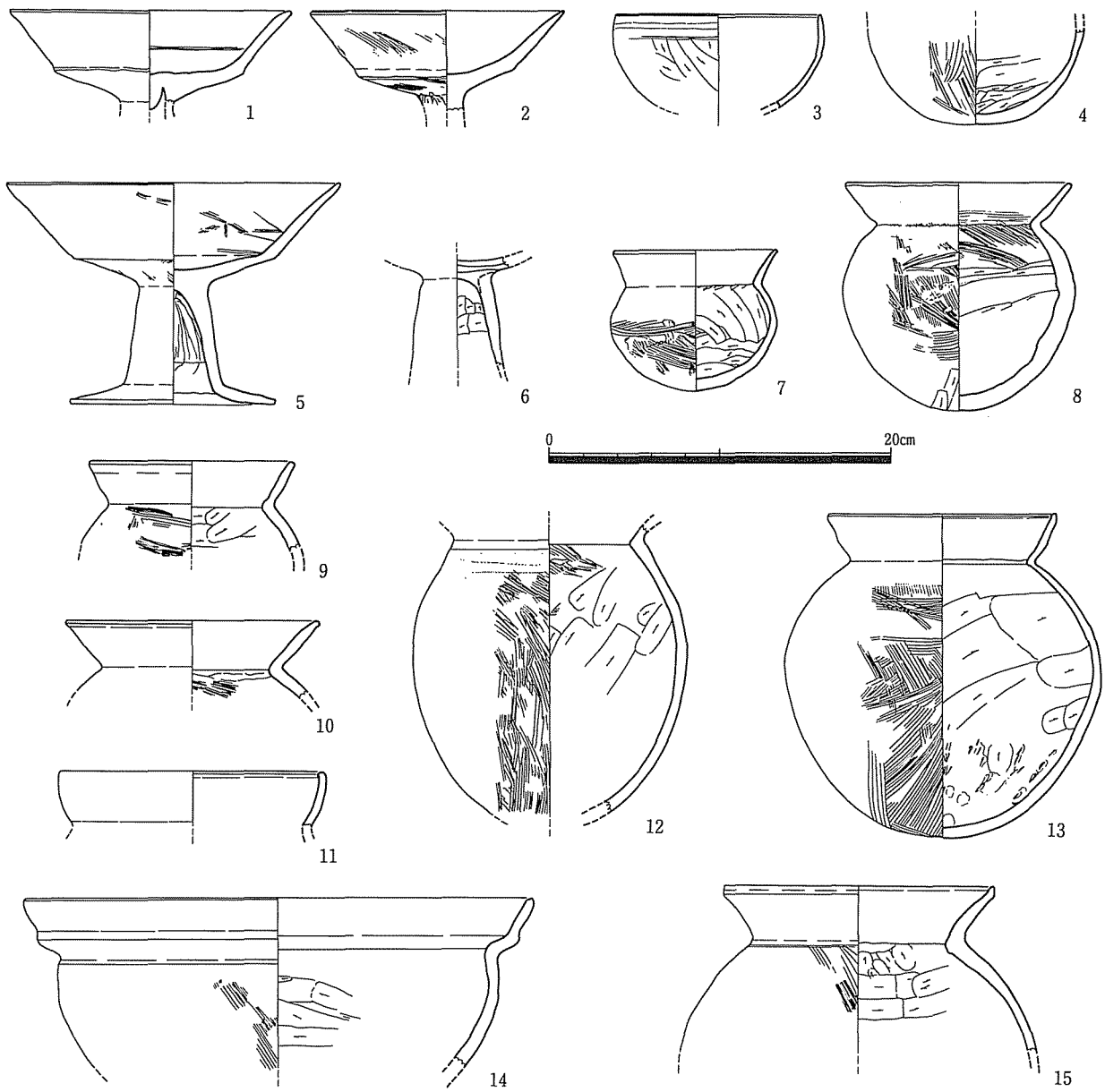


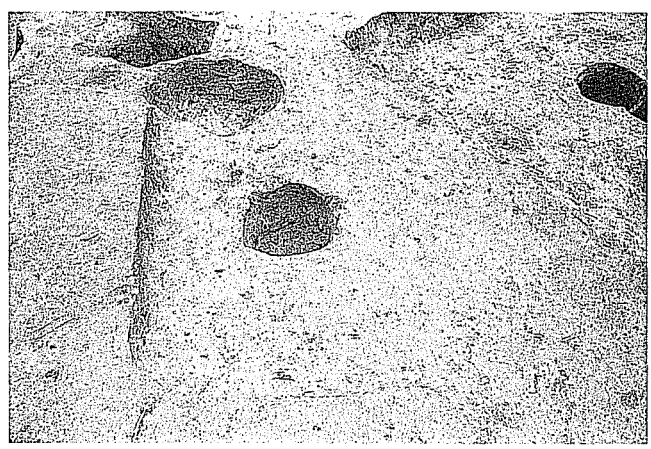
図6　22号竪穴住居址出土遺物実測図（1/4）



把握する事が出来なかった．しかし，この部分がほぼ南北に主軸をとっており周辺の遺構の在り方からしても，この南北に主軸をとる土壙状遺構が時期的に新しく29号住居址を切っていると思われる．

遺物は，土師器片が10数点出土したにすぎない．甕の口縁部や高坏の脚部などがあるが，いずれも砕片である．時期は22号住居址と同じ時期と思われる．

写真4　29号住居址（北西より）



9号住居址（図7）

調査区の東で検出された．東壁にかかっており，今回調査した範囲は，全体の1／3～半分ほどであろう．南側は撹乱を受けていたが一部は撹乱が下まで達しておらず，調査区東壁から1m程度の範囲は南壁の立ち上がりとみられる．現在長は5.3m×4mであり，主軸は南北より若干西に振れている．これは9901調査地点で確認された古代の住居址と同じである．ただし遺物から古代に属するものではないことは明らかである．本調査区内では最も深い住居址で，深さは約70cmである．壁は垂直ではないが実際はやや急に立ち上がり、上方は緩やかに上る．図中の段差は掘り過ぎたためである．

当初，北壁のプランを捉えられず南北に走る溝と考えていたが，東側半分を掘り下げた結果，深さ30cmほどから礫や遺物が出土し始め，北壁の立ち上がりも確認できた．この住居址で硬化面や柱穴などは検出されなかった．

写真5　9号住居址（南より）

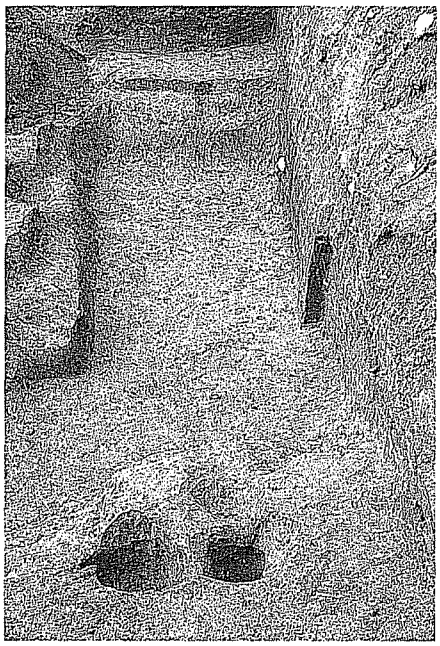
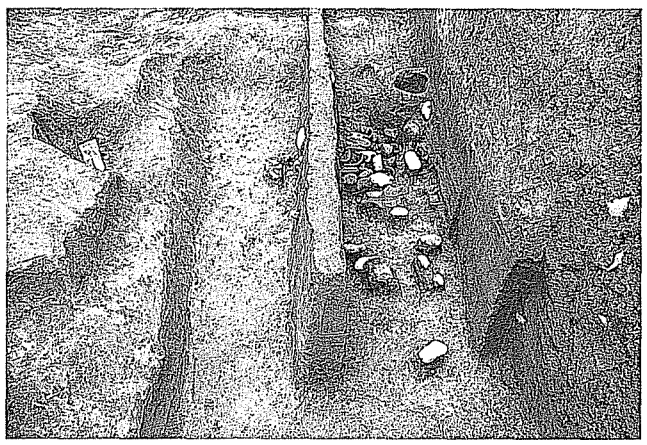


写真6　9号住居址遺物出土状況（南より）



遺物は住居址中央やや北に集中し全体では30cm程度の厚さに堆積していた．散乱した様子もなく，そのまま潰れた状態の土器もあった．この住居址には円礫が非常に多いが土器とともに範囲が限られており，白川の洪水などによる埋没等は考えられない．しかし，土器とも複雑に混在しており，通常の使用状態とも考えられず，遺棄された住居と考えられる．

土器の集中部分では焼土の広がりを確認した．焼土は北壁斜面から広く分布していたが，この住居址で竈や炉址は検出されなかった．

遺物は土師器と須恵器が出土した（図7・8・10）．須恵器は9世紀頃のもと思われるが，遺構埋土中からの出土で9号住居址に伴うものではない．土師器は坏・高坏・甕・小形丸底壷等がある．いくつかの甕の口縁部や頚部の内・外器面に三本の線をヘラ描きしたものがある．一種のヘラ記号であろう．これらは単独であったり，重ねたりあるいは並べたりしており，大きさや長さ等スタイルは長短様々である．そのうち一つは「川」の字によく似ている（図8－2・4・6）．これらの土器は4世紀後半～5世紀頃のものと思われる．また，円礫についても一部，使用痕・加工痕を残すものも確認している．

28号住居址（図9）

調査区の中央やや南で検出された．一部を撹乱によって破壊されている．また29号住居址を切っている．ほぼ方形プランで，約3.1m×2.7mである．住居址の中央でピットが二つ検出された．このピットから焼土は検出されず、爐址とは考えられない．40cm弱の深さがあり、形状としては柱穴とも考えられるが、後述する当該期における住居の柱の配置としては疑問も残る．北壁の破線部分はプランを正確には把握し得なかった部分で，後に考察して29号住居址を切る南北方向の土壙に切られている可能性が高いものと考える．主軸は南北方向から若干

写真7　28号住居址（北より）

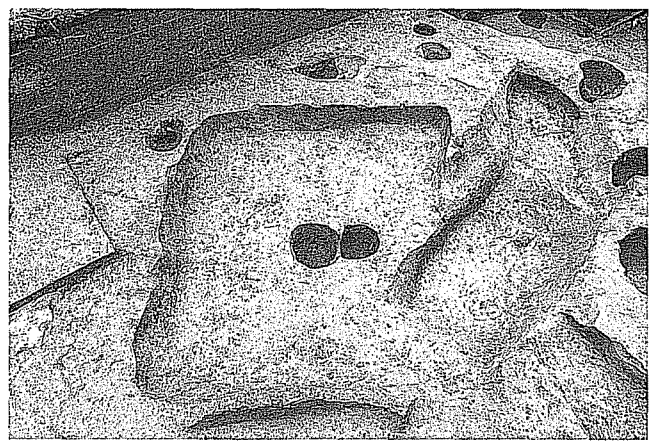


図７　９号竪穴住居址実測図・出土遺物実測図（1）（1/50・1/4）

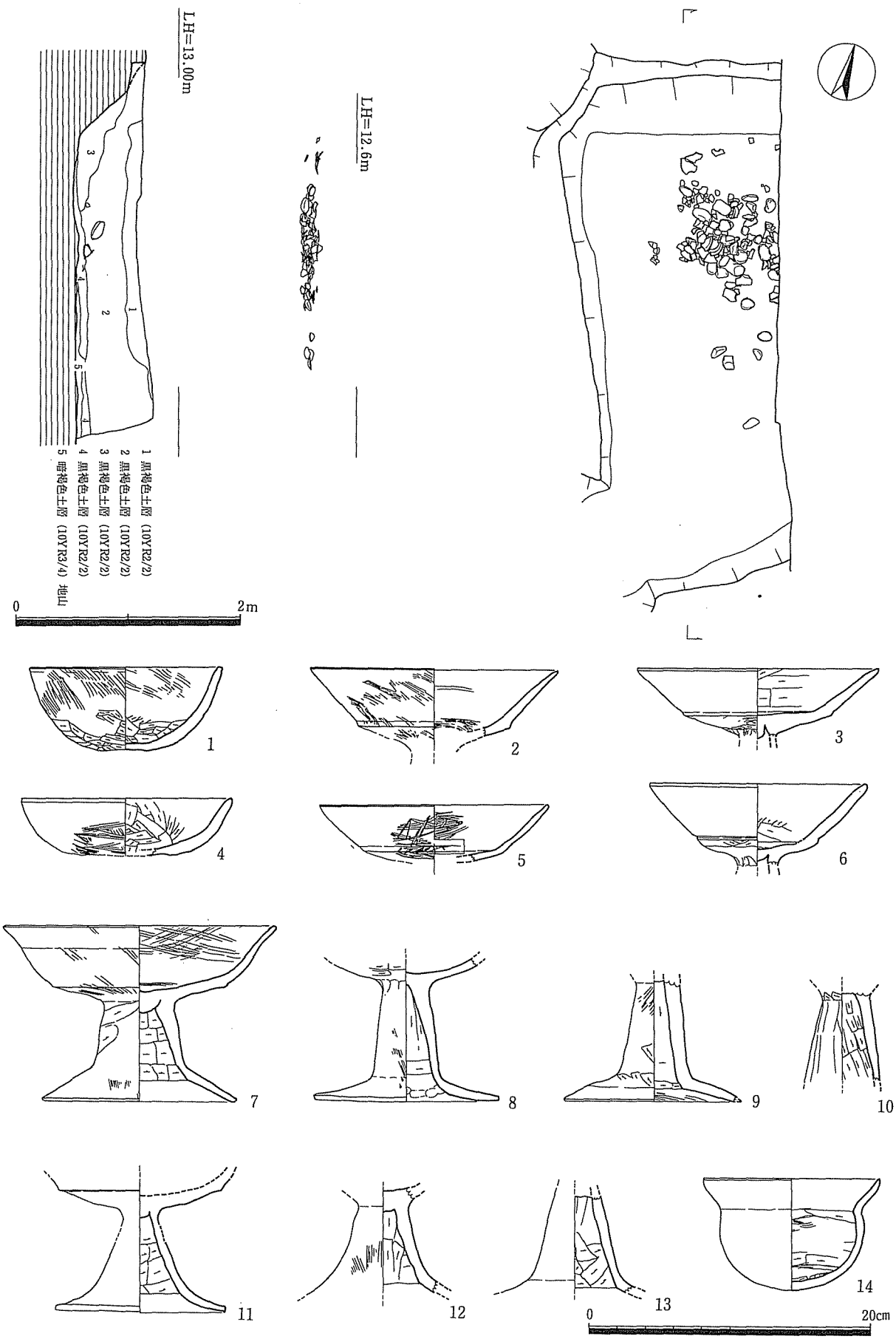


図8　9号竪穴住居址出土遺物実測図（2）（1/4）

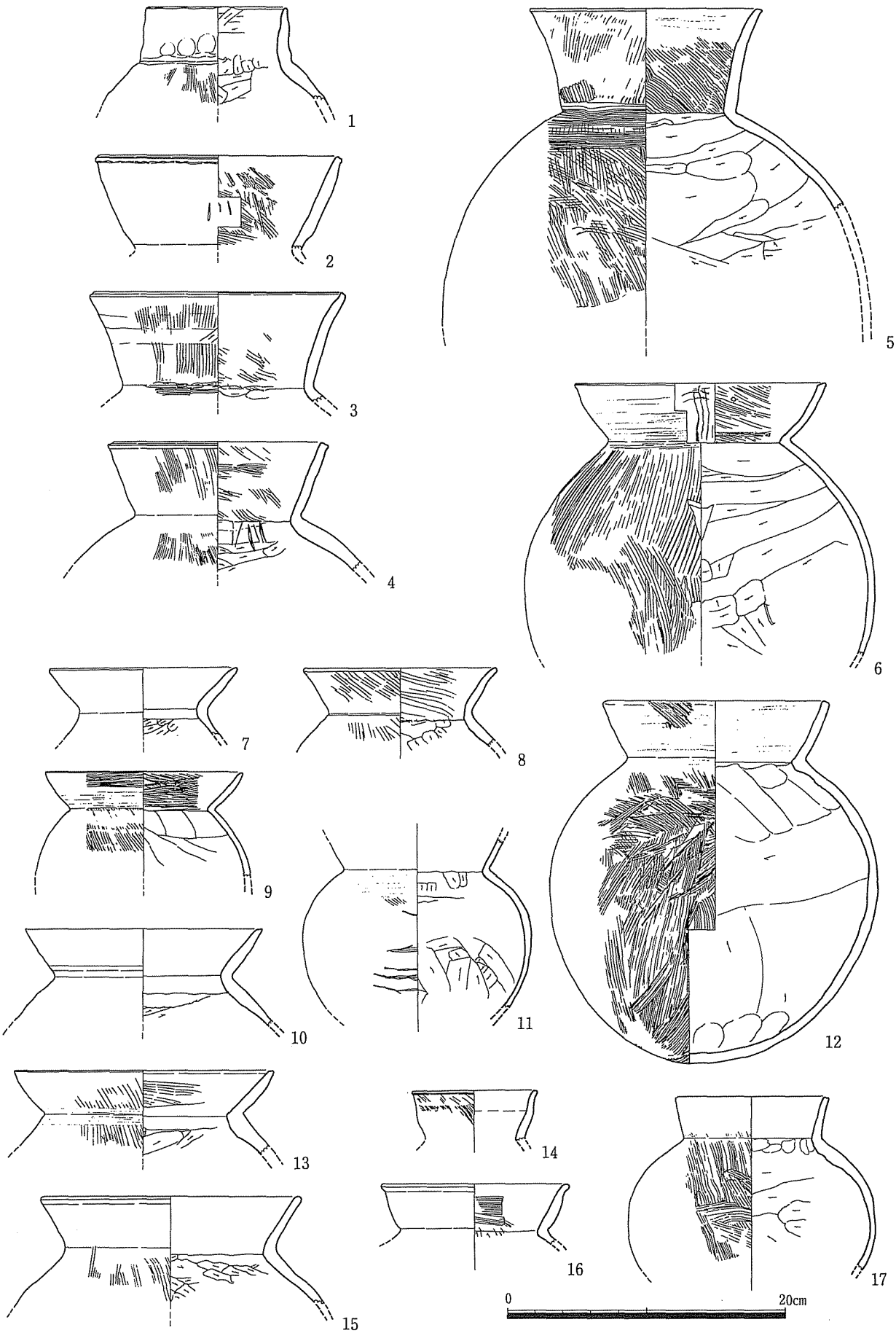
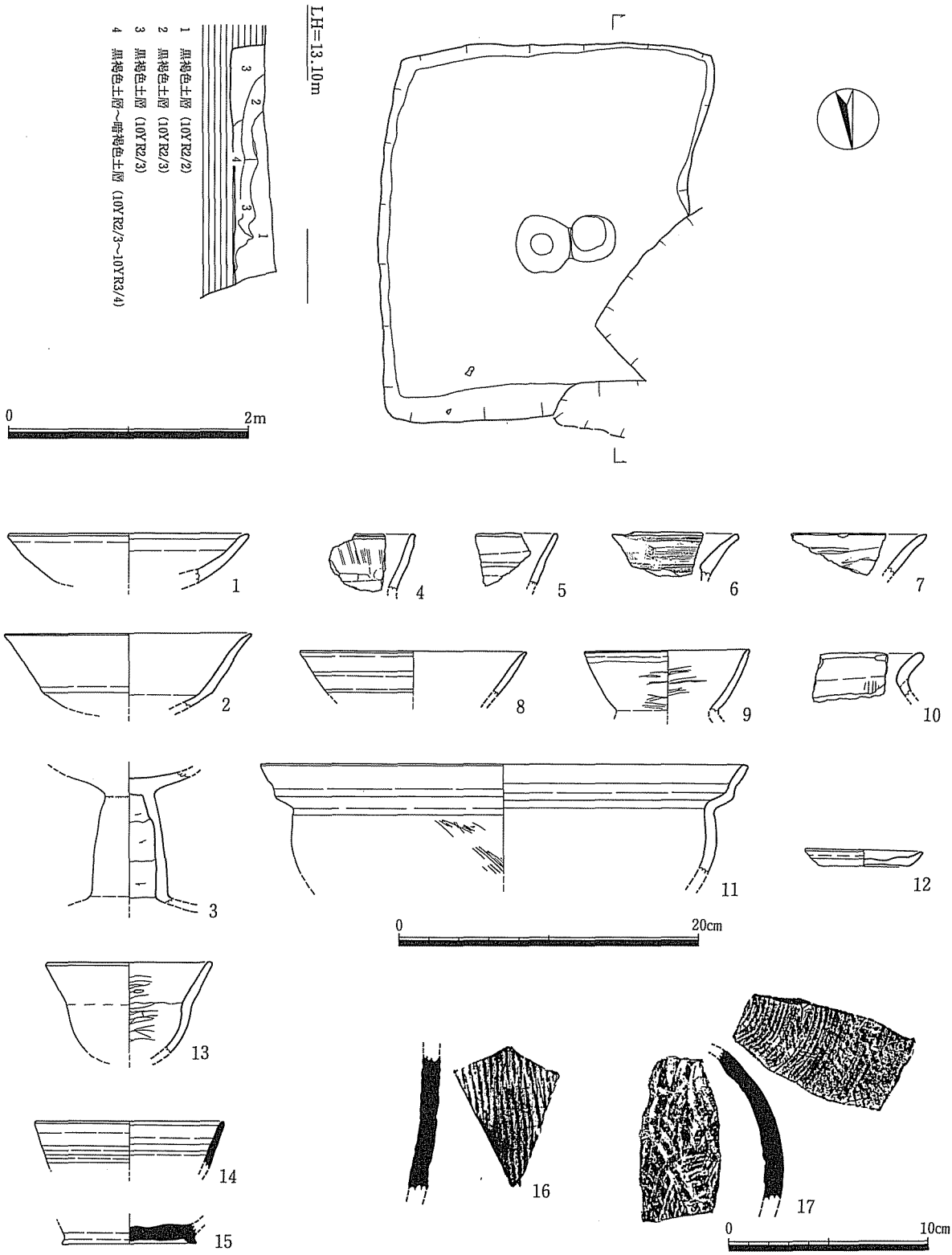


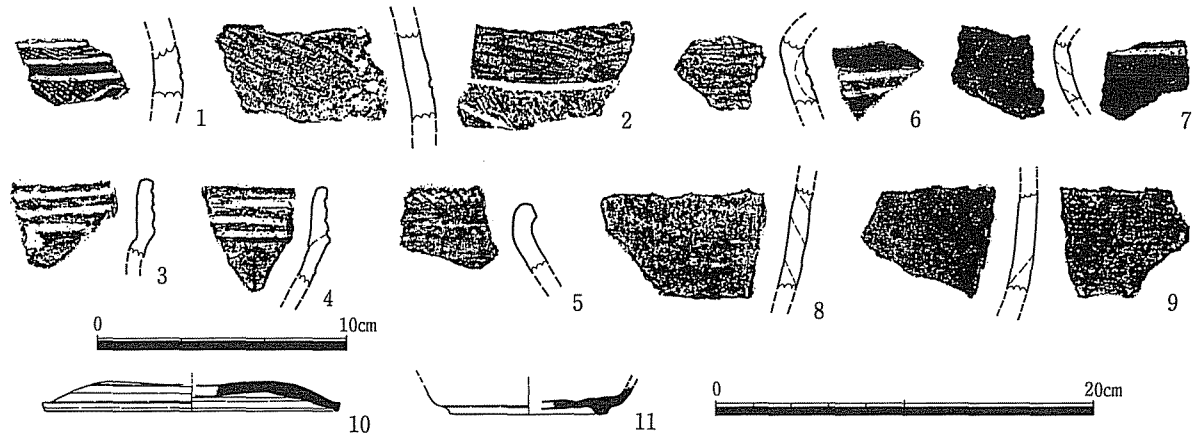
図９　28号竪穴住居址実測図・出土遺物実測図（1/50・1/4・1/3）



東に振れている．9901調査地点の住居址群の主軸方向を参照すると，主軸方向から28号住居址は古代の住居址である可能性も考えられる．硬化した床面も確認した．

28号住居址の埋土は黒色のものと，暗褐色の地山土が混ざったものとがありそれらの範囲確認が困難であった．明らかに現代の撹乱と思われる部分は最初に除去した．地山の混土は住居址の東半分程度に広がっていたが，この土も一度掘削した撹乱土と判断して除去した．近・現

図10　その他の遺物（1/3・1/4）



代の撹乱であることを示すようなものはなく住居プランへの影響は全く無かった．古代～近世の撹乱であったのかも判然としない．遺物はこのような過程のため，厳密に峻別できているとは言い難く，古墳時代から中世にかけてのものが埋土中から出土している（図９）．床面からの出土は土師器辺片が２点あったのみである．先述のように28号住居址は古代の住居の方向軸を持っており，床面出土の遺物を勘案すれば古代に属するものと考えられよう．

＜その他の遺構・遺物＞

柱穴らしいピットがいくつか検出されたが，建物が並ぶようなものはなかった．出土した遺物は土師器・須恵器等があるが，古代～中世にかけてのものである．

また縄文土器も数点出土している．図10－１～５は包含層出土，６～９は28号住居址出土である．１・２は後期，他は晩期の土器である．いずれも流れ込みである．

土層の説明で触れたが，地山層に古墳・古代以前の遺物が含まれる可能性があるため基盤の層まで掘り下げたが，縄文時代・弥生時代の遺構・遺物は出土しなかった．

4. 調査の概要（Ⅱ区）

Ⅱ区は五号病棟北側沿いに排水管を敷設工事に伴う調査である．

既設の枡に排水管を接続するもので，既設枡のある西側から掘削を開始した．地表下0.83m程で古代の遺物包含層が出始め，0.85mで地山を確認した．配管工事は西側の方が深く，この部分は掘削予定深度が遺構面より深かったため，掘削予定範囲を一度に掘削し本調査に切り替えることにした．

5. 調査の結果

a　基本層序（図４－１）

地表はアスファルトに覆われており地表下40cm程度まではバラスである．1層－黒褐色土（10YR2/3，厚さ40～70cm）は現代耕作土である．２層－暗褐色土（10YR3/4，厚さ10～30cm）は近・現代埋土である．3層－黒褐色土（10YR2/2，厚さ10～30cm）は古代の遺物包含層と認識している層であり，以下は古墳時代の遺物包含層および遺構埋土である．

b　検出遺構と遺物（図11）

遺構としては住居址の可能性のある土壙と，住居址か溝のような性格不明の大型土壙が検出された．

Ⅱ区は５号病棟の裏の食材搬入口に位置し，現地表面がスロープとなっているため，調査区内が深くなる場所であった．既設枡から北に長さ3.2m，幅約２mのトレンチ状に掘削したところで，包含層を確認したので重機による掘削を止め，人力による掘削にした．地山を検出すると，南側へ傾斜して落ち込み土坑状になった．ここで遺物が集中して出土した．また，配管用にこのトレン

写真８　Ⅱ区１号土坑遺物出土状況（北より）

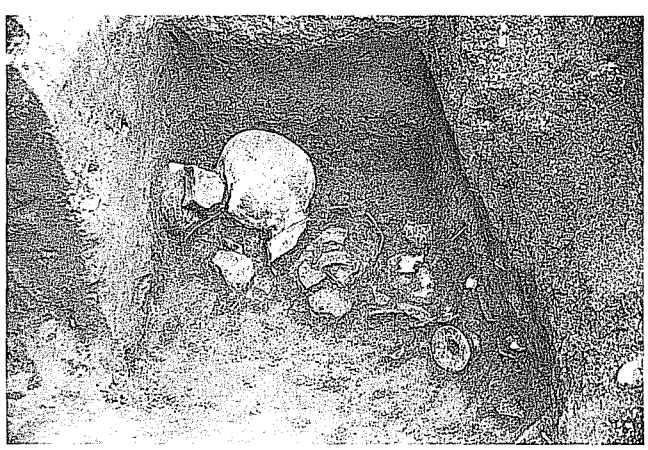
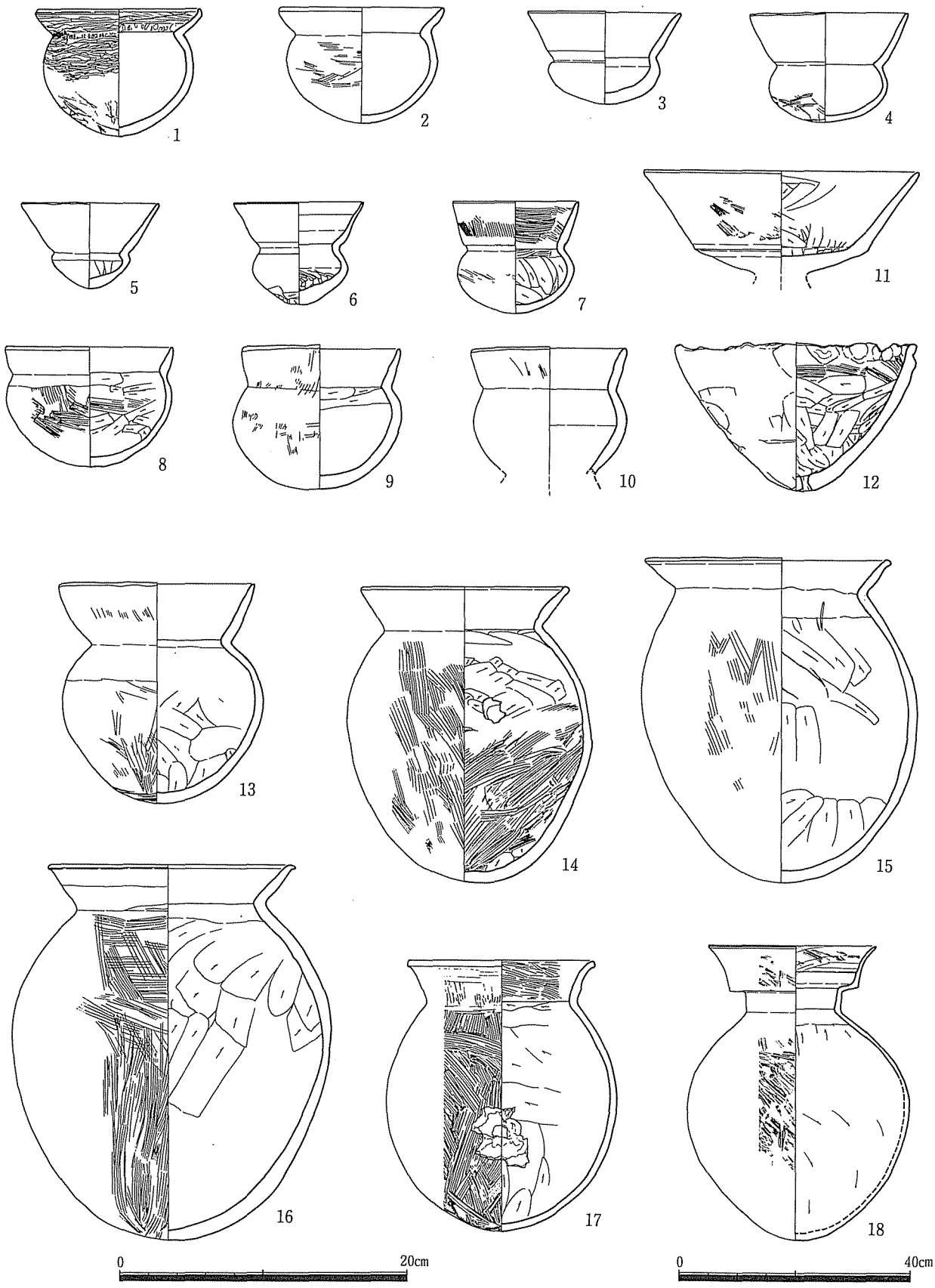


図11　Ⅱ区出土遺物実測図（1）（1/4・1/8）



チ中央から東に直角に折れ幅1.6m，長さ約61mのトレンチ状の掘削を行った．

この東西トレンチの西から５m付近で，トレンチを斜めに横切る遺構ラインを確認した．当初溝と考えたが，20m先まで遺構埋土と思われる黒色土が続き，これに対応する遺構の立ちあがりを確認することができなかった．

先述のように東西トレンチは一部スロープのため周囲が高くなる．最も高くなる部分では２層が撹乱土で両壁が脆弱なため崩落の危険があり，工事業者の協力を得て急遽矢板を打った．しかし，検出された溝状の遺構を掘

写真９　Ⅱ区２号土坑遺物出土状況（東より）

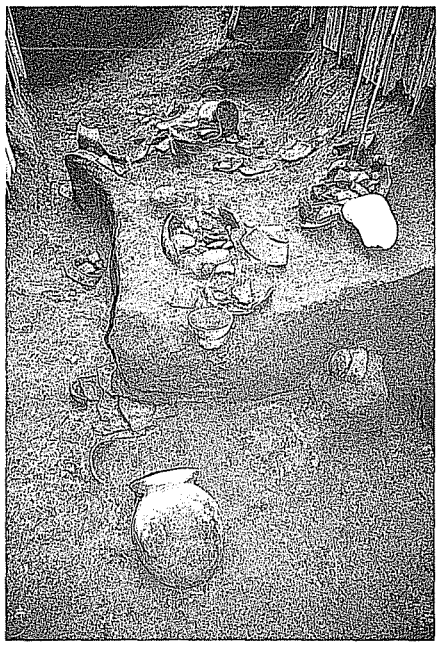


写真10　Ⅱ区遺物出土状況･土器群１（北東より）

写真11　Ⅱ区遺物出土状況・土器群２（西より）

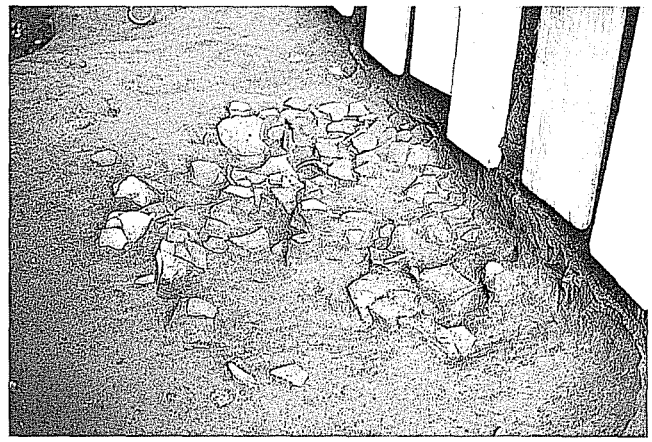
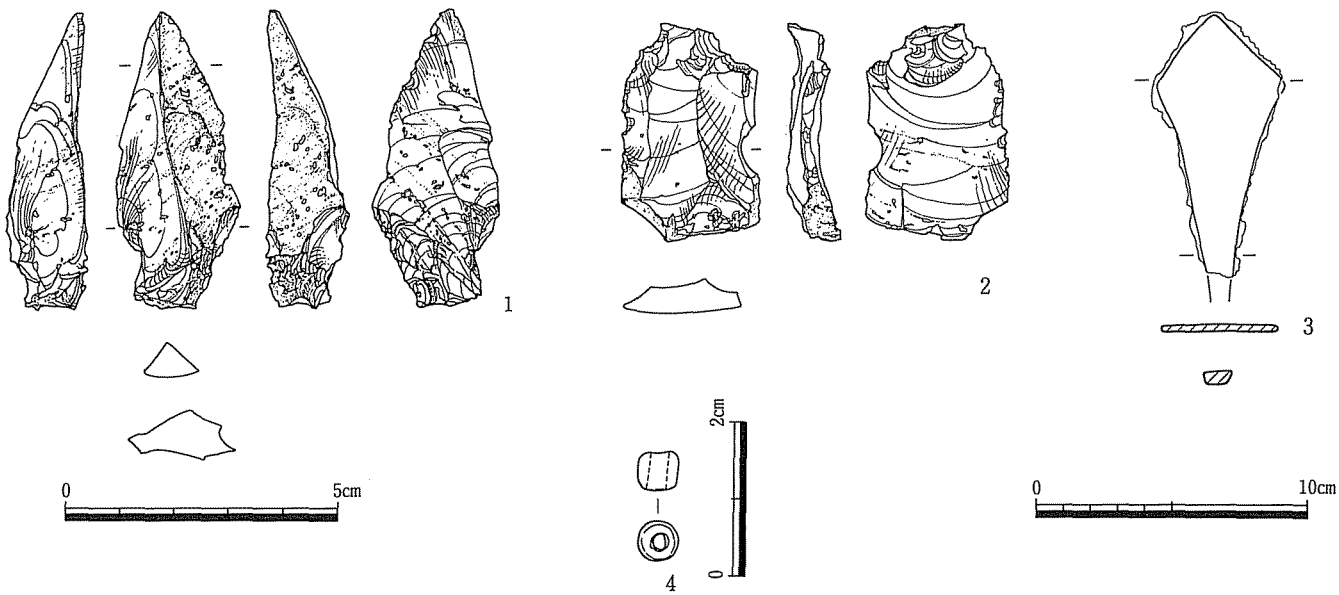


図12　Ⅱ区出土遺物実測図（2）（2/3･1/1･1/3）



り下げることは危険であり，またスロープ部分は工事による破壊等の影響は受けないため，そのまま埋め戻して保存する事にした．そして工事によって破壊を受ける部分と安全性を保てる部分についてのみ調査を行った．

溝状遺構は西端より４ｍ程の区間を調査した．最も深い所では遺構検出面より1.1ｍ程下がる．壁は緩やかな傾斜で下り，底の20cm 付近で急に落ち込む．図４－１の最も窪んだ部分に相当するが，5層から12層上部にかけて土器集中して出土した． また，保存した部分についても３層上面まで掘削した段階で土器溜りが２箇所検出された．その土器については記録をとって取上げた．出土した土器の一部は図11に示すとおりである．布留式のやや新しい段階の土師器である．18の二重口縁壷は１号土壙出土であるが，中の土に骨粉が混入していた．また付近からベンガラの塊が少量検出された．このほか，ミニチュアの手捏土器が数点ある．土器以外には，黒曜石製の石器２点と，鉄鏃１点，ガラス玉１点がある．

6. 調査の概要（Ⅲ区）

Ⅲ区は３号病棟西端に位置し，病棟に沿って排水管を敷設する工事に伴う調査である．掘削を行った結果，地表下1.2ｍで地山を確認し，工事予定より浅いということで急遽本調査を行った．

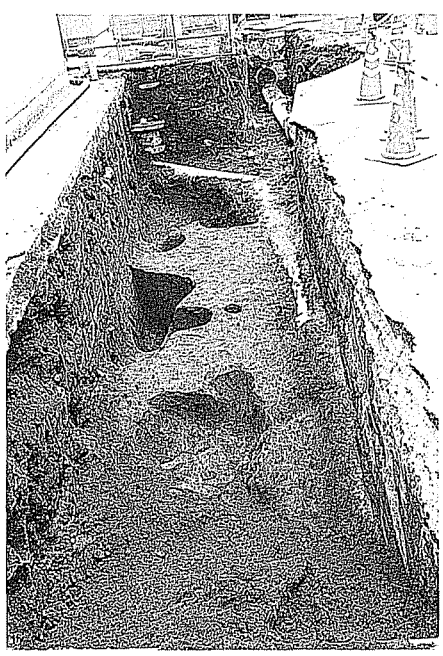
7. 調査の結果

a　基本層序（図４－４）

１層まではアスファルト･バラス･現代埋土（撹乱）である．２層－黒褐色土（10YR2/2）が古代の遺物包含層と認識している土層であり，１層－黒褐色土（10YR2/3）はそれ以降の土層である．

２層～４層が堆積している部分が，Ⅲ区で唯一遺構と思われる部分である．

写真12　Ⅲ区全景（南より）



b　検出遺構と遺物

住居址らしい土坑状の遺構を検出したが，既設管や撹乱土坑によって破壊され，ほとんど遺存していない．ただし，３号病棟建設に伴う基礎の根切りによる影響は受けていない．本来のプランや規模も把握し得ない．深さは50cm 程度である．硬化面は一部確認された．

出土遺物は土師器片が出土したのみである．

8. 成果と問題点

昨年度の調査において確認した集落が，更に北へ広がることが明らかとなった．Ⅱ区やⅢ区は３号・５号病棟の脇であったが，病棟建設に伴う周辺への影響は非常に少ない事もわかった．本調査地点は本荘北地区の北西隅であったが，以前の建物基礎などの撹乱を一部受けていたものの遺構が検出されたことは，少なくとも病院敷地の北西側一帯に古墳時代からの集落が遺存している可能性が強いことを示す調査結果となった．この集落が白川に沿って東側にどれだけ広がりを持つのか，今後興味の持たれる点である．

Ⅰ区から東に延びる給水管の配管工事の立会では，本荘北地区の地山は東に向かって高くなっていることも分かった．西側では地表下1.2ｍ～1.6ｍで遺構面が検出されるのに対し，敷地中央では１ｍ足らずである．更に東側ではまた深くなるので，旧地形は低い丘陵状であったのかもしれない．今後はこのように予想される地形を考慮に入れて調査に臨まなければならない．

今回Ⅱ区でプランあるいは性格を確認できなかった遺構は，予定される共同溝に伴う調査では，おそらくその続きが検出されるものと思われる．今後の周辺での調査で，解明すべき一つの課題となろう．県下において，また特に白川流域における当該期の土器資料出土例は少ない。Ⅱ区で出土した土器は，器種や数量もある程度揃っており貴重な資料となろう．昨年度の調査で得た資料も本荘地域の当該期の資料としては有用なものであり，併せて整理・精査を行いたい．

写真13　出土遺物１

図６－１

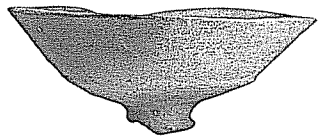


図６－２

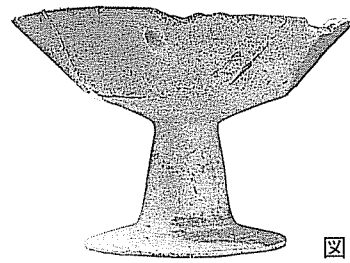


図６－５

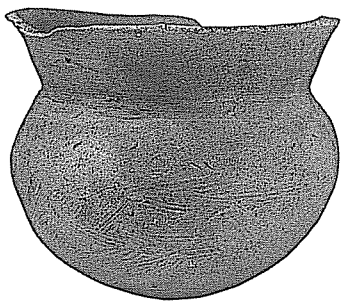


図６－７

図６－８

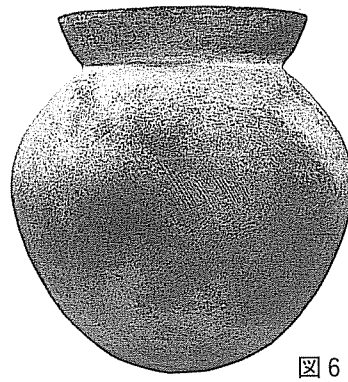


図６－13

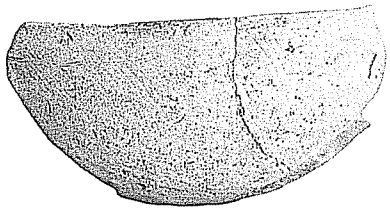


図７－１

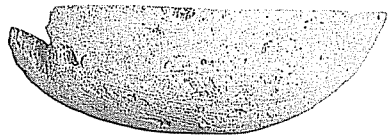


図７－４

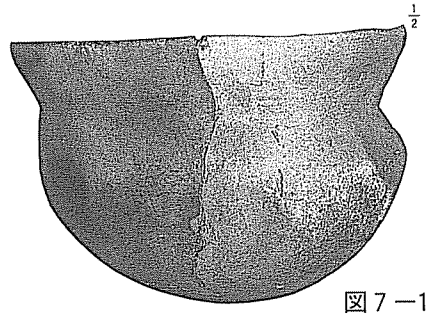


図７－14

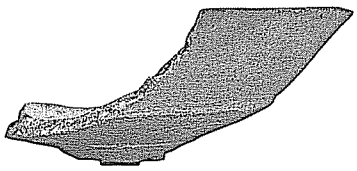


図７－３

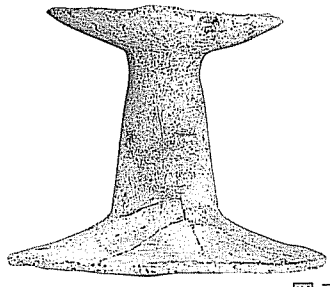


図７－８

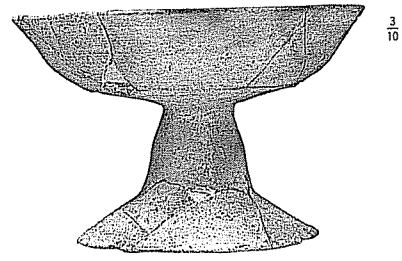


図７－11

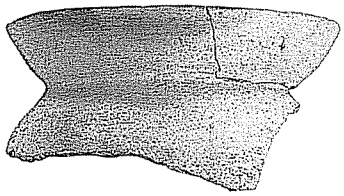


図８－13

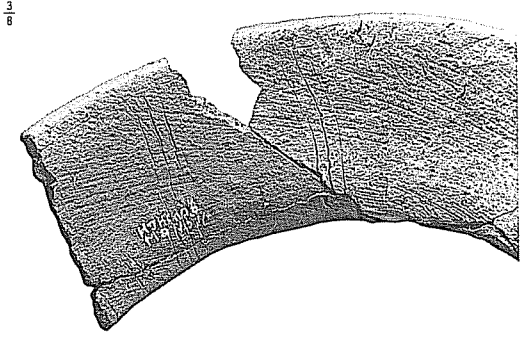


図８－６

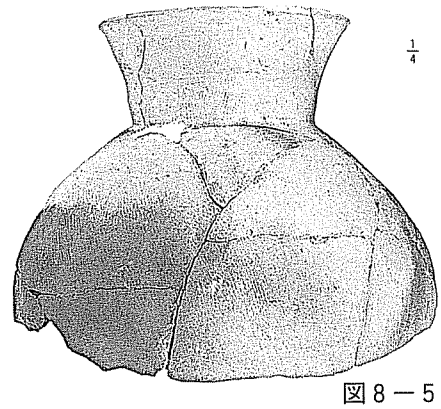
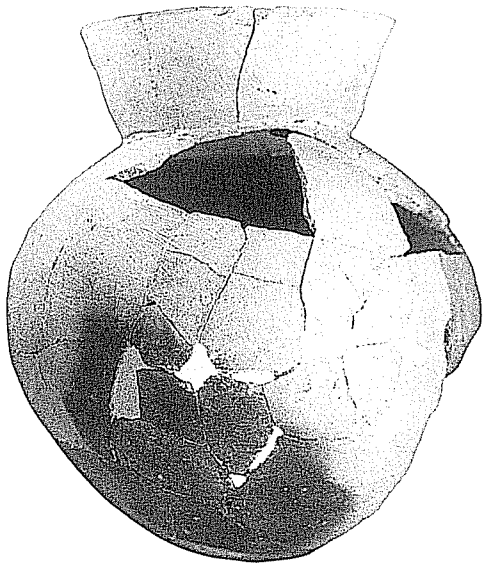


図８－５

写真14　出土遺物２

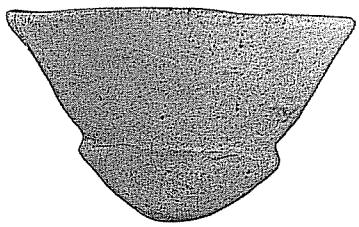


1/4

図８－３

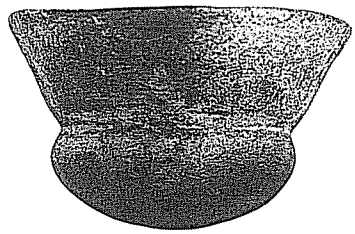
1/4

図８－12



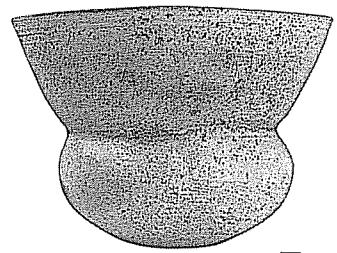
1/2

図11－５



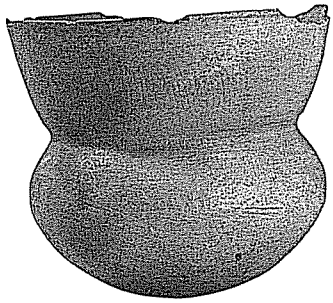
1/2

図11－３



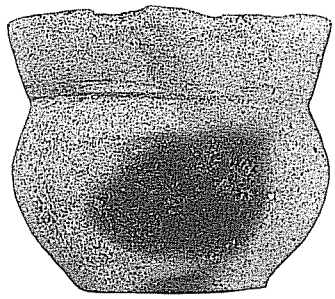
1/2

図11－４



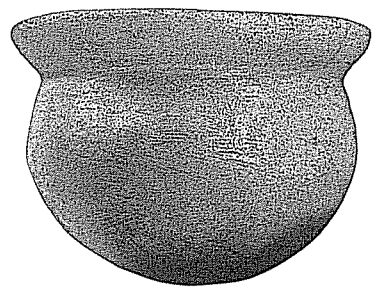
1/2

図11－７



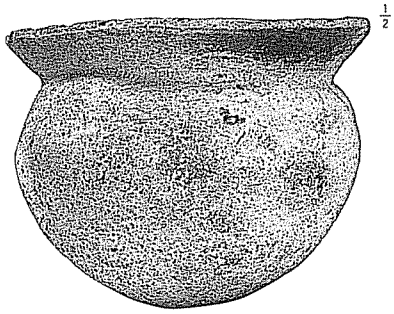
1/2

図11－10



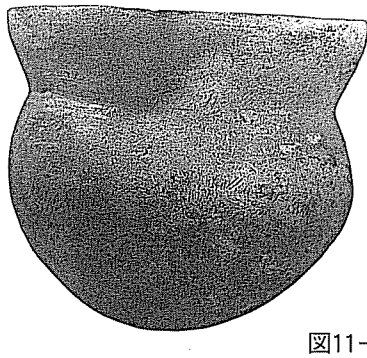
1/2

図11－12



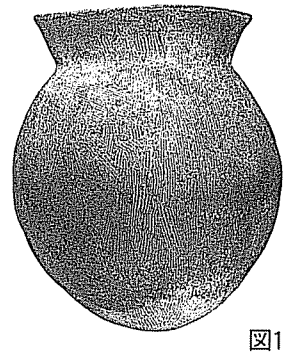
1/2

図11－１



1/2

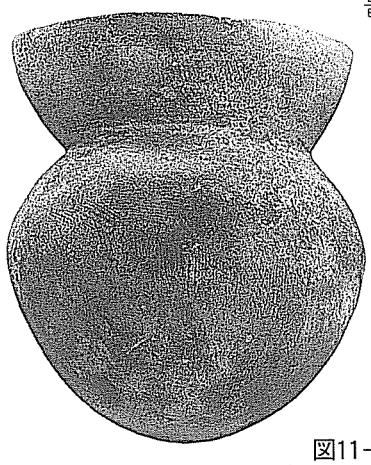
図11－９



1/4

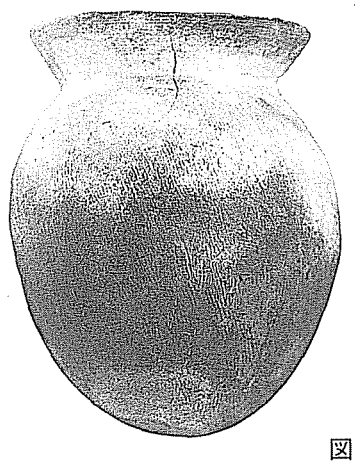
図11－17

写真15　出土遺物３



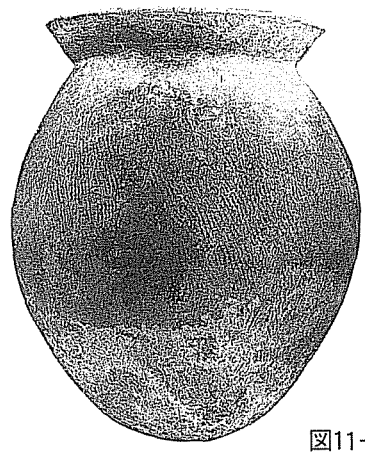
3/8

図11－13



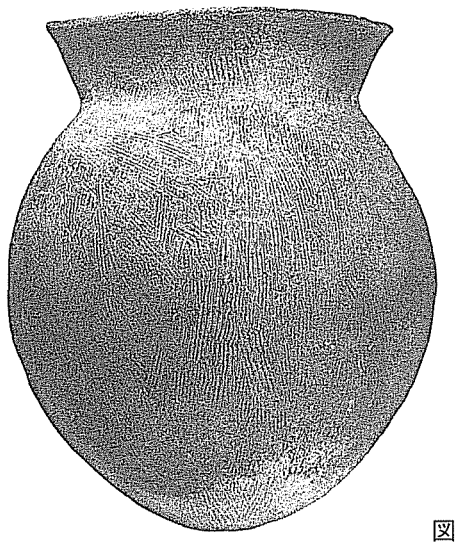
3/8

図11－15



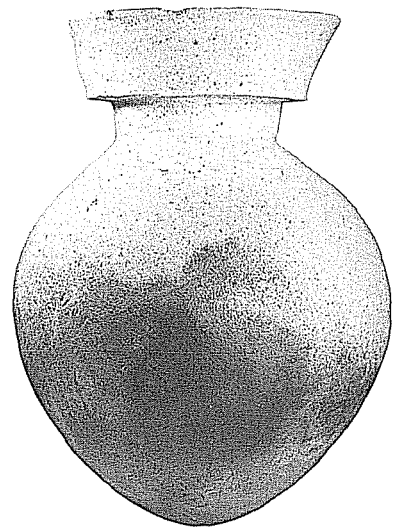
3/10

図11－14



3/10

図11－17



3/8

図11－18

表・裏　1/1

図12－１・２

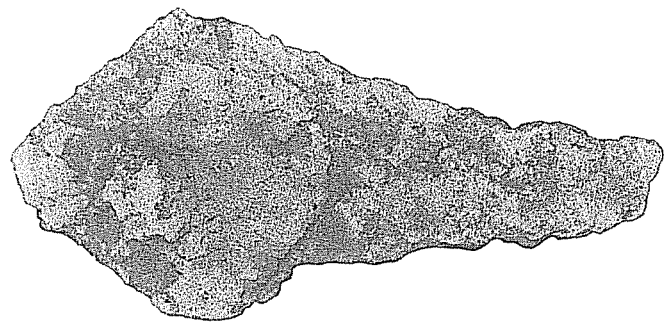


図12－３

表・裏　1/1

図12－１・２

2/1

図12－４

Ⅱ—2　０００７調査地点

1. 遺跡の立地と周辺遺跡

本京町台遺跡（熊本市遺跡地図№８－45）の立地する京町台地は，金峰山地と立田山に囲まれた洪積世台地である．その基盤は，上記火山群の噴出物（約百万年前）である安山岩の凝灰角礫岩であり，その上部を阿蘇４火砕流堆積物（約９万年前）が覆っている．台地の両側は井芹川および坪井川によって開析され，河床面とはおよそ30mほどの比高差をもっている．台地上は弥生時代を中心とした集落址があり，江戸時代には熊本城下の武家屋敷の一画を占めていた．

本地区における既往の調査は，附属中学校校舎建設工事に伴う発掘調査（9405），同電気引き込み配線工事に伴う立会調査（9410）（熊本大学埋蔵文化財調査室年報１），附属小学校給排水管取替工事に伴う立会調査（9524）（同年報２），教育学部ATMネットワーク付設工事に伴う立会調査（9605）（同年報３），附属中学校女性立像建立に伴う立会調査（9705）（同年報４）などがある（図13）．うち，もっとも調査面積が大きかった9405地点の調査では，弥生時代後期の竪穴住居址２基，同土壙１基，江戸時代土壙２基，同井戸１基などの遺構とそれに伴う土器・陶磁器片が検出され，該期以外の縄文時代晩期，古墳時代後期の遺物などが少量発見されている．

2. 調査の概要

調査地点は，附属中学校敷地の中央西側にあたり，既設の体育倉庫の改築に伴い発掘調査を実施した．既設体育倉庫の解体の後，1月中旬より調査に着手した．

既存の埋設管などを残しながらの調査であるため，その部分を避け，さらに掘削深度が２m余りに達するため，南西隅はあえて調査しなかった．そのため，図14にあるように，本来の調査予定面積（119.4㎡）より少ない53㎡の調査を行った．北側をⅠ区，南側をⅡ区とした．

＜調査面積＞

119.4㎡

＜調査期間＞

2001年１月22日～１月30日（７日間）

＜調査員・参加者＞

小畑弘己．

岡田イツ代，河野義勝，黒木タケ子，早田小百合，鈴木笙子，高松北子，福田久美子，水上順子，森川征子，森川護．

3. 調査の結果

a　基本層序（図14）

本地点は台地の斜面部に相当するためか，土層の堆積は良好であった．１・２層は近現代の埋土であり，３層が古代包含層に相当する．４層は遺構の覆土であり，５層が弥生時代の包含層と思われる．７層以下はローム層であり，１mほど掘下げたが，土質や土色の変化は認められなかった．

b　検出遺構と遺物（図13）

今回調査で検出した遺構は，古代の土壙２基と古代の柱穴群である．古代土壙（第１号土壙）は調査区の東半を占めており，遺構壁の立ち上がりが緩やかであり，竪穴住居址とは考えにくい．しかし，一連のものと思われる第６号土壙では硬化した部分が認められた．これらは，複数の遺構の切り合いの可能性もあるが，調査面積が狭く，それらを明確にすることはできなかった．

出土遺物としては，第６号土壙より，土師器・須恵器片および土製紡錘車，刀子各１点が出土した．

これ以外に包含層（５層）より弥生式後期の土器片が少量と鉄器（刀子？）１点が出土している．

写真16　Ⅰ区全景（北より）

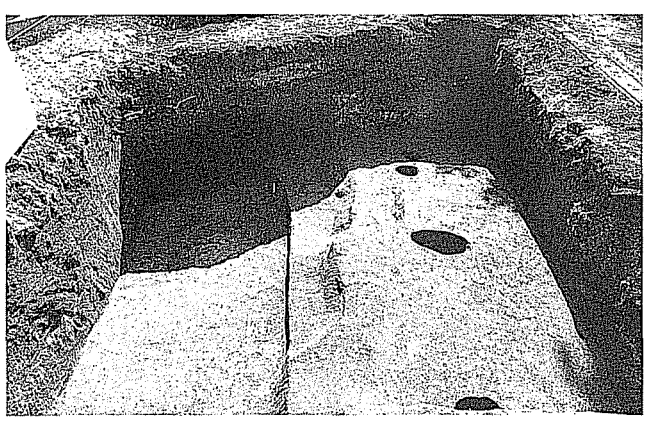


写真17　Ⅱ区全景（東より）

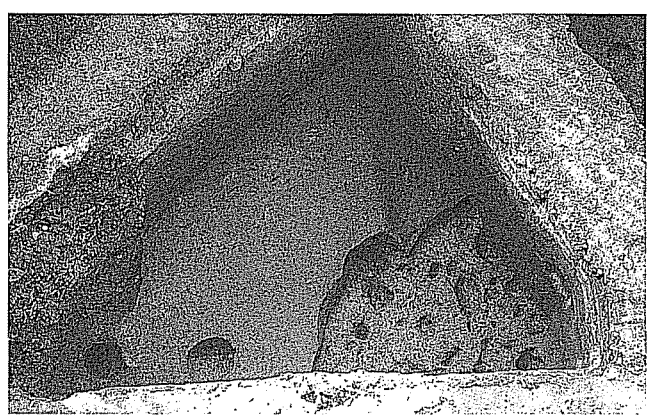


図13　京町地区における調査地点配置図（1/3000）

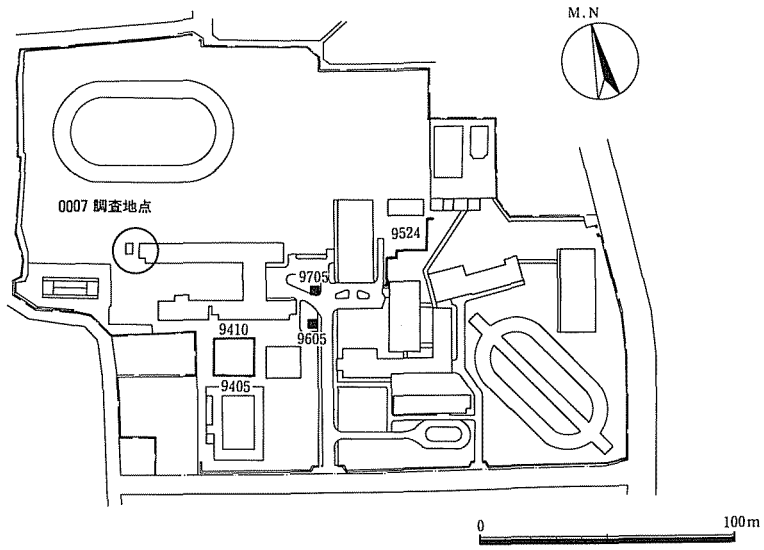
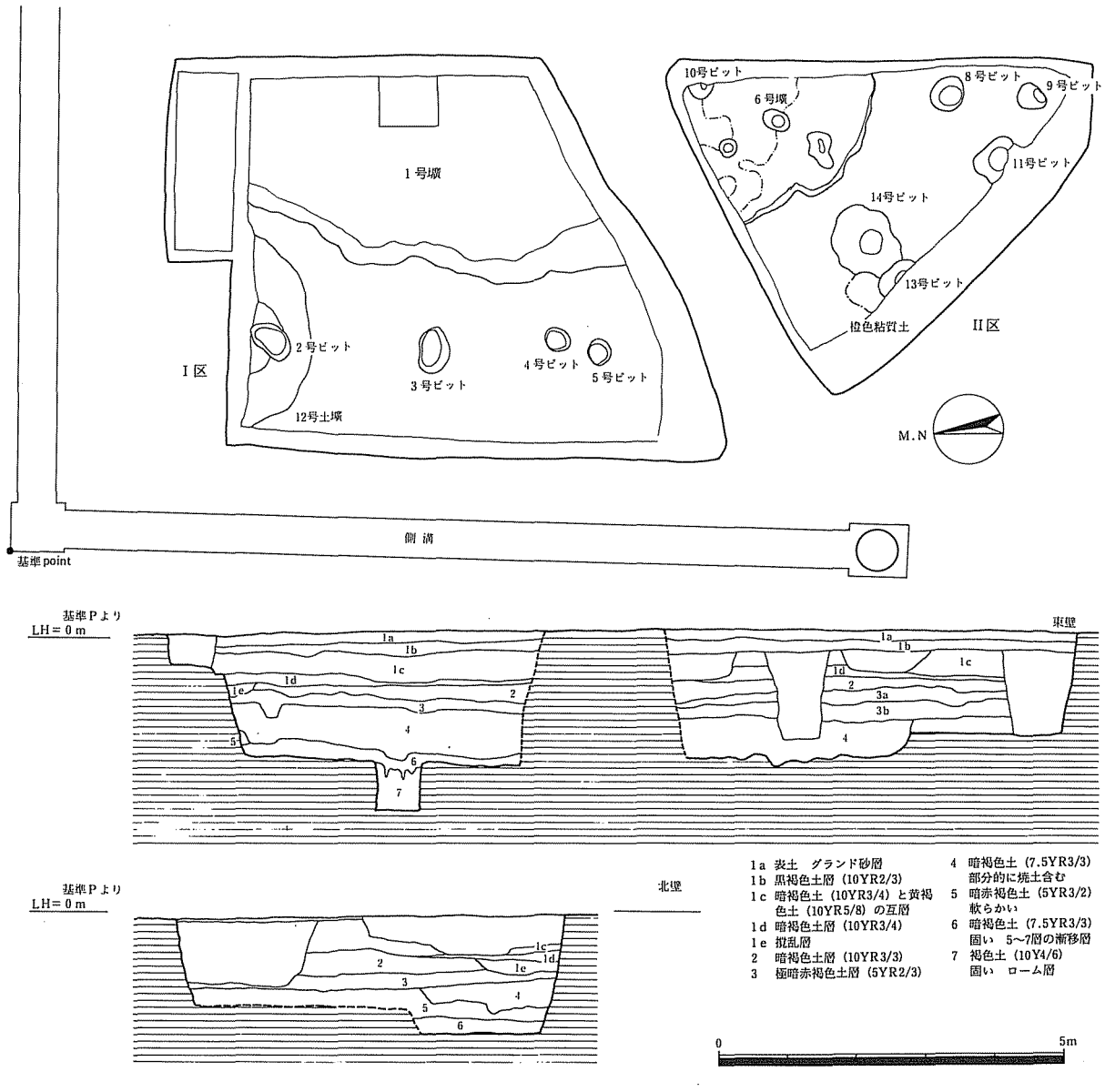


図14　0007調査地点遺構全体図および土層断面実測図（1/100）



第Ⅲ章　立会・試掘調査

Ⅲ－1　黒髪北地区　（図15参照）

1. 黒髪北地区生涯学習教育研究センタースロープ取設工事（0008）

＜調査期間＞

2001年2月5日

＜調査対象面積＞

28㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

立会の結果，既存建物の基礎の掘り方および排水管などの埋設工事によって，掘削部分は撹乱が著しく，掘削深度（－40cm）において遺構や遺物は確認できなかった.

周辺では，平成9年度に隣接する入試保管庫建設に先立つ試掘調査（9609）を実施している（熊本大学埋蔵文化財調査室年報3）．この際の試掘結果によると，地表下1.1mまで埋土であり，この状況からも工事の掘削深度では，遺構面に達しないことが予想される.

写真18　0008調査地点調査区全景（北東より）

2. 黒髪北地区体育部室解体・新営工事（0010）

＜調査期間＞

2001年2月16日～2月20日（3日）

＜調査対象面積＞

372㎡

＜調査員＞

小畑弘己，大坪志子.

＜調査概要・結果＞

調査区は大きく，南側の既存建物の解体および，北側2棟の基礎周囲の掘削に分れる．既存建物の基礎撤去時には遺構および遺物も確認できなかった．北側2棟の基礎は地表より深さ80cmであり，掘削時に立会を行ったが，掘削深度においては，依然埋土であり，遺物包含層および遺構などは確認できなかった.

平成6年度に実施された武夫原グランド照明搭建設工事に伴なう発掘調査（9401）（熊本大学埋蔵文化財調査室年報1）では，地表下80～100cmで遺物包含層を検出しており，今回の調査地点は既存の部室建設によって，部分的に撹乱を受けている可能性がある.

3. 黒髪北地区外灯取設工事（0012）

＜調査期間＞

2001年3月5日～3月6日

＜調査対象面積＞

3㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

外灯設置工事に伴う掘削箇所は5箇所であるが，配線誘導のための掘削は掘削深度35cmであり，ほぼ文化財に影響がないと予想されるため，掘削深度が地表下1.5mに及ぶ外灯基礎の設置箇所（幅1m四方）である3箇所のみの立会調査を実施した（図15）.

その結果，1・2地点は掘削深度まで撹乱されており，3地点のみ地表下80cmで暗褐色土層（厚さ15cm）を確認できた．しかし，遺物・遺構は発見できなかった.

写真19　0012－3調査地点掘削状況（西より）

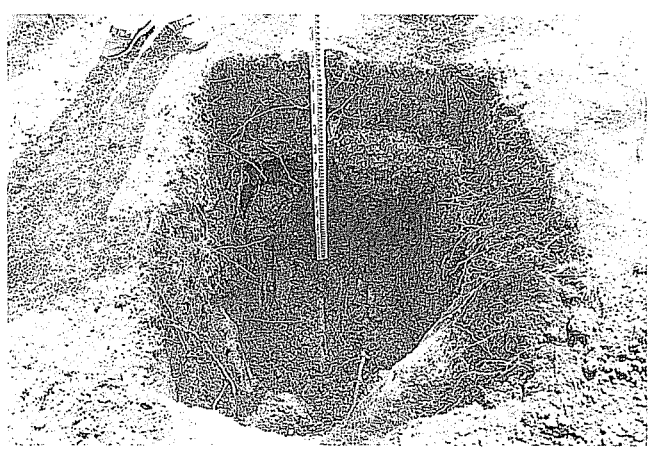
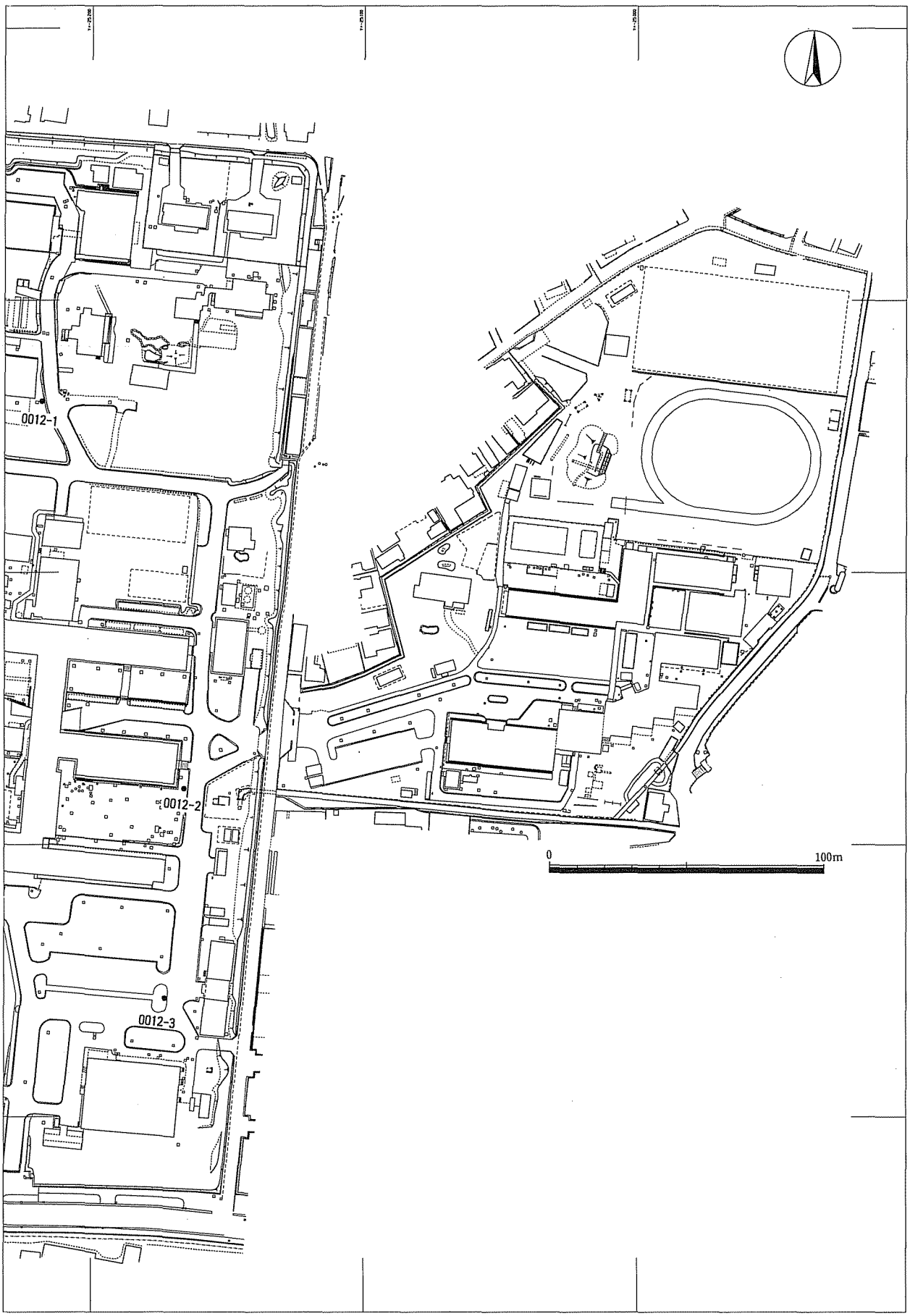


図15　黒髪北地区における調査地点配置図（1/2000）



4. 旧生活共同組合事務所解体撤去工事（0014）

＜調査期間＞

2001年３月22日

＜調査対象面積＞

66㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

上屋解体後，基礎撤去に伴い立会を実施した．基礎部分はすでに1.5mほど掘削されており，慎重に掘削するよう指導した.

遺構・遺物は検出していない.

Ⅲ－２　黒髪南地区　（図16参照）

1. 水生動物飼育舎新営工事その他（給排水管）（0001）

＜調査期間＞

2000年４月７日

＜調査対象面積＞

6.1㎡

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

昨年度３月に調査を実施，新営した水生動物飼育舎に給排水管を接続・敷設する工事に伴い立会調査を実施した．工事部分は幅50～60cm，深さは40～50cmである．この付近は地表下１m程までは現代埋土が入っており，遺構・遺物の検出はなかった.

写真20　0001調査地点掘削風景（北西より）

2. 水生動物飼育舎新営工事その他（電気工事）（0002）

＜調査期間＞

2000年４月11日

＜調査対象面積＞

4.1㎡

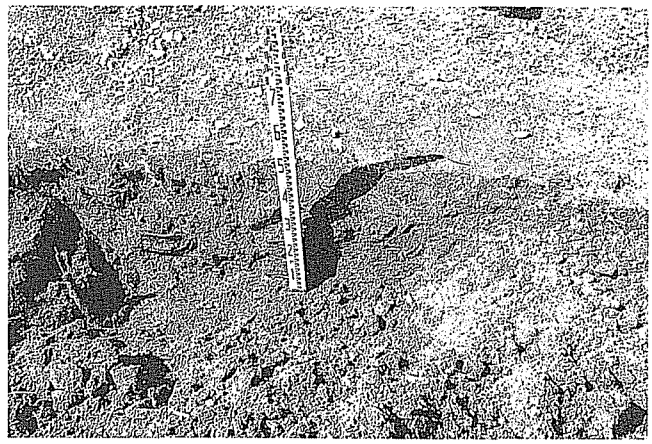
＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

給排水管工事と同様，新営した水生動物飼育舎に電気配線を行うための工事である．最も近くにある動力に繋ぐもので，掘削は幅50～70cm，深さ35～50cmであった．給排水管と同様に，遺構・遺物の検出はなく，そのまま施工を行った.

写真21　0002調査地点掘削状況（南東より）



3. 黒髪地区S.V.B.Lに伴う新営電気工事（0004）

＜調査期間＞

2000年10月23日

＜調査対象面積＞

18㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

既存の配線に伴う掘削部（9608調査地点）（熊本大学埋蔵文化財調査報告書３）に一部重なり，南東側は新たに掘削が行われた．新規の掘削部は深さ45cmほどであり，この部分においてはほとんど表土（腐植土・埋土）に相当し，遺構面には達しなかった．このため，遺構・遺物ともに検出していない.

写真22　0004調査地点全景（北より）

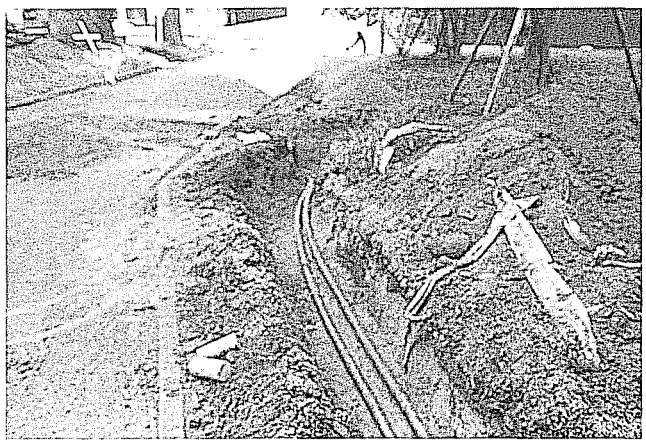
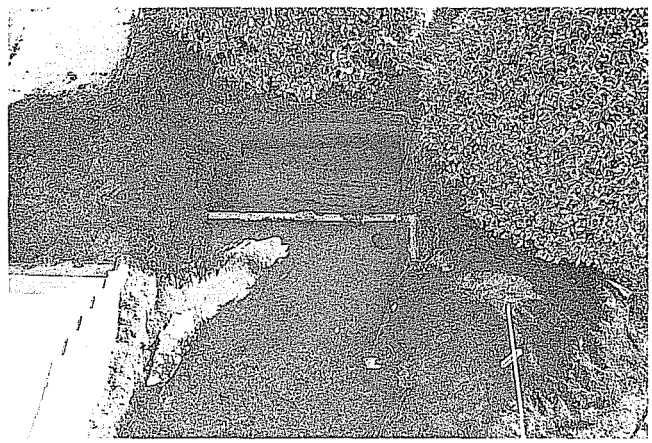


写真23　0009調査地点エレベーター設置部調査状況（西より）



4. 工学部植栽工事（0005）

＜調査期間＞

2000年10月30日

＜調査対象面積＞

63㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

調査対象地は，掘削深度40cm，幅40cmほどであり，掘削にともなって立会を行ったが，表土や撹乱層の範囲内であり，遺構・遺物は検出できなかった.

5. 理学部１・２号館身体障害者用設備整備工事（0009）

＜調査期間＞

2001年２月６日～２月９日

＜調査対象面積＞

70㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

黒木タケ子，鈴木筌子，高松北子.

＜調査概要・結果＞

エレベータ設置部分の24㎡に関して，掘削深度が２mと深く，遺構面に達する恐れがあるため，事前に発掘調査を実施した．それ以外の部分は立会調査とした.

調査の結果，地表下50cmほどで古代の遺物包含層である黒色土層（5 YR1.7/1）が現れ，80cmほどで地山と認識している遺構検出面である暗赤褐色土層（5 YR 3/2）が現れた．黒色土層を10cmほど残して，それから精査を実施したが，調査区の大半は既存建物の基礎および，配管埋設溝などによって撹乱を受けており，残りの部分においても遺構は検出できなかった．包含層より数点の土師器・須恵器片が出土した.

Ⅲ－３　本荘北地区　（図２参照）

1. 医学部附属病院格納庫移設工事（0003）

＜調査期間＞

2000年４月17日

＜調査対象面積＞

5.8㎡

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

医学部附属病院敷地内における格納庫移設に伴う調査である．本来は103㎡を調査対象面積とした発掘調査を実施する予定であった．しかし，1996年度の調査（9601調査地点）で確認された旧小松原墓地が広がる可能性があったため，試掘を行うことにした.

試掘地点は附属病院看護婦寮の東側である．なお，格納庫設置場所は，当日既設の水道管が支障となるため西側（看護婦寮側）へ0.6m，北側（白川側へ）１m移動させた．試掘は調査対象範囲の東端（１トレンチ）と北西端（２トレンチ）の２箇所について行った.

１トレンチ（0.9×2.1m）では，地表下1.4mまで近・現代埋土であり，その下１mが砂と土の互層であった．さらにその下は水田の床土のような青灰色の粘土であった．結果として地表下2.6mまで掘削したが，遺物包含層・遺構面等は検出されなった.

２トレンチ（0.9×4.3m）では，地表下1.9mで地山を確認した．しかし，それまでの層位は，砂と土の互層であり，遺物包含層はなかった．河川による堆積作用が，

図16　黒髪南地区における調査地点配置図（1/2000）

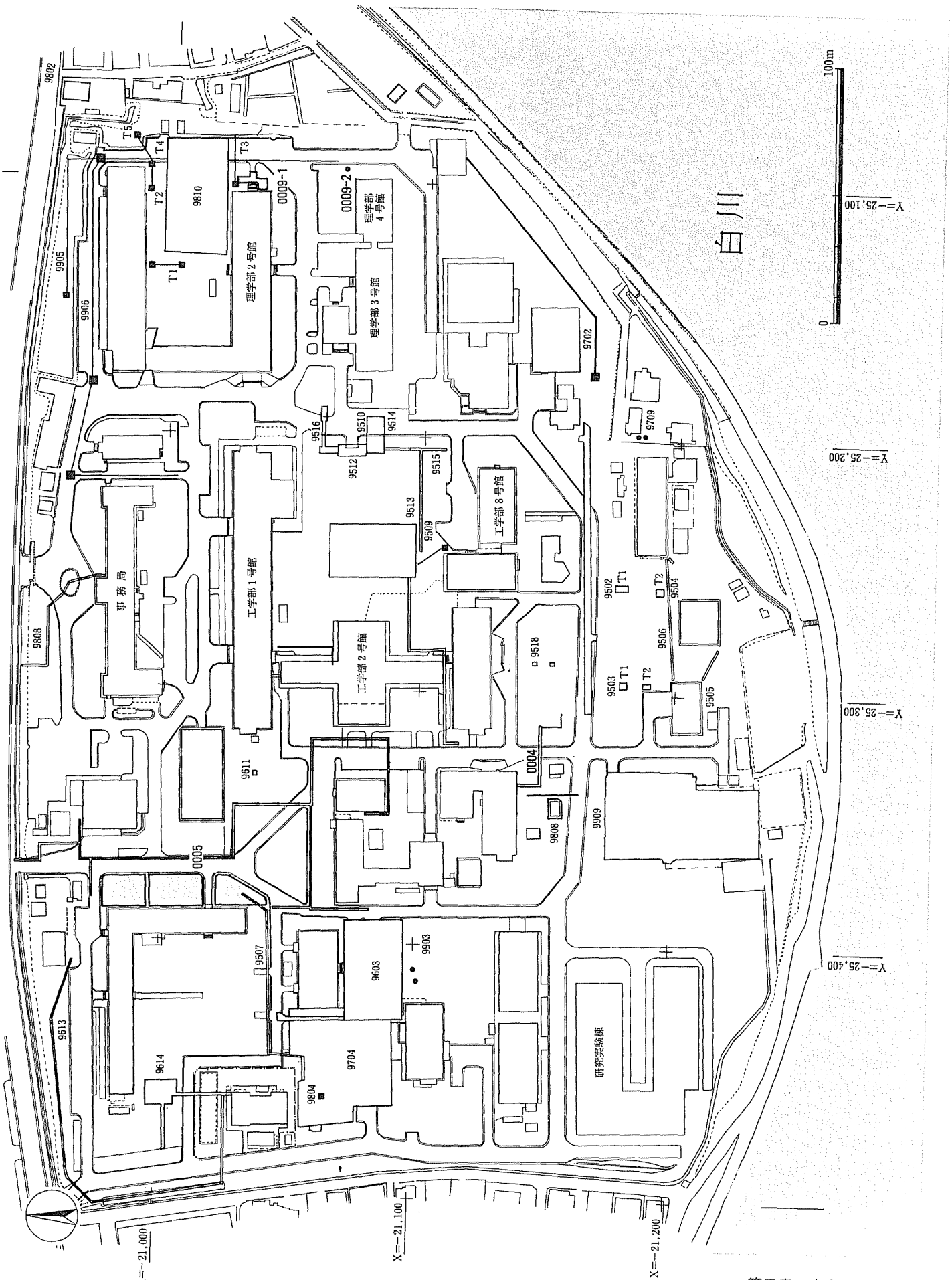
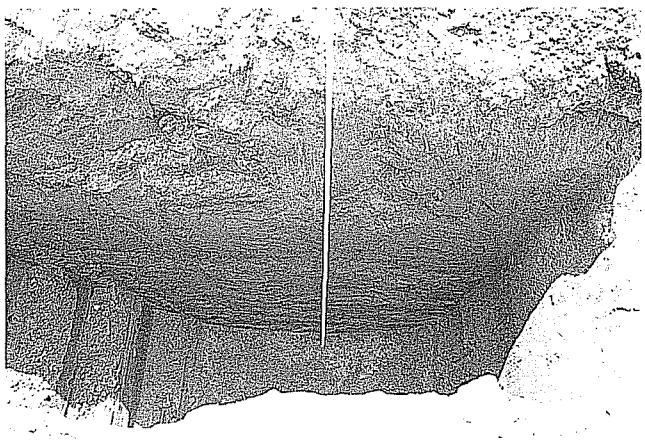


写真24　0003調査地点１トレンチ掘削状況（東より）



一帯に広がり，文化層・遺構が検出される可能性は低いものと思われる．新営される格納庫の基礎も地表下0.5ｍまでしか達しないこともあり，試掘調査にとどめ施工はしてよいと判断した．

2. 附属病院基幹・環境整備（0006）

２－１　第１井戸受水槽設営工事

＜調査期間＞

2000年11月22日

＜調査対象面積＞

４㎡（63㎡）

＜調査員＞

大坪志子．

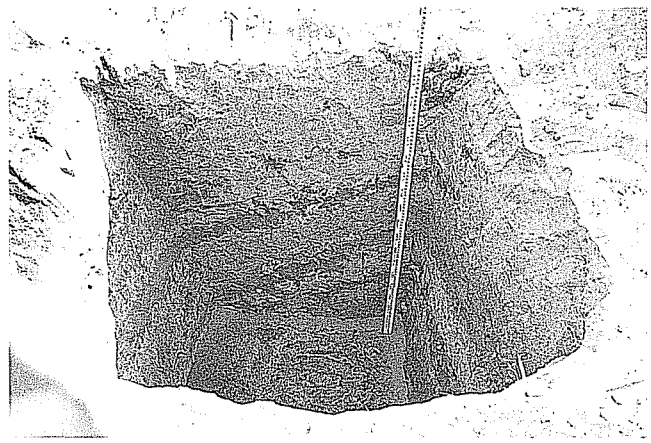
＜調査概要・結果＞

病院敷地東側，現在駐車場として利用されている一角に，第１井戸の受水槽を設営するための工事である．本来の調査対象面積は63㎡で，発掘調査を行う予定であった．0006調査地点Ⅰ区の調査を終え，11月22日に本調査区の１次掘削を行った．

予定地は，9601地点での調査と地籍図で，旧小松原墓地の墓域であることが分かっており，墓壙の検出が予想された．1次掘削の際，アスファルトとバラスを除去すると直下が墓壙･遺骨を含む砂地であった．2×２ｍのトレンチを入れて墓地の下に文化層・遺構があるか試掘した．その結果，深さ約２ｍまで下げたが，1m下までは墓地でその下は洪水砂と思われる砂層が続いており，遺構・遺物は検出されなかった．砂地であり，また受水槽の基礎も浅いためこれ以上の掘削は行わなかった．

この墓地は，明治初～昭和にかけて造営された墓地である（1996年度　熊本大学埋蔵文化財調査室年報３）．遺骨の処理等は病院と施設部で行い，そのまま施工とした．

写真25　0006調査地点試掘状況（北より）



２－２　第３井戸給排水管配管工事

＜調査期間＞

2000年11月27日～11月29日

＜調査対象面積＞

85.5㎡

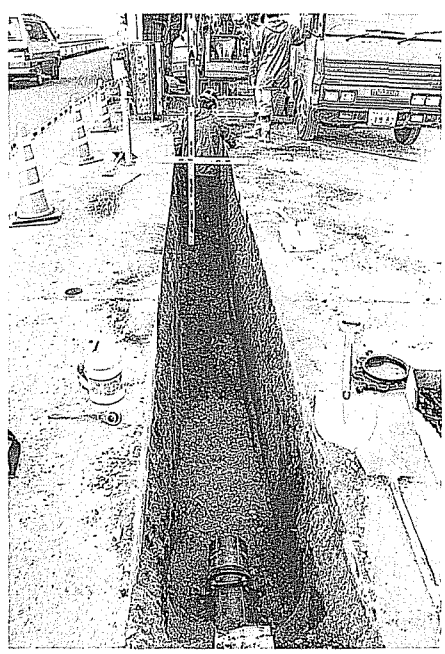
＜調査員＞

大坪志子．

＜調査概要・結果＞

新営する第３井戸受水槽へ接続する給水管配管工事である．受水槽から病院裏門のスロープを通り，第５病棟に繋がる．掘削は幅0.8m，深さ0.85～1.1ｍである．西側の掘削開始地点では地表下1.1ｍで遺構面に達したが遺構は検出されなかった．東側スロープを下る地点までは遺構・遺物はない．このスロープ部分は盛土と考えていたが，深さ１ｍで古代の遺物包含層と思われる黒色土層を確認した．第５病棟に向かう工事区間においては

写真26　0006調査地点掘削状況（西より）



0.7mの深さで地山に達した．上面まで過去の工事による現代埋土が入っており，遺構面は掘削されている可能性が高い．遺物・遺構はなかった．以上より，第5病棟北側は本来高い丘陵状の地形だったのではないかと思われる．

2－3　電気設営工事

＜調査期間＞

2000年12月18日・2001年1月9日～10日

＜調査対象面積＞

31.5㎡

＜調査員＞

大坪志子．

＜調査概要・結果＞

第3井戸ポンプ室周辺・第3病棟脇に電柱を各1本とその支柱，電気配線のための工事である．

既設の水槽沿いに配線するもので，幅約1m深さ1.1mの掘削を行った．ハンドホール設置地点は1.7mの掘削予定であった．配線部分での遺構・遺物は無かった．ハンドホール部分で1.65mの深さで遺構面に達した．水槽の基礎によりかなり撹乱を受け，遺構はなかった．

電柱は直径0.7mの穴をドリルで掘削したため遺構・遺物の確認はできなかった．水槽側の電柱支柱部分は，遺構面に達したが遺構は検出しなかった．第3病棟側の電柱支柱は深さ1.3mで遺構面に達した．そのうち東側の地点でピットを1つ確認した．記録をとり，そのまま施工を行った．

写真27　0006調査地点掘削状況（北より）

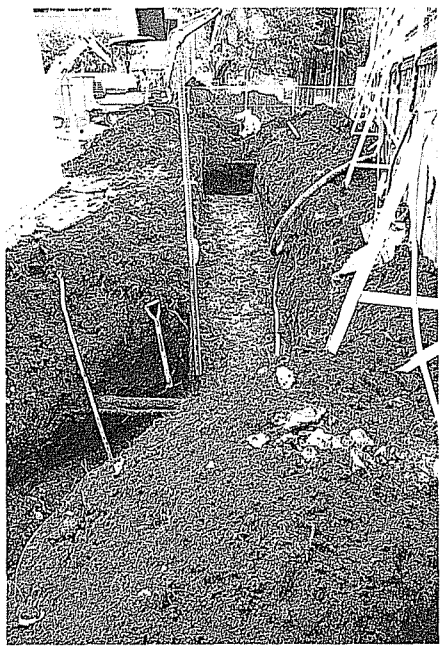
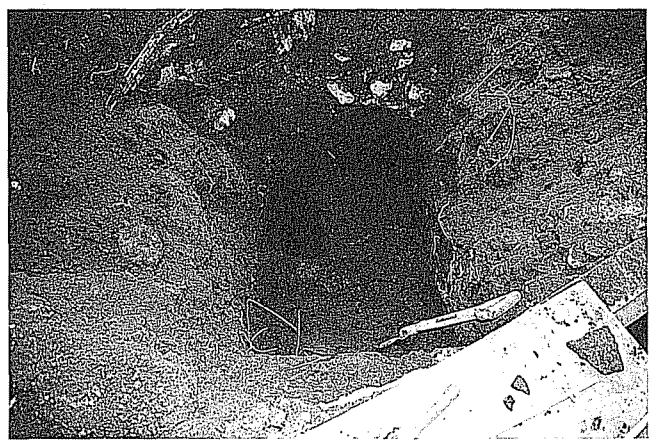


写真28　0006調査地点ピット検出状況（東より）



2－4　第1井戸給水管配管工事

＜調査期間＞

2000年12月26日～12月28日

＜調査対象面積＞

100.7㎡

＜調査員＞

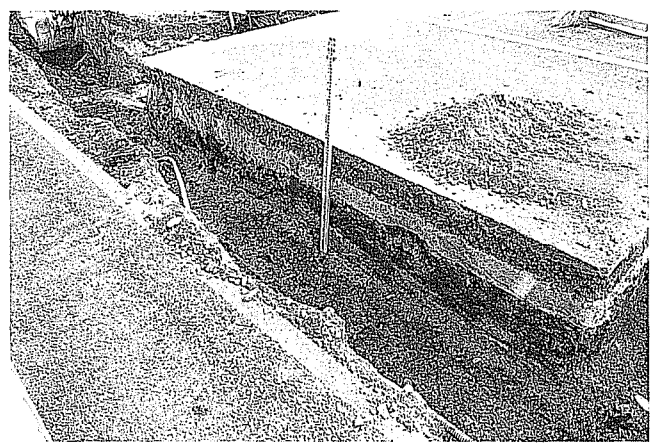
大坪志子．

＜調査概要・結果＞

既設の第1井戸ポンプ室から新営の受水槽まで給水管を接続する工事である．駐車場周囲で車両の交通に影響があるため，3区間に分けて工事・立会を行った．西側の工事区間では0.8～1mで古代の包含層上面に達した．工事による掘削はないため，そのまま砂を敷いて埋め戻し，施工した．医学部基礎研究等南側の部分は，掘削深度まで現代埋土であった．こばと保育園前は旧小松原墓地墓域である．南へ折れる付近で甕棺が2基確認された．

この区間における遺構の検出はなかった．

写真29　0006調査地点掘削状況（西より）

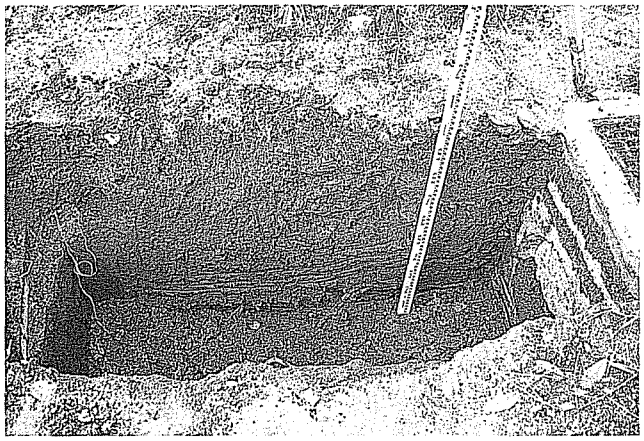


2－5　給水管工事

＜調査期間＞

2001年1月29日

写真30　0006調査地点試掘状況（西より）



＜調査対象面積＞

7㎡

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

新営の第3井戸受水槽から3号病棟脇の既設枡に排水管を接続する工事である．掘削が最も深くなる部分と中間点の2箇所について試掘トレンチを入れた．

3号病棟の枡部分では掘削予定の深さ0.9mまで掘り下げた．包含層のわずかに上であった．また，既設の受水槽横の地点では，受水槽の水が一部漏水していたのか，地中は土が液状化し，以前の構築物の基礎も入っており周辺は撹乱を受けているものと思われる．この工事による埋蔵文化財への影響はないものと判断した．

Ⅲ－4　大江地区

1. 旧ボイラー室・旧食堂一部解体・撤去工事（0011）

＜調査期間＞

2001年2月22日

＜調査対象面積＞

132㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

建物の基礎や地下室（水槽）などによって，かなり破壊が激しかった．基礎の撤去は慎重に実施するよう指導した．

2. 渡鹿団地尚武館取壊し工事（0013）

＜調査期間＞

2001年3月6日

＜調査対象面積＞

500㎡

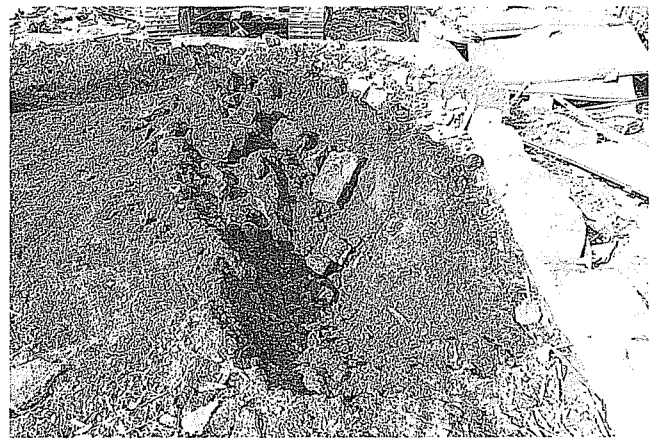
＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

建物上屋の解体を待って，基礎撤去の際に立会調査を実施した．基礎下は基礎の値切りのため撹乱されており，慎重な工事を指導した．

写真31　0013調査地点基礎撤去状況（北より）



跋　文

20世紀最後の年度は、あらゆる意味で節目の年であった。学界では考古学界を震撼させた前期旧石器問題、行政的には規制緩和政策に伴う文化財責任の地方への権限委譲など、考古学に携わるものにとっては、大きく揺れた１年であったと思う。しかし、これは学問および行政の後退ではなく、むしろ新たな世紀への脱皮として捉えねばなるまい。今こそ文化財保護の理念を再確認し、それぞれの分野で組織と遂行にあたる基本姿勢の立て直しを図る好機でもある。

わが調査室も昨春より事務組織改変に伴い施設部に配置替えになり、新たなスタートをきった。本年度も数多くの調査が実施され、学問的な成果も大きなものがあった。しかし、調査室結成以来７年目にしてもなお組織的に未成熟な面が随所に露呈し、表面的には順調に進んだ業務の影で数多くの問題が発生した。発掘調査に伴う安全対策問題、開発行為に伴う事務処理問題、学内における埋蔵文化財の周知化問題など、私達に課せられた問題は多い。

これらの問題を解決するためには、これまでより一層、大学のみならず内外に埋蔵文化財に対する正しい理解と保護意識の高揚を求めることが肝要であり、そのためにも遺跡調査や調査資料の公開を早急かつ着実に行わなければならない。また、昨年末の遺跡捏造問題以来、行政的にも調査者の責務として、発掘調査の公開および調査結果の迅速な報告が要請されているところでもある。資料の公開・活用・研究も含めて、地域社会とどうかかわっていくか、今が、文化財行政・研究の転換点であることは間違いないであろう。

埋蔵文化財調査室
小畑弘己

Summary

In 1985,Kumamoto University planed reconstruction of campus. But it was known that some of campus are designated as buried cultural assets zone. In the fiscal year 1994, Kumamoto University formed the Archaeological investigation committee and the Archaeological Operation Office in haste, and has been excavating of the campus sites when the superannuated school buildings were rebuilt since then.

We have two main campus sites at another areas. The one is the Kurokami area where is constituted of the faculty of science and the department of technology (south area) , the department of education, the law department, and the department of literature (north area) , and locates in Kurokamimachi site. The site is located at the foot of Mt.Tatuta (above sea level 151.6m) on a low terrace(above sea level 18 ~ 25m) formed by the Shirakawa River. The site are regarded as an ancient station "Kokai" . The other one is the Honjo area where is constituted of the medical science department, medical treatment junior college (south area), and the attached hospital (north area), and belong to Honjo site. The site located on a low terrace (above sea level 12 ~ 13m) formed by Shirakawa River, similar to Kurokamimachi site. It is 2km from Kurokamimati Ruins to Honjo in a straight line. In the circumstance of Honjo site, there are large ancient village sites like Oe site and Shinyasiki site.

The number of investigations in the current year is the following; excavations are 4, presence investigations are 17 and trial excavations are 2..The results are the following.

At 0006 excavation spot in the Honjo site, we excavated the site before the construction of water-supply facilities. The excavated area is 172 square meters. We discovered 4dwellings of the Kohun Age, although one may belong to Ancient time. As remains, there are potteries and stone tools of the last stage of Jomon Age and from Kohun Age to the Middle Age. At the excavation, we developed that the range of village belong to early Kohun Age which we excavated last summer spreads near the Shirakawa river.

At 0007 excavation spot in the Kyomatidai site, we excavated the site before the reconstruction of storehouse of physical implements. The excavated area is 53 square meters. We discovered 2 earthen pits and some postholes belong to Ancient time. We discovered some potteries, an earthen spindle and a knife from the earthen pit. We discovered Newly the cultural layer contains some pieces of potteries of Last stage of Yayoi period , too.

This spot is on the western slope of the kyomati plateau, and it became clear that the cultural layer and structural remains linger better in this point than the center area of plateau.

With two excavations in current year, we got splendid results as above. But survey of relics and making report are delayed because of stuff shortage. It is an issue must be solved as soon as possible. We hope and do best to make our materials public.

熊本大學校(구마모토대학교)는 건물이 노후화된 관계로 1985년부터 재건축을 할 계획을 세우는 도중에 학교가 위치하고 있는 지역이 문화재보호지역으로 지정되어 있다는 사실을 알게 되었다. 그러한 이유로 재건축을 하기에 앞서 매장문화재의 발굴조사를 위해 급하게 조사위원회와 조사실을 편성하여 1994년부터 조사를 실시하게 되었다.

학교내의 유적은 크게 두 지구로 나누어진다. 첫 번째 지구는 공학부, 이학부(남쪽지구), 교육학부, 법학부, 문학부(북쪽지구)가 자리한 黑髮(구로카미)캠퍼스로, 黑髮町(구로카미마치) 유적에 해당한다. 이 유적은 立田山(다츠타산-해발 151.9m)기슭의 상위하안단구(해발 18-25m) 위에 위차하며, 고대 "蚕養(코카이)" 의 역사(驛家)로 추정되고 있다. 두 번째 지구는 의학부, 의료단기대학(남쪽지구), 대학부속병원(북쪽지구)이 위치한 本荘(혼조)캠퍼스가 이에 해당한다. 이 지구는 혼조유적의 일부로, 黑髮유적과 함께 白川(시라카와) 강의 상위하안단구(해발 12-13m) 위에 자리잡고 있다. 혼조유적은 黑髮유적에서 직선거리로2km쯤 떨어져 있고, 가까운 곳에 大江(오오에)유적과 新屋敷(신야시키)유적등의 고대 대단위 취락유적이 분포하고 있다.

올해 매장문화재 조사실에서 실시한 조사는 발굴조사가 4건과 입회조사 17건과 시굴조사 2건으로 발굴조사의 성과는 다음과 같다.

0006지점은 혼조유적 내에 포함되는 곳으로, 대학병원의 급수설비 건설하기 위해 약 172㎡의 면적을 발굴했다. 발굴조사에서는 고분시대(古墳時代) 전기의 집터 3기와 고대(古代)의 집터 1기를 찾았다. 주된 출토유품으로 조몬시대(縄文時代) 말기의 토기와 석기, 그리고 구분시대부터 중세(中世)에 이르기까지의 토기가 많이 출토되었다. 이번의 발굴조사의 가장 큰 성과는 작년에 조사된 고분시대 촌락의 범위가 더 강 가까운 곳까지 확대되는 것이 밝혀졌다는 것이다.

0009지점은 구마모토시 북서부에 위치하고 있는 금봉산(金峰山)과 다츠타산(立田山) 사이를 두고 있는 홍적세대지(높이 30~40m)며, 이 대지 위에는 야요이시대촌락과 에도시대 성시 거리(城下町)가 위치하고 있다. 이번의 발굴조사는 대학교 부속중등학교 체육 창고를 개축하기 위해 약 53㎡의 면적을 발굴했다. 그 결과로 고대의 불정형 구멍(土坑) (주거지: 住居址) 2기와 기둥(柱穴) 몇 개를 찾을 수 있었다. 그 외에 야요이시대(弥生時代) 유물포함층을 찾았다. 유물은 여러 시대 토기과 고대 가락바퀴와 철성 손칼 등이 출토되었다. 이 발굴지점은 대지 사면부에 위치하며 생각보다 유구와 뮤물포함층이 잘 보존되어진 것을 알 수 있었다.

위와 같이 매년 실시되는 조사로 대학교 구내 유적의 성격이 차츰 밝혀지고 있으며, 오래 동안에 걸쳐 조사된 자료의 정리와 성과 공개의 일이 많이 남겨져 있다. 앞으로 이런 일을 위해 노력하고 싶다.

付篇1　寄贈図書一覧

書　名	副　題	副題2	発行機関	発行月日
1994年寄贈図書				
『なりひら』Vol.14～18	芦屋市立美術博物館だより		芦屋市立美術博物館	
『温故』第21号～第22号	甘木歴史資料館だより		甘木歴史資料館	
『兵庫県伊丹市　有岡城跡発掘調査報告書』Ⅸ	伊丹市埋蔵文化財調査報告書第18集		伊丹市教育委員会	93/12/01
『「一の宮町」出土古銭』	一の宮町文化財調査報告		一の宮町教育委員会	93/03/31
『津島岡大遺跡４－第５次調査－』	岡山大学構内遺跡発掘調査報告第７冊		岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	94/03/31
『岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報』第11号～第13号			岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	
『椿ノ原遺跡』	加世田市埋文発掘調査概要		加世田市教育委員会	94/01/01
『九州大学埋蔵文化財調査報告』	第一冊～第四冊		九州大学春日原地区埋文調査室	92/03/01
『具志川市の文化財』第１集	埋蔵文化財編（Ⅰ）		具志川市教育委員会	91/02/08
『具志川市の文化財』第２集	井泉分布調査概要		具志川市教育委員会	92/03/06
『具志川市の文化財』第３集	大門森古墓群（銘苅門中神墓）調査概要		具志川市教育委員会	93/03/31
『鳥井原遺跡発掘調査報告書』	熊本市健軍町		熊本市教育委員会	77/03/31
『長嶺遺跡発掘調査報告書』	熊本市託麻市民センター建設に伴う文化財調査		熊本市教育委員会	81/03/31
『大江遺跡群』Ⅱ	大江遺跡群第３次調査区発掘調査報告書		熊本市教育委員会	93/03/31
『戸坂遺跡発掘調査報告書』			熊本市教育委員会	86/03/31
『神園山瓦窯址』	市史編纂事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書		新熊本市史編纂委員会	91/06/24
『鷹島海底遺跡』Ⅱ	北松浦郡鷹島町床浪港改修工事に伴う緊急発掘調査報告書		長崎県鷹島町教育委員会	93/03/31
『長崎県埋蔵文化財調査年報』Ⅰ	長崎県文化財調査報告書第113集		長崎県教育委員会	94/03/31
『県内重要遺跡範囲確認調査報告書』Ⅱ	長崎県文化財調査報告書第114集		長崎県教育委員会	94/03/31
『中木場遺跡』	長崎県文化財調査報告書第115集	水無川第３遊砂地造成工事に伴う発掘調査	長崎県教育委員会	94/03/31
『県道国見雲仙線改良工事に伴う埋文緊急発掘調査報告』	長崎県文化財調査報告書第116集		長崎県教育委員会	94/03/31
『中堂遺跡』	熊本県人吉市文化財調査報告書		人吉市教育委員会文化課文化財係	93/03/31
『比恵遺跡』13	福岡市埋蔵文化財調査報告書第368集	比恵遺跡群第40・42・44・48次調査の報告	福岡市教育委員会	94/03/31
『鴻臚館跡』４	福岡市埋蔵文化財調査報告書第372集	平成４年度発掘調査概要報告	福岡市教育委員会	94/03/31
『古内殿古墳群』	福間町文化財調査報告書第７集	福岡県宗像郡福間町大字内殿所在古墳群の調査	福間町教育委員会	94/03/31
『備後国府跡』	都市計画街路建設に伴う発掘調査概報		府中市教育委員会	89/10/01
『備後国府と鴻臚館・大宰府・西日本の国府』	出土遺物展図録		府中市教育委員会	91/11/10
『備後国府跡』	－推定地に係る1990年度調査－		府中市教育委員会	92/03/31
『備後国府跡』	－推定地に係る1991年度調査概報－		府中市教育委員会	93/03/31
『福岡県宗像市内遺跡等分布地図』			宗像市教育委員会	94/03/31
『八所宮』	宗像市文化財調査報告書第31集		宗像市教育委員会	91/03/30
『王丸清勢』	宗像市文化財調査報告書第33集		宗像市教育委員会	91/03/31
『王丸清勢』Ⅱ	宗像市文化財調査報告書第35集		宗像市教育委員会	91/03/31

書　名	副　題	副題２	発行機関	発行月日
『冨地原上瀬ケ浦』	宗像市文化財調査報告書第38集』		宗像市教育委員会	94/03/31
『冨地原川原田』Ⅰ	宗像市文化財調査報告書第39集		宗像市教育委員会	94/03/31
『大江東原遺跡』	九州郵政局レクリエーションセンター遺跡調査報告書		郵政省九州郵政局・有薗徹	87/03/31
『立命館大学文学部学芸員課程研究報告』第４冊	鳴谷東古墳群第３・４次発掘調査概報		立命館大学文学部	92/03/31
1995年度寄贈図書				
『大庭宇土ノ上遺跡』	朝倉町文化財調査報告書第５集	朝倉郡朝倉町所在遺跡群の調査	朝倉町教育委員会	95/03/31
『なりひら』Vol.19	芦屋市立美術博物館だより		芦屋市立美術博物館	
『温故』第23号	甘木歴史資料館だより		甘木歴史資料館	
『兵庫県伊丹市　口酒井遺跡発掘調査報告書』	伊丹市埋蔵文化財調査報告書第20集	第22次・25次調査	伊丹市教育委員会	95/03/01
『日本古代の葬制と社会関係の基礎的研究』			大阪大学文学部	95/03/01
『大野城市の文化財』第27集	大野城市の指定文化財		大野城市教育委員会	95/03/31
『水城跡』Ⅰ	大野城市文化財調査報告書第43集		大野城市教育委員会	95/03/31
『岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報』第14号	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報		岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	
『岡山大学構内遺跡調査研究年報』11	1993年度岡山大構内調査研究年報		岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	95/02/28
『津島岡大遺跡５－第８次調査－』	岡山大学構内遺跡発掘調査報告第８冊		岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	95/03/31
『釘田第一地点（鹿大教養部）遺跡発掘調査報告』	平成６年度教育研究学内特別経費研究成果報告書	遺構出土遺物の概要	鹿児島大学埋蔵文化財調査室	95/03/01
『鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報』Ⅸ・Ⅹ	平成５・６年度		鹿児島大学埋蔵文化財調査室	95/03/01
『別府城跡』	加世田市埋文発掘調査報告書（10）		加世田市教育委員会	95/03/01
『平田尻遺跡・祝原遺跡』	加世田市埋文発掘調査報告書（11）		加世田市教育委員会	95/03/01
『千河原遺跡』	加世田市埋文発掘調査報告書（12）		加世田市教育委員会	95/03/01
『江馬氏城館跡』	下館跡発掘調査報告書Ⅰ		神岡町教委・富山大学考古学研究室	95/03/31
『元興寺文化財研究』No.54～56			㈶元興寺文化財研究所	
『熊本市埋蔵文化財調査年報』第１号	昭和63年度～平成３年度		熊本市教育委員会	95/03/31
『平成４年度　神戸市埋蔵文化財年報』			神戸市教育委員会	95/03/31
『上沢遺跡発掘調査報告書』			神戸市教育委員会	95/03/31
『平安京出土土器の研究』	古代學研究所研究報告　第４輯		㈶古代學協會	94/12/31
『県内重要遺跡範囲確認調査報告書』Ⅲ	長崎県文化財調査報告書121集		長崎県教育委員会	95/03/31
『長崎県埋蔵文化財調査年報』Ⅱ	長崎県文化財調査報告書122集	（平成５年度）	長崎県教育委員会	95/03/31
『万才町遺跡』	長崎県文化財調査報告書123集	長崎県庁新別館建替えに伴う発掘調査報告書	長崎県教育委員会	95/03/31
『穂坂天神原遺跡』	杷木町文化財調査報告第２集	朝倉郡杷木町大字穂坂所在遺跡の調査報告	杷木町教育委員会	95/03/31
『二十谷遺跡第２地点・小覚原遺跡第２地点』	杷木町文化財調査報告第３集	朝倉郡杷木町大字林田所在遺跡の調査報告	杷木町教育委員会	95/03/31
『ひろしまの遺跡』第61号～64号	㈶広島県埋蔵文化財調査センター報		㈶広島県埋蔵文化財調査センター	
『栗崎遺跡』	福岡県文化財調査報告第120集	小郡市・三井郡大刀洗町所在遺跡の調査６	福岡県教育委員会	95/03/31
『三毛門放生田遺跡』	福岡県文化財調査報告第121集	豊前市大字三毛門所在遺跡の調査	福岡県教育委員会	95/03/31
『新延貝塚（主要地方道宮田遠賀埋文調査報告）』	福岡県文化財調査報告書122集（本文・図版）	鞍手郡鞍手町所在縄文時代貝塚の調査	福岡県教育委員会	95/03/31

書　名	副　題	副題2	発行機関	発行月日
『龍頭遺跡（付　裂田溝の調査）』	福岡県文化財調査報告書123集	筑紫郡那珂川町所在弥生・古墳時代遺跡調査	福岡県教育委員会	95/03/31
『久富斗代遺跡』	福岡県文化財調査報告書124集	筑後市大字久富所在遺跡の発掘調査報告	福岡県教育委員会	95/03/31
『町口遺跡・西森田遺跡』	福岡県文化財調査報告書125集	国道322号線関係埋文報告－大刀洗町内遺跡－	福岡県教育委員会	95/03/31
『浦ノ田Ａ・Ｂ遺跡』	福岡県文化財調査報告書126集	九州国立博物館建設予定地内の埋文発掘調査	福岡県教育委員会	95/03/31
『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告』33上・下巻	朝倉郡朝倉町所在上の原遺跡の調査Ⅲ		福岡県教育委員会	95/03/31
『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告』34	朝倉郡朝倉町所在長島遺跡の調査（Ｃ地区）		福岡県教育委員会	95/03/31
『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告』35	外之隈遺跡Ⅰ	朝倉郡朝倉町・杷木町所在　外之隈遺跡（墳墓）	福岡県教育委員会	95/03/31
『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告』36	朝倉郡朝倉町大字大庭所在の大庭・久保遺跡		福岡県教育委員会	95/03/31
『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告』37	甘木市所在　柿原Ⅰ縄文遺跡		福岡県教育委員会	95/03/31
『上唐原遺跡』Ⅰ	一般国道10号線豊前バイパス関係埋蔵文化財調査調査報告第２集	築上郡大平村所在上唐原遺跡の調査１	福岡県教育委員会	95/03/31
『徳永川ノ上遺跡』Ⅰ	一般国道10号線椎田道路関係埋蔵文化財調査報告第４集	福岡県京都郡豊津町大字徳永所在遺跡の調査	福岡県教育委員会	95/03/31
『鋤先遺跡』	一般国道10号線椎田道路関係埋蔵文化財調査報告第５集	福岡県京都郡豊津町大字徳永所在遺跡の調査	福岡県教育委員会	95/03/31
『久良々遺跡　倉良遺跡　天神田遺跡』	一般国道３号線筑紫野バイパス関係埋蔵文化財調査報告第２集	福岡県筑紫野市大字筑紫所在遺跡の調査	福岡県教育委員会	95/03/31
『府中市内遺跡』１	府中市埋蔵文化財調査報告第６冊	1993年度調査に関する報告	府中市教育委員会	95/03/31
『冨地原森』	宗像市文化財調査報告書第40集	宗像市冨地原所在遺跡の発掘調査報告	宗像市教育委員会	95/03/31
『古代むなかた史をさぐる』	宗像市文化財講演会資料５		宗像市教育委員会	95/03/19
『山口大学構内遺跡調査研究年報』ⅩⅢ			山口大学	95/03/01
『山口大学考古学・地理学オンラインミュージアム創設に関する研究』	平成７年度山口大学学内特定研究経費成果		山口大学	95/03/31
『蕨市金山遺跡調査報告書』	蕨市埋蔵文化財調査報告書第１集		埼玉県蕨市	95/03/31
1996年度寄贈図書				
『井ノ内稲荷塚古墳－第３次発掘調査概報－』	長岡京市文化財調査報告書第34冊別刷		大阪大学稲荷塚古墳発掘調査団	96/03/31
『大野城市の文化財』第28集	特別史跡　大野城跡		大野城市教育委員会	96/03/31
『牛頚塚原遺跡群』	大野城市文化財調査報告書第44集		大野城市教育委員会	95/12/25
『小水城周辺遺跡』Ⅰ	大野城市文化財調査報告書第45集		大野城市教育委員会	95/12/25
『牛頚屏風田遺跡』	大野城市文化財調査報告書第46集		大野城市教育委員会	95/12/25
『石勺遺跡』Ⅰ	大野城市文化財調査報告書第47集	Ｈ地点の調査	大野城市教育委員会	96/03/15
『久福木・立山遺跡Ⅳ』	大牟田市文化財調査報告書47集	個人住宅建設に伴う久福木・立山遺跡Ｅ地点	大牟田市教育委員会	96/03/31
『黒崎山古墳群』Ⅰ	大牟田市文化財調査報告書48集（平成６年度）	黒崎観世音塚古墳を中心とする古墳群の調査	大牟田市教育委員会	96/03/31
『恩原２遺跡－ The Onbara 2 Prehistric Site －』			岡山大学文学部考古学研究室	96/03/20
『岡山大学構内遺跡調査研究年報』12	1994年度岡大構内調査研究年報		岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	95/12/28
『津島岡大遺跡６－第６・７次調査－』	岡山大学構内遺跡発掘調査報告第９冊		岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	95/12/30

書　名	副　題	副題２	発行機関	発行月日
『津島岡大遺跡７－第11次調査－』	岡山大学構内遺跡発掘調査報告第10冊	（総合情報処理センター新営予定地）	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	96/02/29
『岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報』第16号			岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	
『上加世田遺跡』	加世田市埋蔵文化財発掘調査報告書（13）		加世田市教育委員会	96/03/20
『元興寺文化財研究』No.58～60			(財)元興寺文化財研究所	
『大山富盛原第一遺跡』	宜野湾市文化財調査報告書22集	個人住宅に伴う緊急発掘調査報告書	宜野湾市教育委員会	96/03/29
『野嵩ウガンヌカタ遺跡』	宜野湾市文化財調査報告書23集	都市計画街路３－４－32号野嵩線建設工事に係る緊急発掘調査報告書	宜野湾市教育委員会	96/03/29
『奥間ノ口墓』図録編	宜野湾市文化財調査報告書24集	一般国道58号牧港立体事業に係る緊急調査	宜野湾市教育委員会	96/03/29
『伊佐前原第一・第二遺跡　発掘調査記録』	宜野湾市文化財保護資料44集	キャンプズケラン基地内陸軍貯油施設工事・概要	宜野湾市教育委員会	96/03/29
『真志喜森川原第二遺跡　発掘調査記録』	宜野湾市文化財保護資料45集	個人住宅建設工事に係る緊急調査概要	宜野湾市教育委員会	96/03/29
『豊前岩戸神楽』			京築地区神楽調査委員会	96/03/01
『尾足横穴群』	旭志村文化財調査報告書	熊本県菊池郡旭志村尾足所在の横穴の調査	旭志村教育委員会	96/03/31
『亀ケ城跡』	旭志村文化財調査報告　第３集		旭志村教育委員会	96/03/31
『池辺寺跡』Ⅰ	熊本市文化財調査報告書	百塚遺跡Ｃ地点・堂床遺跡発掘調査報告書	熊本市教育委員会	96/03/31
『長倉遺跡』	玄海町文化財調査報告書第４集	県営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	玄海町教育委員会	96/03/31
『西求女塚古墳　第５次･第７次発掘調査概報』			神戸市教育委員会	95/10/05
『下関市立考古博物館年報１－平成７年度－』			下関市立考古博物館	96/03/31
『下関市立考古博物館常設展示図録』			下関市立考古博物館	95/05/13
『西南学院大学　国際文化論集』第10巻第２号			西南学院大学学術研究所	96/02/29
『蛙股遺跡』	高松市埋蔵文化財調査報告第29集	一般国道11号高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第六冊	高松市教育委員会	95/10/31
『居石遺跡』	高松市埋蔵文化財調査報告第30集	一般国道11号高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第七冊	高松市教育委員会	95/10/31
『西館古墳』	田主丸町文化財調査報告書第６集	浮羽郡田主丸町所在装飾古墳の発掘調査概要	福岡県浮羽郡田主丸町教育委員会	96/03/31
『長畝山北11号墳』	津山市埋蔵文化財発掘調査報告57集		津山市教育委員会	96/03/31
『年報　津山弥生の里』第３号	平成６年度		津山弥生の里文化財センター	96/03/31
『地域文化研究』11	地域文化研究所紀要		梅光女学院大学	96/03/10
『地域文化研究所通信』No.21			梅光女学院大学	
『ひろしまの遺跡』第65号～第68号	(財)広島県埋蔵文化財調査センター報		(財)広島県埋蔵文化財調査センター	
『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告』38	小郡市大字井上所在の井上薬師堂遺跡調査２		福岡県教育委員会	96/03/29
『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告』39	上・下巻	朝倉郡朝倉町　中道・石成久保・大還端遺跡	福岡県教育委員会	96/03/31
『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告』40	外之隈遺跡Ⅱ（集落編）	朝倉郡朝倉町・杷木町所在　外之隈遺跡の調査	福岡県教育委員会	96/03/31
『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告』41	柿原遺跡群の調査Ⅳ（Ｌ地区）	朝倉郡杷木町大谷遺跡・甘木市柿原遺跡調査	福岡県教育委員会	96/03/31
『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告』42	朝倉郡杷木町所在天園・夕月・上池田遺跡		福岡県教育委員会	96/03/31
『池ノ口遺跡』	一般国道10号線豊前バイパス関係埋蔵文化財調査報告第３集	福岡県築上郡新吉富村所在池ノ口遺跡の調査	福岡県教育委員会	96/03/31

書　名	副　題	副題２	発行機関	発行月日
『金居塚遺跡』Ⅰ	一般国道10号線豊前バイパス関係埋蔵文化財調査報告第４集	福岡県築上郡太平村所在金居塚遺跡の調査Ⅰ	福岡県教育委員会	96/03/31
『上唐原遺跡』Ⅱ	一般国道10号線豊前バイパス関係埋蔵文化財調査報告第５集	福岡県築上郡太平村所在上唐原遺跡の調査２	福岡県教育委員会	96/03/31
『居屋敷遺跡』	一般国道10号線椎田道路関係埋蔵文化財調査報告第６集	福岡県京都郡豊津町大字徳永所在遺跡の調査	福岡県教育委員会	96/03/31
『徳永川ノ上遺跡（本文・図版・付図）』Ⅱ	一般国道10号線椎田道路関係埋蔵文化財調査報告第７集	福岡県京都郡豊津町大字徳永所在遺跡の調査	福岡県教育委員会	96/03/31
『中村石丸遺跡』（上・下巻）	一般国道10号線椎田道路関係埋蔵文化財調査報告第８集	豊前市豊津町大字中村所在縄文遺跡の調査	福岡県教育委員会	96/03/31
『井尻Ｂ遺跡４　南八幡遺跡４』	福岡市埋蔵文化財調査報告書第441集	井尻Ｂ・南八幡遺跡第５次調査報告	福岡市教育委員会	96/03/31
『比恵遺跡群』(19)	福岡市埋蔵文化財調査報告書第442集	比恵遺跡群第55次発掘調査報告	福岡市教育委員会	96/03/31
『博多』49	福岡市埋蔵文化財調査報告書第443集	博多遺跡群第87次調査の概要	福岡市教育委員会	96/03/31
『原遺跡』８	福岡市埋蔵文化財調査報告書第444集	第17次調査の報告	福岡市教育委員会	96/03/31
『持田ヶ浦古墳群』２	福岡市埋蔵文化財調査報告書第445集	Ｄ群６～９号墳の調査	福岡市教育委員会	96/03/31
『蒲田部木原』３次	福岡市埋蔵文化財調査報告書第446集		福岡市教育委員会	96/03/31
『博多』50	福岡市埋蔵文化財調査報告書第447集	博多遺跡群第79次調査の概要	福岡市教育委員会	96/03/31
『博多』51	福岡市埋蔵文化財調査報告書第448集	博多遺跡群第80次調査の概要	福岡市教育委員会	96/03/31
『博多』52	福岡市埋蔵文化財調査報告書第449集	第82次調査報告	福岡市教育委員会	96/03/31
『博多』53	福岡市埋蔵文化財調査報告書第450集	博多遺跡群71次調査の報告	福岡市教育委員会	96/03/31
『比恵遺跡群』(20)	福岡市埋蔵文化財調査報告書第451集	比恵遺跡群第50次調査概要・第53次調査報告	福岡市教育委員会	96/03/31
『比恵遺跡群』(21)	福岡市埋蔵文化財調査報告書第452集	第51次調査の報告	福岡市教育委員会	96/03/31
『比恵遺跡群』(22)	福岡市埋蔵文化財調査報告書第453集	比恵遺跡群第43次発掘調査報告	福岡市教育委員会	96/03/31
『那珂遺跡』15	福岡市埋蔵文化財調査報告書第454集	那珂遺跡群第47次発掘調査報告	福岡市教育委員会	96/03/31
『那珂』16	福岡市埋蔵文化財調査報告書第455集	那珂遺跡群第48次、49次調査報告	福岡市教育委員会	96/03/31
『下月隈天神森遺跡』Ⅱ	福岡市埋蔵文化財調査報告書第456集	下月隈天神森遺跡第２次発掘調査報告	福岡市教育委員会	96/03/31
『下月隈天神森遺跡』Ⅲ	福岡市埋蔵文化財調査報告書第457集	下月隈Ｂ２・３次、下月隈Ｃ１次、板付66次	福岡市教育委員会	96/03/31
『井相田Ｃ遺跡第５次高畑遺跡第14次』	福岡市埋蔵文化財調査報告書第458集		福岡市教育委員会	96/03/31
『箱崎遺跡』４	福岡市埋蔵文化財調査報告書第459集	箱崎遺跡群第６次・７次調査報告	福岡市教育委員会	96/03/31
『福岡市　東那珂遺跡』２	福岡市埋蔵文化財調査報告書第460集	東那珂遺跡第２次調査報告	福岡市教育委員会	96/03/31
『吉武遺跡群』Ⅷ	福岡市埋蔵文化財調査報告書第461集	飯盛・吉武圃場整備事業関係調査報告書２	福岡市教育委員会	96/03/29
『長峰遺跡』２	福岡市埋蔵文化財調査報告書第462集		福岡市教育委員会	96/03/29
『福岡城　赤坂門跡』	福岡市埋蔵文化財調査報告書第463集	福岡城跡第26次調査報告	福岡市教育委員会	96/03/31
『吉塚』２	福岡市埋蔵文化財調査報告書第464集	吉塚遺跡群第２次調査の報告	福岡市教育委員会	96/03/31

書　名	副　題	副題２	発行機関	発行月日
『立花寺』３	福岡市埋蔵文化財調査報告書第465集	第３次調査報告	福岡市教育委員会	96/03/31
『立花寺』４	福岡市埋蔵文化財調査報告書第466集	第４次調査報告	福岡市教育委員会	96/03/31
『福岡外環状道路関係埋蔵文化財調査報告』－１－	福岡市埋蔵文化財調査報告書第467集	次郎丸遺跡・次郎丸高石遺跡第２次調査	福岡市教育委員会	96/03/29
『次郎丸遺跡』Ⅰ	福岡市埋蔵文化財調査報告書第468集	次郎丸遺跡群第３次調査	福岡市教育委員会	96/03/31
『カルメル修道院内遺跡』Ⅲ	福岡市埋蔵文化財調査報告書第469集	カルメル修道院内遺跡群第４次調査	福岡市教育委員会	96/03/31
『福岡市　有田・小田部』第23集	福岡市埋蔵文化財調査報告書第470集		福岡市教育委員会	96/03/29
『有田・小田部』第24集	福岡市埋蔵文化財調査報告書第471集		福岡市教育委員会	96/03/31
『福岡市　有田・小田部』第25集	福岡市埋蔵文化財調査報告書第472集		福岡市教育委員会	96/03/29
『有田・小田部』第26集	福岡市埋蔵文化財調査報告書第473集	有田遺跡群170次・173次調査の報告	福岡市教育委員会	96/03/29
『兜塚古墳』	福岡市埋蔵文化財調査報告書第474集		福岡市教育委員会	96/03/29
『堀ノ内遺跡』１	福岡市埋蔵文化財調査報告書第475集	堀ノ内遺跡群第１次調査報告	福岡市教育委員会	96/03/29
『三苫永浦遺跡』	福岡市埋蔵文化財調査報告書第476集		福岡市教育委員会	96/03/29
『三苫遺跡群』２	福岡市埋蔵文化財調査報告書第477集	第２次・３次調査報告	福岡市教育委員会	96/03/29
『姪浜遺跡』２	福岡市埋蔵文化財調査報告書第478集		福岡市教育委員会	96/03/29
『今宿五郎江遺跡Ⅲ　徳永Ａ遺跡Ⅲ　丸隈山遺跡群Ⅰ』	福岡市埋蔵文化財調査報告書第479集	九州電力鉄塔建設に伴う発掘調査報告	福岡市教育委員会	96/03/29
『桑原遺跡群』２	福岡市埋蔵文化財調査報告書第480集	飛櫛貝塚第１次調査	福岡市教育委員会	96/03/31
『大原Ｄ遺跡群』１	福岡市埋蔵文化財調査報告書第481集	新西部埋め立て場建設に伴う埋蔵文化財調査	福岡市教育委員会	96/03/31
『福岡市早良区　四箇周辺遺跡調査報告書』（７）	福岡市埋蔵文化財調査報告書第482集		福岡市教育委員会	96/03/14
『西新町遺跡』４	福岡市埋蔵文化財調査報告書第484集		福岡市教育委員会	96/03/29
『西新町遺跡』５	福岡市埋蔵文化財調査報告書第483集	西新町遺跡６・７次調査報告書	福岡市教育委員会	96/03/31
『入部』Ⅵ	福岡市埋蔵文化財調査報告書第485集	東入部遺跡第３次・第10次調査報告	福岡市教育委員会	96/03/29
『鴻臚館跡』６	福岡市埋蔵文化財調査報告書第486集	平成６年度発掘調査概要報告	福岡市教育委員会	96/03/15
『鴻臚館跡』７	福岡市埋蔵文化財調査報告書第487集	鴻臚館跡第Ⅰ期整備報告	福岡市教育委員会	96/03/15
『福岡市埋蔵文化財年報　vol.9　1994年度』	各調査担当者による分担執筆		福岡市教育委員会	96/03/29
『八並中原古墳群』	福間町文化財調査報告書第９集	福岡県宗像郡福間町大字八並字中原所在古墳群の調査	福間町教育委員会	96/03/29
『手光酒屋遺跡』	福間町文化財調査報告書第10集		福間町教育委員会	96/03/31
『府中市内遺跡』２	府中市埋蔵文化財調査報告第７冊	1994年度調査に関する報告	府中市教育委員会	96/03/31
『菅原遺跡』	本渡市文化財調査報告書第７集		本渡市教育委員会	96/03/29
『日向市埋蔵文化財調査報告書』第43集			㈶向日市埋蔵文化財センター・向日市教育委員会	96/03/31
『都城』７	㈶向日市埋蔵文化財センター年報		㈶向日市埋蔵文化財センター	96/03/29
『冨地原神屋崎』	宗像市文化財調査報告書第41集	福岡県宗像市冨地原所在遺跡の発掘調査報告	宗像市教育委員会	96/03/29

書　名	副　題	副題２	発行機関	発行月日
『本目』	免田町文化財調査報告第２集	第１次・第２次調査報告（付）才園古墳神獣鏡	免田町教育委員会	96/01/31
1997年度寄贈図書				
『愛媛大学構内遺跡調査集報』Ⅰ	愛媛大学埋蔵文化財調査報告Ⅴ	1987～1994年度における立会・試掘・確認調査成果の報告	愛媛大学埋蔵文化財調査室	97/03/26
『愛媛大学構内遺跡調査集報』Ⅰ（図版編）	愛媛大学埋蔵文化財調査報告Ⅴ	津田山／東長戸／山越／城北／持田／樽味／北吉井／重信地区における立会・試掘・確認調査成果の報告	愛媛大学埋蔵文化財調査室	95/03/30
『樽味遺跡』Ⅲ	愛媛大学埋蔵文化財調査報告Ⅵ	樽味３次調査報告	愛媛大学埋蔵文化財調査室	97/03/28
『御陵前ノ椽遺跡』	大野城市文化財調査報告書第48集		大野城市教育委員会	97/03/31
『牛頸石坂窯跡』	大野城市文化財調査報告書第49集	Ｅ地点	大野城市教育委員会	97/03/31
『石勺遺跡』Ⅱ	大野城市文化財調査報告書第50集	Ｇ地点の調査	大野城市教育委員会	97/03/31
『岡山大学構内遺跡調査研究年報』13	1995年度岡大構内調査研究年報		岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	96/10/22
『岡山大学構内遺跡調査研究年報』14			岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	97/11/30
『津島岡大遺跡９－第14次調査－』	岡山大学構内遺跡発掘調査報告第13冊	福利厚生施設南棟新営予定地　ＢＢ・ＢＣ12区	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	97/12/20
『今、よみがえる古代』	岡山大学埋蔵文化財調査研究センターの10年		岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	97/11/08
『岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報』第18号～第19号			岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	
『沖縄県立博物館紀要』第23集			沖縄県立博物館	97/03/31
『室川貝塚』	沖縄市文化財調査報告書第20集	沖縄市総合庁舎建設に伴う崖下地区記録保存	沖縄市教育委員会	97/01/01
『小郡市史』第一巻	通史編（地理・原始・古代）		小郡市	96/07/01
『鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報』11	平成７年度		鹿児島大学埋蔵文化財調査室	97/03/31
『ヘゴノ原遺跡』	加世田市埋蔵文化財発掘調査事業報告書（14）	県営広域農営団地農道整備事業に伴う埋蔵文化財調査	加世田市教育委員会	97/02/28
『元興寺文化財研究』No.61～64			(財)元興寺文化財研究所	
『古代王権の祭祀と神話』			白石タイ	97/03/20
『大宰府史跡』	平成８年度発掘調査概報		九州歴史資料館	97/03/31
『全国の装飾古墳２　大分県の装飾古墳』	企画展展示図録	平成８年度後期企画展	熊本県立装飾古墳館	96/10/01
『つつじヶ丘横穴墓群』	発掘調査概報Ⅲ		熊本市教育委員会	97/03/01
『池尻海底遺跡』	玄海町文化財調査報告書第５集		玄海町教育委員会	96/10/01
『上美都岐遺跡』	佐川町埋蔵文化財発掘調査報告書第３集	佐川町斗賀野地区県営圃場整備事業に伴う発掘調査報告書Ⅱ	佐川町教育委員会	97/03/18
『下関市立考古博物館年報２－平成８年度－』			下関市立考古博物館	97/03/31
『研究紀要』第１号			下関市立考古博物館	97/03/31
『阿高城跡』	城南町文化財調査報告第10集	採土工事に伴う発掘調査	城南町教育委員会	97/03/27
『新御堂遺跡』	町道舞原中央線道路改良工事に伴う発掘調査		新御堂遺跡調査団	97/03/13
『大ノ瀬下大坪遺跡』	新吉富村文化財調査報告書第10集	福岡県築上郡新吉富村大字大ノ瀬所在遺跡の発掘調査概要報告	新吉富村教育委員会	97/03/31
『西南学院大学　国際文化論集』第11巻第１号			西南学院大学学術研究所	96/09/01
『西南学院大学　国際文化論集』第11巻第２号			西南学院大学学術研究所	97/02/01

書　名	副　題	副題２	発行機関	発行月日
『黒人奴隷制廃止思想の発生』	西南学院大学学術研究所研究叢書 No.10		西南学院大学学術研究所	97/03/03
『西吉田北遺跡』	津山市埋蔵文化財発掘調査報告第58集		津山市教育委員会	97/03/31
『有本古墳群』	津山市埋蔵文化財発掘調査報告第59集	津山総合流通センター埋文発掘調査報告１	津山市土地開発公社・津山市教育委員会	97/03/31
『日上天皇山古墳』	津山市埋蔵文化財発掘調査報告第60集		津山市教育委員会	97/03/31
『永見屋敷跡』	津山市埋蔵文化財発掘調査報告第61集	作州ふるさと観光センター移築に伴う発掘調査	津山市教育委員会	97/03/31
『津山弥生の里』第４号（平成７年度）			津山弥生の里文化財センター・津山市教育委員会	97/03/31
『須恵器集成Ⅱ（東日本篇）』			東京国立博物館	97/03/31
『阿波海南　大里２号　発掘調査報告書』			徳島大学考古学研究室・徳島県海部郡海南町教育委員会	97/03/31
『井ノ内稲荷古墳Ⅱ－第４次発掘調査概報－』	長岡京市文化財調査報告書第37冊		長岡京市教育委員会	97/03/31
『原の辻遺跡・安国寺前Ａ遺跡・安国寺前Ｂ遺跡』	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第１集	幡鉾川流域総合整備計画（圃場整備事業）に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅱ	長崎県教育委員会	97/03/31
『百合畑古墳群・山ノ神古墳・壱岐氏居館跡』	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第２集	一般国道382号および県道湯ノ本・芦辺線改良工事に伴う発掘調査報告書	長崎県教育委員会	97/03/31
『覩城跡』	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第３集	幡鉾川流域総合整備計画（圃場整備事業）に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅲ	長崎県教育委員会	97/03/31
『那覇市の文化財　平成８年度』			那覇市教育委員会	97/03/01
『銘刈原遺跡』	那覇新都心土地区画整理事業に伴う緊急発掘調査報告Ⅳ		那覇市教育委員会	97/03/14
『地域文化研究』12	地域文化研究所紀要		梅光女学院大学	97/03/10
『地域文化研究所通信』No.22～23			梅光女学院大学	
『ひろしまの遺跡』第70号・第72号	㈶広島県埋蔵文化財調査センター報		㈶広島県埋蔵文化財調査センター	
『広島県立歴史博物館ニュース』第26号			広島県立博物館	96/04/02
『広島県立歴史博物館ニュース』第30号			広島県立歴史博物館	97/03/31
『埋蔵文化財調査の歩み』	広島大学統合移転地		広島大学統合移転地埋文調査委員会	96/12/01
『塚崎東畑遺跡』	福岡県文化財調査報告書第127集	県道宮本・大川線関係埋蔵文化財調査報告書	福岡県教育委員会	97/03/31
『毘沙門遺跡』	福岡県文化財調査報告書第128集	県道国見松江線改良工事に伴う福岡県豊前市大字馬場所在遺跡の発掘調査	福岡県教育委員会	97/03/31
『下高橋馬屋元遺跡』（１）	福岡県文化財調査報告書第129集	県道久留米・筑紫野線関係埋蔵文化財調査報告７	福岡県教育委員会	97/03/31
『堅粕遺跡群』	福岡県文化財調査報告書第130集	千代１丁目遺跡	福岡県教育委員会	97/03/31
『君畑遺跡』Ⅱ	福岡県文化財調査報告書第131集	県立大宰府病院全面改築に伴う埋文調査報告	福岡県教育委員会	97/03/31
『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告』43	クリナラ遺跡・若宮遺跡	朝倉郡杷木町所在　クリナラ遺跡・若宮遺跡	福岡県教育委員会	97/03/31
『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告』44	笹隈遺跡	福岡県朝倉郡杷木町所在笹隈遺跡の調査	福岡県教育委員会	97/03/31
『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告』45　上巻	志波桑ノ本遺跡	朝倉郡杷木町大字志波所在遺跡の調査	福岡県教育委員会	97/03/31
『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告』45　下巻	志波岡本遺跡・江栗遺跡	朝倉郡杷木町大字志波所在遺跡の調査	福岡県教育委員会	97/03/31
『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告』46	宮原遺跡	甘木市所在宮原遺跡の調査Ⅲ（ＡⅡ地区・Ｄ地区）	福岡県教育委員会	97/03/31

書　名	副　題	副題２	発行機関	発行月日
『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告』47	西法寺遺跡・経塚遺跡	朝倉郡朝倉町大字大庭所在の西法寺・経塚遺跡の調査	福岡県教育委員会	97/03/31
『ウツケ畑遺跡・三ツ溝・長田・大池添・竹ノ下遺跡』	一般国道10号豊前バイパス関係埋蔵文化財調査報告第６集　上巻	福岡県築上郡新吉富所在遺跡の調査	福岡県教育委員会	97/03/31
『桑野遺跡・上の熊遺跡・小松原遺跡』	一般国道10号豊前バイパス関係埋蔵文化財調査報告第６集　下巻	福岡県築上郡大平村所在遺跡の調査	福岡県教育委員会	97/03/31
『金居塚遺跡』Ⅱ	一般国道10号豊前バイパス関係埋蔵文化財調査報告第７集	福岡県築上郡大平村所在金居塚遺跡の調査２	福岡県教育委員会	97/03/31
『徳永川ノ上遺跡』Ⅲ	一般国道10号線椎田道路関係埋蔵文化財調査報告第９集	福岡県京都郡豊津町大字徳永所在遺跡郡の調査	福岡県教育委員会	97/03/31
『以来尺遺跡』Ⅰ（上巻・中巻・下巻）	一般国道３号筑紫野バイパス関係埋蔵文化財調査報告第４集	福岡県筑紫野市大字筑紫野所在遺跡の調査	福岡県教育委員会	97/03/31
『上唐原稲本屋敷遺跡』	一級河川山国川築堤関係埋蔵文化財調査報告１	福岡県築上郡大平村所在遺跡の調査	福岡県教育委員会	97/03/31
『福岡県埋蔵文化財発掘調査年報』	平成６年度		福岡県教育委員会	97/03/31
『府中市内遺跡』３	府中市埋蔵文化財調査報告第８冊	1995年度調査に関する報告	府中市教育委員会	97/03/31
『埋もれていた　府中』	備後国府跡発掘調査物語		府中市教育委員会	96/10/05
『向日市埋蔵文化財調査報告書』第41集			㈶向日市埋文センター・向日市教育委員会	97/03/31
『向日市埋蔵文化財調査報告書』第42集	物集女城跡		㈶向日市埋文センター・向日市教育委員会	97/03/22
『向日市埋蔵文化財調査報告書』第44集			㈶向日市埋文センター・向日市教育委員会	97/03/31
『都城』８			㈶向日市埋蔵文化財センター	97/03/03
『むこうまち往来こばなし』	ふるさと文庫１		㈶向日市文化資料館	97/03/31
『宗像の歴史散歩』	宗像市文化財ガイドブック		宗像市教育委員会	97/01/07
『冨地原森崎』	宗像市文化財調査報告書第42集	福岡県宗像市冨地原所在遺跡の発掘調査報告	宗像市教育委員会	97/03/31
1998年度寄贈図書				
『日本古代都城の研究』			渡邊周一	97/05/30
『継体天皇と今城塚古墳』			吉川圭三	97/08/01
『青山史學』第16号			青山大学文学部史学研究室	98/03/31
『上角遺跡』	宇美町文化財調査報告書第10集		宇美町教育委員会	96/03/10
『表田遺跡』	宇美町文化財調査報告書第11集		宇美町教育委員会	96/03/31
『上角遺跡』	宇美町文化財調査報告書第13集		宇美町教育委員会	98/03/31
『谷川・池田・池ノ上遺跡』	大野城市文化財調査報告書第51集		大野城市教育委員会	98/03/31
『石勺遺跡』Ⅲ	大野城市文化財調査報告書第52集	Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｅ・Ｉ地点の調査	大野城市教育委員会	98/03/31
『後原遺跡』Ⅰ	大野城市文化財調査報告書第53集	第１次～６次調査	大野城市教育委員会	98/03/31
『大野城市の文化財』第30集	大野城市の石碑		大野城市教育委員会	98/03/31
『津島岡大遺跡10－第９次調査－』	岡山大学構内遺跡発掘調査報告第14冊	工学部生体機能応用工学科棟新営予定地	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	98/03/25
『岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報』第20号～第21号			岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	
『沖縄県立博物館年報』No.30			沖縄県立博物館	97/07/31
『鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報』12			鹿児島大学埋蔵文化財調査室	98/03/31
『栴ノ原遺跡』	加世田市埋蔵文化財発掘調査報告書（15）		加世田市教育委員会	98/08/03
『創立30周年記念誌』	1967～1997		㈶元興寺文化財研究所	97/12/05

書　名	副　題	副題 2	発行機関	発行月日
『元興寺文化財研究』No.65～68			(財)元興寺文化財研究所	
『太宰府史跡』	平成９年度発掘調査概報		九州歴史資料館	98/03/31
『古閑下遺跡』	旭志村文化財調査報告書第４集	旭志中央区県営ふるさと農道緊急整備に伴う文化財調査	旭志村教育委員会	98/03/31
『熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集　－平成９年度－』			熊本市教育委員会	97/10/01
『五丁中原遺跡』	五丁中原遺跡群第一次調査区発掘調査概要報告書		熊本市教育委員会	97/03/01
『コンピュータ・グラフィクスで見る頭高山遺跡』	その他コンピュータによる遺跡復元	弥生、室町二つの時代	神戸市教育委員会	
『住吉宮町遺跡（第17次、第18次調査)』	阪神、淡路大震災復興に伴う発掘調査		神戸市教育委員会	98/01/30
『地域展示　ひょうご復興の街から』	平成９年11月２日から11月24日までの地域展示より	発掘された日本列島97地域展示	神戸市教育委員会文化財課	97/11/01
『神戸市東灘区本山遺跡（第22次調査)』			神戸市教育委員会	98/03/31
『雲井遺跡（第８次調査)』	震災復興に伴う埋蔵文化財発掘調査概要		神戸市教育委員会	98/03/31
『平成７年度神戸市埋蔵文化財年報』			神戸市教育委員会文化財課	98/03/31
『企画展示　どうぶつてん』	神戸市埋蔵文化財センターにおける展示図録		神戸市教育委員会	
『金立遺跡Ⅱ』	佐賀市文化財調査報告書第87集	４～９区の調査	佐賀市教育委員会	98/03/31
『久富遺跡・友貞遺跡・東千布遺跡』	佐賀市文化財調査報告書第88集	２区・13～17区・４Ａ区～４Ｂ区	佐賀市教育委員会	98/03/31
『牟田寄遺跡』Ⅵ	佐賀市文化財調査報告書第89集	15・16・17区の調査	佐賀市教育委員会	98/03/31
『修理田遺跡』Ⅱ	佐賀市文化財調査報告書第90集	２・３区の調査	佐賀市教育委員会	98/03/31
『若宮原遺跡（２・３区)』	佐賀市文化財調査報告書第91集		佐賀市教育委員会	98/03/31
『東千布遺跡５区』	佐賀市文化財調査報告書第92集		佐賀市教育委員会	98/03/31
『坪の上遺跡』Ⅰ	佐賀市文化財調査報告書第93集	佐賀導水事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書１	佐賀市教育委員会	98/03/31
『コマガリ遺跡』	佐賀市文化財調査報告書第94集		佐賀市教育委員会	98/03/31
『琵琶原遺跡』	佐賀市文化財調査報告書第95集	６区の調査	佐賀市教育委員会	98/03/31
『佐賀市埋蔵文化財確認調査報告書』1993・1994年	佐賀市文化財調査報告書第96集		佐賀市教育委員会	98/03/31
『赤井出遺跡１区・先立山遺跡１区』	佐賀市文化財調査報告書第97集	佐賀市久保泉工業団地関係埋蔵文化財発掘調査報告書５	佐賀市教育委員会	98/03/31
『長門国府跡』	山口県下関市長府金屋町地内長門国府跡（金屋地区）発掘調査報告書		下関市教育委員会	98/03/01
『大ノ瀬下大坪遺跡』Ⅱ	新吉富村文化財調査報告書第11集		新吉富村教育委員会	98/01/10
『西南学院大学　国際文化論集』			西南学院大学学術研究所	97/09/12
『安満宮山古墳』			高槻市立埋蔵文化財調査センター	97/08/31
『日暮・松林遺跡』	都市計画道路福岡多肥上町線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書		高松市教育委員会	97/03/31
『境目・下西原遺跡』	太田第２土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書		高松市教育委員会	98/03/01
『太宰府条坊跡』Ⅹ	太宰府市の文化財第37集	推定太宰府朱雀大路周辺の調査	太宰府市教育委員会	98/03/01
『太宰府佐野地区遺跡群』Ⅷ	太宰府市の文化財第39集	前田遺跡第７次・宮ノ本遺跡第９次調査報告書	太宰府市教育委員会	98/03/01

書　名	副　題	副題２	発行機関	発行月日
『勝浦北部丘陵遺跡群』	津屋崎町文化財調査報告書第13集		津屋崎町教育委員会	98/03/31
『生家釘ヶ裏遺跡』	津屋崎町文化財調査報告書第14集		津屋崎町教育委員会	98/03/31
『有本遺跡・男戸島古墳・上遠戸嶋遺跡』	津山市埋蔵文化財発掘調査報告第62集	津山総合流通センター埋蔵文化財発掘調査報告２	津山市教育委員会・津山弥生の里文化財センター	98/03/31
『日上畝山古墳群』	津山市埋蔵文化財調査報告第63集		津山市教育委員会	98/03/31
『津山弥生の里』第５号（平成８年度）			津山市教育委員会・津山弥生の里文化財センター	98/03/31
『シンポジウム　吉備池廃寺をめぐって』	－百済大寺はどこか－		帝塚山大学考古学研究所	98/03/22
『人類誌集報』1998	漆利用の人類誌・飛騨山峡の人類誌・考古資料からの人類誌	東京都立大学考古学報告３	漆利用の人類誌調査・飛騨山峡の人類誌調査グループ	98/05/31
『庄・蔵本遺跡』１	徳島大学埋蔵文化財調査室報告書第１巻	徳島大学蔵本キャンパスにおける発掘調査	徳島大学埋蔵文化財調査室	98/03/31
『中山修一先生追悼文集』			長岡京跡発掘調査研究所	97/09/28
『原の辻遺跡・鶴田遺跡』	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第４集	幡鉾川流域総合整備計画（圃場整備事業）に伴う緊急発掘調査報告書Ⅲ	長崎県教育委員会	98/03/31
『原の辻遺跡』	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第５集	幡鉾川流域総合整備計画（圃場整備事業）に伴う緊急発掘調査報告書Ⅳ	長崎県教育委員会	98/03/31
『鶴田遺跡』	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第６集	幡鉾川流域総合整備計画（圃場整備事業）に伴う緊急発掘調査報告書Ⅴ	長崎県教育委員会	98/03/31
『興触遺跡』	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第７集	幡鉾川流域総合整備計画（圃場整備事業）に伴う緊急発掘調査報告書Ⅵ	長崎県教育委員会	98/03/31
『車出遺跡』	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第８集	幡鉾川流域総合整備計画（圃場整備事業）に伴う緊急発掘調査報告書	長崎県教育委員会	98/03/31
『原の辻遺跡』上巻	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第９集	幡鉾川流域総合整備計画に係わる幡鉾川河川改修に伴う緊急発掘調査報告書	長崎県教育委員会	98/03/31
『原の辻遺跡』下巻	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第９集	幡鉾川流域総合整備計画に係わる幡鉾川河川改修に伴う緊急発掘調査報告書	長崎県教育委員会	98/03/31
『鶴田遺跡』	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第10集	幡鉾川流域総合整備計画に係わる池田川改修工事に伴う緊急発掘調査報告書	長崎県教育委員会	98/03/31
『原の辻ニュースレター』第２・３号			長崎県教育庁原の辻遺跡調査事務所	
『中津城下町遺跡　京町　御用屋敷跡』	中津市文化財調査報告第21集		中津市教育委員会	98/03/20
『福島遺跡入垣地区（Ⅲ）定留遺跡向地区』	中津市文化財調査報告第22集	1997年度中津地区遺跡群発掘調査概報	中津市教育委員会	98/03/31
『上ノ原平原Ａ遺跡』	中津市文化財調査報告第20集		中津市教育委員会	98/03/20
『銘苅古墓群（１）』	那覇市埋蔵文化財調査報告書第39集	那覇市新都心土地区画整理事業に伴う緊急発掘調査報告Ⅴ	那覇市教育委員会	98/03/13
『安謝西原古墓群』	埋蔵文化財発掘調査ニュースNo.7		那覇市教育委員会	98/03/01
『文化財學報』第16集	岡田秀夫・古原宏伸先生送別記念論集		奈良大学文学部文化財学科	98/03/21
『地域文化研究』13	地域文化研究所紀要		梅光女学院大学	98/03/31
『ひろしまの遺跡』第73号～第76号	㈶広島県埋蔵文化財調査センター報		㈶広島県埋蔵文化財調査センター	
『広島大学統合移転地埋蔵文化財発掘調査年報』ⅩⅢ			広島大学統合移転地埋蔵文化財発掘調査委員会	97/07/01
『広島大学統合移転地埋蔵文化財発掘調査年報』ⅩⅣ			広島大学統合移転地埋蔵文化財調査委員会	98/07/01

書　名	副　題	副題２	発行機関	発行月日
『下林西田遺跡』	福岡県埋蔵文化財調査報告書第132集	県道大川大木線関係埋蔵文化財調査報告	福岡県教育委員会	98/03/31
『下高橋馬屋元遺跡』（２）	福岡県埋蔵文化財調査報告書第133集	県道久留米・筑紫野線関係埋蔵文化財調査報告８	福岡県教育委員会	98/03/31
『下原遺跡』	福岡県文化財調査報告書第134集	福岡県豊前市大字今市所在遺跡の調査	福岡県教育委員会	98/03/31
『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告』48	福岡県朝倉郡朝倉町所在才田・東才田遺跡の調査		福岡県教育委員会	98/03/31
『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告』49	朝倉郡杷木町所在 楠田遺跡 小覚原遺跡 二十谷遺跡 陣内遺跡 上野原遺跡		福岡県教育委員会	98/03/31
『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告』50	朝倉郡朝倉町所在中妙見遺跡の調査	原の東遺跡の調査Ⅰ	福岡県教育委員会	98/03/31
『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告』51	甘木市所在宮原遺跡の調査（Ｄ地区）Ⅳ		福岡県教育委員会	98/03/31
『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告』52	甘木市所在宮原遺跡Ⅴ		福岡県教育委員会	98/03/31
『大塚本遺跡』	一般国道10号豊前バイパス関係埋蔵文化財調査報告第９集	福岡県築上郡大平村大字下唐原所在遺跡の調査	福岡県教育委員会	98/03/31
『郷ヶ原遺跡』	一般国道10号豊前バイパス関係埋蔵文化財調査報告第10集	福岡県築上郡大平村大字下唐原所在遺跡の調査	福岡県教育委員会	98/03/31
『諸田仮塚遺跡』	一般国道３号筑紫野バイパス関係埋蔵文化財調査報告第５集	福岡県筑紫野市大字永岡・常松・諸田所在の調査	福岡県教育委員会	98/03/31
『以来尺遺跡』Ⅱ	一般国道３号筑紫野バイパス関係埋蔵文化財調査報告第６集	福岡県筑紫野市大字筑紫所在遺跡の調査	福岡県教育委員会	98/03/31
『下唐原宮園遺跡』	一級河川山国川築堤関係埋蔵文化財調査報告	福岡県築上郡大平村所在遺跡の調査	福岡県教育委員会	98/03/31
『麁取五反田遺跡Ⅰ　稲崎Ａ・Ｂ遺跡』	一般国道210号浮羽バイパス関係埋蔵文化財調査報告第９集	福岡県浮羽郡吉井町大字麁取所在遺跡の調査　上巻・下巻	福岡県教育委員会	98/03/31
『上桑野遺跡　宇野代遺跡Ⅱ』	福岡県築上郡新吉富村所在遺跡の調査		福岡県教育委員会	98/03/31
『穴田古墳群　覗山城跡』	覗山無線中継所関係埋蔵文化財調査報告書		福岡県教育委員会	98/03/31
『鈴ケ山遺跡　広ミ遺跡』	広川インターチェンジ関係埋蔵文化財調査報告	八女郡広川町新代所在遺跡の調査	福岡県教育委員会	98/03/31
『貝元遺跡』Ⅰ	九州自動車道筑紫野ＩＣ建設に伴う筑紫野市所在弥生・古墳時代大集落の発掘調査報告		福岡県教育委員会	98/03/31
『松崎城跡』	県立三井高校プール建設に伴う埋蔵文化財調査報告１		福岡県教育委員会	98/03/31
『福岡県埋蔵文化財発掘調査年報　－平成７年度－』			福岡県教育委員会	98/03/31
『津丸横尾遺跡』	福間町文化財調査報告書第11集		福間町教育委員会	97/03/31
『八並中原遺跡』	福間町文化財調査報告書第13集		福間町教育委員会	98/03/31
『手光於緑遺跡』	福岡県宗像郡福間町大字手光字於緑所在遺跡出土木製品の概報		福間町教育委員会	97/12/01
『本渡北小学校プール遺跡調査報告書』	本渡市文化財調査報告書第８集	平成７年度　本渡市立本渡北小学校プール改築事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	本渡市教育委員会	98/03/31
『土生遺跡』Ⅰ	三日月町文化財調査報告書第８集	土生遺跡第９次調査報告書	佐賀県三日月町教育委員会	98/03/31
『土生遺跡』Ⅱ	三日月町文化財調査報告書第９集	土生遺跡第10次調査報告書	佐賀県三日月町教育委員会	98/03/31

書　名	副　題	副題 2	発行機関	発行月日
『史跡　長岡宮　大極殿跡』	保存整備事業報告		向日市教育委員会	98/03/31
『向日市埋蔵文化財調査報告書』第45集	鶏冠井遺跡		(財)向日市埋蔵文化財センター・向日市教育委員会	97/12/28
『向日市埋蔵文化財調査報告書』第46集			(財)向日市埋蔵文化財センター・向日市教育委員会	98/03/31
『都城』No.9	(財)埋蔵文化財センター年報			98/02/27
『王丸長谷遺跡』	宗像市文化財調査報告書第44集	福岡県宗像市王丸所在遺跡の発掘調査	宗像市教育委員会	98/03/31
『野坂新田』	宗像市文化財調査報告書第45集	福岡県宗像市野坂所在遺跡の発掘調査報告	宗像市教育委員会	98/03/31
『白石貝塚』	八代市文化財調査報告書第13集	熊本県八代市上日置町所在の弥生遺跡発掘調査	八代市教育委員会	98/03/10
『久米田貝吹山古墳』	立命館大学文学部学芸員過程研究報告第7冊	第1～第4次調査概報	立命館大学文学部	98/03/31
1999年度寄贈図書				
『門間沼遺跡』	愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第80集		愛知県埋蔵文化財センター	99/08/31
『細口下1号窯・鴻ノ巣古窯・高針原1号窯』	愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第81集		愛知県埋蔵文化財センター	99/08/31
『毛受遺跡』	愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第82集		愛知県埋蔵文化財センター	99/08/31
『馬引横手遺跡』	愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第84集		愛知県埋蔵文化財センター	99/08/31
『森岡第1号窯跡群』	愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第85集		愛知県埋蔵文化財センター	99/08/31
『大脇城遺跡』	愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第86集		愛知県埋蔵文化財センター	99/08/31
『三ツ井遺跡』	愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第87集		愛知県埋蔵文化財センター	99/08/31
『まいぶん愛知』No.59～60			(財)愛知県教育サービスセンター・愛知県埋蔵文化財センター	
『人類誌集報1999』	漆利用の人類誌・飛騨山峡の人類誌・考古資料からの人類誌	東京都立大学考古学報告4	漆利用の人類誌調査・飛騨山峡の人類誌調査グループ	99/09/30
『青山史學』第17号			伊藤定良	99/03/31
『安濃町埋蔵文化財発掘調査報告』5	大城遺跡発掘調査報告書		安濃町遺跡調査会	99/03/31
『中・寺尾遺跡』Ⅲ	大野城市文化財調査報告書第54集		大野城市教育委員会	88/03/31
『森園遺跡』Ⅱ	大野城市文化財調査報告書第55集		大野城市教育委員会	99/03/31
『石勺遺跡』Ⅳ	大野城市文化財調査報告書第56集		大野城市教育委員会	99/03/31
『大野城市の民具』	大野城市の文化財第31集		大野城市教育委員会	99/03/31
『岡山大学構内遺跡調査研究年報』15			岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	99/01/29
『岡山大学構内遺跡調査研究年報』16			岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	00/01/31
『岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報』第22号～第23号			岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	
『鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報』13			鹿児島大学埋蔵文化財調査室	99/03/01
『元興寺文化財研究』No.69～72			(財)元興寺文化財研究所	
『平成10年度　発掘調査概報』	太宰府史跡		九州歴史資料館	99/03/31
『熊本県の近代化遺産』	熊本県文化財調査報告第182集		熊本県教育委員会	99/03/31
『熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集－平成10年度－』			熊本市教育委員会	99/03/01
『熊本博物館報』			熊本市立博物館	98/07/30
『池辺寺跡』Ⅱ	平成8・9年度発掘調査報告書		熊本市教育委員会	99/03/01
『熊本市埋蔵文化財調査年報』第2号	平成4年度～平成8年度		熊本市教育委員会	99/03/01

書　名	副　題	副題 2	発行機関	発行月日
『藤田家文書目録』	玄海町文化財調査報告書第6集		玄海町教育委員会	98/08/01
『峯家文書目録』	玄海町文化財調査報告書第7集		玄海町教育委員会	99/09/01
『地下に眠る神戸の歴史展』ＸＩ			神戸市教育委員会文化財課	98/07/01
『その時代を生きた人々の表情』	縄文人と弥生人		神戸市教育委員会	98/10/01
『北青木遺跡発掘調査報告書－第3次調査－』			神戸市教育委員会	99/03/31
『白水遺跡　第4次　埋蔵文化財調査報告書』			神戸市教育委員会	99/03/31
『平成8年度神戸市埋蔵文化財年報』			神戸市教育委員会	99/03/01
『むかしのアクセサリー』	－ちょっとおしゃれな神戸っ子－		神戸市埋蔵文化財センター	
『肥前古陶磁窯跡第1分冊』			佐賀県教育庁文化財課	99/03/31
『肥前古陶磁窯跡第2分冊』			佐賀県教育庁文化財課	99/03/31
『上和泉遺跡（11区・13区）』	佐賀市文化財調査報告書第98集		佐賀市教育委員会	99/03/31
『東淵遺跡（1区）』	佐賀市文化財調査報告書第99集		佐賀市教育委員会	99/03/31
『江頭遺跡9区・森田遺跡1区』	佐賀市文化財調査報告書第100集		佐賀市教育委員会	99/03/26
『ウー屋敷遺跡』	佐賀市文化財調査報告書第101集		佐賀市教育委員会	99/03/31
『牟田寄遺跡』Ⅶ	佐賀市文化財調査報告書第102集		佐賀市教育委員会	99/03/31
『長瀬一本杉遺跡1区・高木城跡1区』	佐賀市文化財調査報告書第103集		佐賀市教育委員会	99/03/31
『江頭遺跡1～8区の調査』	佐賀市文化財調査報告書第104集		佐賀市教育委員会	99/03/31
『坪の上遺跡』Ⅱ	佐賀市文化財調査報告書第105集		佐賀市教育委員会	99/03/31
『徳永遺跡群Ⅱ・徳永遺跡9区』	佐賀市文化財調査報告書第106集		佐賀市教育委員会	99/03/31
『上和泉遺跡群Ⅰ・上和泉遺跡6区』	佐賀市文化財調査報告書第107集		佐賀市教育委員会	99/03/31
『平成11年度企画展』	弥生の装い		下関市立考古博物館	99/10/02
『垂水廃寺Ⅱ・宇野地区遺跡群Ⅰ』	新吉富村文化財調査報告書第12集		新吉富村教育委員会	99/03/31
『秋篠・山陵遺跡』	奈良大学文学部考古学研究室発掘調査報告書・第17集	本文編	学校法人正強学園・奈良大学文学部考古学研究室	98/03/31
『秋篠・山陵遺跡』	奈良大学文学部考古学研究室発掘調査報告書・第17集	図版編	学校法人正強学園・奈良大学文学部考古学研究室	98/03/31
『経塚横穴墓群・古墳群』	田川市文化財調査報告書第9集		田川市教育委員会	99/03/31
『自然環境・原始古代・中世』	筑紫野市史　上巻		筑紫野市	99/03/31
『年報　津山弥生の里』第6号			津山市教育委員会	99/03/31
『荒神谷遺跡』	津山市埋蔵文化財発掘調査報告第64集	津山総合流通センター埋蔵文化財発掘調査報告3	津山市教育委員会	99/03/31
『有元遺跡・男戸嶋遺跡』	津山市埋蔵文化財発掘調査報告第65集	津山総合流通センター埋蔵文化財発掘調査報告4	津山市土地開発公社・津山市教育委員会	99/03/31
『宮司大ヒタイ遺跡』	津屋崎町文化財調査報告書第8集		津屋崎町教育委員会	93/03/31
『在自遺跡群』Ⅰ	津屋崎町文化財調査報告書第9集		津屋崎町教育委員会	94/03/31
『須多田古墳群・須多田立石遺跡・須多田前田遺跡』	津屋崎町文化財調査報告書第12集		津屋崎町教育委員会	96/03/29
『練原遺跡』	津屋崎町文化財調査報告書第15集		津屋崎町教育委員会	99/03/31
『古事』	天理大学考古学研究室紀要第3冊		天理大学文学部歴史文化学科考古学専攻研究室	99/03/27
『須恵器集成Ⅲ（西日本篇）』	東京国立博物館所蔵		東京国立博物館	99/03/31

書　　名°	副　　題	副題２	発行機関	発行月日
『原の辻ニュースレター』第４号～第６号			長崎県教育庁原の辻遺跡調査事務所	
『銘苅古墓群』Ⅱ	那覇市文化財調査報告書第40集		那覇市教育委員会文化財課	99/03/15
『那覇市埋蔵文化財発掘調査ニュース』No.8～９			那覇市教育委員会	
『武具塚』	奈良大学考古学研究室調査報告書第16集		奈良大学文学部考古学研究室	98/03/31
『ひろしまの遺跡』第77号～第80号	㈶広島県埋蔵文化財調査センター報		㈶広島県埋蔵文化財調査センター	
『いぶき』No.23～24・26			広島中世遺跡調査研究室	
『天生田大池遺跡』	福岡県文化財調査報告書第137集		福岡県教育委員会	99/03/31
『久泉遺跡』	福岡県文化財調査報告書第138集		福岡県教育委員会	99/03/31
『新代広ミ遺跡』	福岡県文化財調査報告書第139集		福岡県教育委員会	99/03/31
『大鎧遺跡・倉谷古墳群』	福岡県文化財調査報告書第140集		福岡県教育委員会	99/03/31
『野添遺跡』	福岡県文化財調査報告書第141集		福岡県教育委員会	99/03/31
『芦屋町山鹿地区芦屋層群漸新世化石群調査報告』	福岡県文化財調査報告書第142集	（なみかけ大橋第１地点）	福岡県教育委員会	99/03/31
『伊良原－民族文化財の調査－』	福岡県文化財調査報告書第143集		福岡県教育委員会	99/03/31
『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告』53	原の東遺跡Ⅱ		福岡県教育委員会	99/03/31
『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告』54	金場遺跡		福岡県教育委員会	99/03/31
『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告』55	長島遺跡Ⅱ		福岡県教育委員会	99/03/31
『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告』56	畑田遺跡		福岡県教育委員会	99/03/31
『以来尺遺跡』Ⅲ	筑紫野バイパス関係埋蔵文化財調査報告第７集		福岡県教育委員会	99/03/31
『百留居屋敷遺跡』	一級河川山国川築堤関係埋蔵文化財調査報告３		福岡県教育委員会	99/03/31
『上唐原了清遺跡』Ⅰ	一級河川山国川築堤関係埋蔵文化財調査報告４		福岡県教育委員会	99/03/31
『鴈取五反田遺跡』Ⅱ	浮羽バイパス関係埋蔵文化財調査報告第10集		福岡県教育委員会	99/03/31
『船越二ノ上遺跡』	浮羽バイパス関係埋蔵文化財調査報告第11集		福岡県教育委員会	99/03/31
『堀池口ヶ坪遺跡』	飯塚バイパス関係埋蔵文化財調査報告第１集		福岡県教育委員会	99/03/31
『貝元遺跡』Ⅱ	九州自動車道筑紫I.C.建設に伴う筑紫野市所在弥生・古墳時代大集落の発掘調査報告		福岡県教育委員会	99/03/31
『福岡県埋蔵文化財発掘調査年報－平成８年度－』			福岡県教育委員会	99/03/31
『福間割畑遺跡』	福間町文化財調査報告書第14集		福間町教育委員会	99/03/31
『手光古墳群』Ⅱ	福間町文化財調査報告書第15集		福間町教育委員会	99/03/31
『今市向野遺跡Ｃ地点』	豊前市文化財調査報告書第９集		豊前市教育委員会	97/03/31
『今市向野遺跡Ａ・Ｂ地点』	豊前市文化財調査報告書第10集		豊前市教育委員会	98/03/31
『青畑向原遺跡・永久遺跡』	豊前市文化財調査報告書第12集		豊前市教育委員会	99/03/31
『府中市内遺跡』４	府中市教育委員会埋蔵文化財調査報告第９冊		府中市教育委員会	99/03/31

書　名	副　題	副題２	発行機関	発行月日
『テエタ』第３号			㈶北海道埋蔵文化財センター	
『興道寺遺跡』	福井県美浜町埋蔵文化財調査報告書		美浜町教育委員会	98/08/31
『牧の原第２遺跡』	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第19集		宮崎県埋蔵文化財センター	99/03/31
『東九州自動車道関係埋蔵文化財発掘調査概要報告書』Ⅲ	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第20集		宮崎県埋蔵文化財センター	99/03/31
『向日市埋蔵文化財調査報告書』第47集			㈶向日市埋蔵文化財センター・向日市教育委員会	98/10/31
『向日市埋蔵文化財調査報告書』第49集			㈶向日市埋蔵文化財センター・向日市教育委員会	99/03/31
『田久瓜ヶ坂』	宗像市文化財調査報告書第46集	福岡県宗像市田久所在遺跡の発掘調査報告	宗像市教育委員会	99/03/31
『田久松ヶ浦』	宗像市文化財調査報告書第47集	福岡県宗像市田久所在遺跡の発掘調査報告	宗像市教育委員会	99/03/31
『滋賀県大津市仰木遺跡発掘調査概報』Ⅰ（遺構編）	立命館大学文学部学芸員課程研究報告第８冊	平安時代須恵器窯跡の発掘調査	立命館大学文学部	99/03/26
2000年寄贈図書				
『大野川に生きる人々』	－考古学・民族考古学・社会人類学的研究・文化財保護－』		賀川光夫	00/09/30
『ゴシックということ』			京極迪弘	92/01/25
『愛知県埋蔵文化財センター研究紀要』第１号			㈶愛知県教育サービスセンター・愛知県埋蔵文化財センター	00/03/01
『平成11年度愛知県埋蔵文化財センター年報』			㈶愛知県教育サービスセンター・愛知県埋蔵文化財センター	00/03/01
『愛知県埋蔵文化財情報』15	平成10年度		愛知県教育委員会・㈶愛知県埋蔵文化財センター	00/03/01
『まいぶん愛知』No.61～63			㈶愛知県教育サービスセンター・愛知県埋蔵文化財センター	
『青山史学』第18号	唐津東流教授退任記念号		青山学院大学文学部史学研究室	00/03/31
『須川ノケオ遺跡』	朝倉町文化財調査報告書第８集		朝倉町教育委員会	00/03/31
『朝倉町の古墳と埴輪』	朝倉町文化財調査報告書第９集	－付編宮地獄古墳の調査	朝倉町教育委員会	00/03/31
『阿蘇町遺跡地図』	阿蘇町文化財調査報告第５集	－阿蘇町遺跡群詳細分布調査－	阿蘇町教育委員会	00/03/31
『滋賀県高島郡今津町　日置前遺跡発掘調査概要報告書』	－永田地区の調査－		今津町教育委員会	00/03/31
『平泉遺跡群発掘調査報告書』	岩手県文化財調査報告書第107集	柳之御所遺跡－第50次発掘調査概報告－	岩手県教育委員会	00/03/31
『関ケ原の戦いから四百年』	小西行長公没後400年記念事業資料集		宇土市教育委員会	00/10/01
『宇土城跡（西岡台）』Ⅲ	宇土市埋蔵文化財調査報告書第21集		宇土市教育委員会	00/03/31
『人類誌集報2000』	漆利用の人類誌・飛騨山峡の人類誌･水利用の人類誌･遺跡資料の人類誌	東京都立大学考古学報告５	漆利用の人類誌調査グループ・飛騨山峡の人類誌調査グループ	01/03/05
『範囲確認調査概要－平成10年度－』	大垣市文化財調査報告書第34集別刷	昼飯大塚古墳Ｖ第６次調査	大阪大学昼飯大塚古墳発掘調査団	99/10/01
『長岡京市文化財調査報告書』第41冊抜刷	今里大塚古墳第３次調査概要・井ノ内車塚古墳第３次調査概要		大阪大学井ノ内車塚古墳調査団	00/03/01
『福呂遺跡１－第１・２次調査－』	岡山大学構内遺跡発掘調査報告　第15冊	個体地球研究センター実験棟新設予定地	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	00/02/29

書　名	副　題	副題2	発行機関	発行月日
『岡山大学構内遺跡調査研究年報』17	1999年度		岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	00/08/31
『岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報』第24号			岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	
『馬上原遺跡－室川貝塚崖上地区－』	沖縄市文化財調査報告書第22集	沖縄市総合庁舎建設に伴う馬上原遺跡記録保存発掘調査の報告書	沖縄市教育委員会	00/03/31
『古代たたら（製鉄）とカヌチ（鍛冶）－記録集－』	市制40周年記念歴史セミナー柏原市文化財講座4		柏原市教育委員会	00/03/31
『志風頭遺跡・奥名野遺跡』	加世田市埋蔵文化財発掘調査報告書（16）	県営ふるさと農道緊急整備事業内山田地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書（1）	加世田市教育委員会	99/03/25
『栫ノ原遺跡　第2分冊（縄文時代早期編）』	加世田市埋蔵文化財発掘調査報告書（17）	加世田市都市計画事業・第四次土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書（2）	加世田市教育委員会	99/03/25
『平田尻遺跡』	加世田市埋蔵文化財発掘調査報告書（18）	市道高倉舞敷野線拡幅工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書（1）	加世田市教育委員会	99/03/24
『西大原遺跡・ヘゴノ原遺跡・流合遺跡・小原ノ原遺跡・愛宕B遺跡・中小路遺跡・別府城跡・志風頭遺跡』	加世田市埋蔵文化財発掘調査報告書（19）		加世田市教育委員会	00/03/01
『栫ノ原遺跡第3分冊（縄文時代前期～晩期）』	加世田市埋蔵文化財発掘調査報告書（20）		加世田市教育委員会	00/03/01
『元興寺文化財研究』No.73～75			(財)元興寺文化財研究所	
『石河内本村遺跡』	木城町文化財調査報告書第6集		木城町文化財調査報告書	00/03/01
『中野内遺跡』	北浦町文化財発掘調査報告書第1集		北浦町教育委員会	97/03/01
『遊牧民と農耕民の文化接触による中国文明形成過程の研究（課題番号11891006）』	平成11年度科学研究（基盤研究（C）（2）研究成果報告書）		九州大学文学部考古学研究室	00/03/20
『筑後柳川　福厳禅寺－付・筑後の黄檗寺院－』	九州の寺社シリーズ7		九州歴史資料館	85/03/01
『筑後　大本山　善導寺』	九州の寺社シリーズ5		九州歴史資料館	96/09/30
『平成11年度発掘調査概報』	太宰府史跡		九州歴史資料館	00/03/31
『熊本市埋蔵文化財調査年報』第3号	－平成9年度～平成10年度－		熊本市教育委員会	00/03/31
『つつじヶ丘横穴群』	発掘調査概報Ⅳ		熊本市教育委員会	00/03/31
『神水遺跡』Ⅲ	－第12次調査区発掘調査報告書－		熊本市教育委員会	00/03/31
『大江遺跡群』Ⅲ	－大江遺跡群第39次発掘調査報告書－		熊本市教育委員会	97/03/31
『熊本博物館館報』No.12　2000			熊本市立熊本博物館	00/07/30
『大善寺　旧庫裡建物移築工事記録と大善寺遺跡の発掘調査報告書』	久留米市文化財調査報告書第34集		久留米市教育委員会	82/11/01
『佐賀県の近世寺社建築』	佐賀県文化財調査報告書第82集		佐賀県教育委員会	85/03/30
『若宮遺跡』	佐賀市文化財調査報告書第108集	－1・2区の調査－	佐賀市教育委員会	00/03/31
『村徳永遺跡－13～16区の調査－』	佐賀市文化財調査報告書第109集		佐賀市教育委員会	00/03/31
『森田遺跡Ⅱ－2～6区の調査－』	佐賀市文化財調査報告書第110集		佐賀市教育委員会	00/03/31
『増田遺跡群』Ⅳ	佐賀市文化財調査報告書第111集		佐賀市教育委員会	00/03/31
『若宮遺跡3区・4区』	佐賀市文化財調査報告書第112集		佐賀市教育委員会	00/03/31
『佐賀市埋蔵文化財確認調査報告書－1995・1996年度－』	佐賀市文化財調査報告書第113集		佐賀市教育委員会	00/03/31
『薬師森遺跡2区・筑州遺跡1区』	佐賀市文化財調査報告書第114集	－佐賀導水事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書3－	佐賀市教育委員会	00/03/31

書　名	副　題	副題２	発行機関	発行月日
『上九郎遺跡Ⅰ－１区の調査－』	佐賀市文化財調査報告書第115集		佐賀市教育委員会	00/03/31
『上和泉遺跡12区・原ノ町遺跡４区』	佐賀市文化財調査報告書第116集		佐賀市教育委員会	00/03/31
『古村遺跡４区』	佐賀市文化財調査報告書第117集	－佐賀市久保泉工業団地関係埋蔵文化財発掘調査報告書８－	佐賀市教育委員会	00/03/31
『徳永遺跡４・５・６区』	佐賀市文化財調査報告書第118集	－佐賀市久保泉工業団地関係埋蔵文化財発掘調査報告書９－	佐賀市教育委員会	00/03/31
『伊倉遺跡（岡地区）発掘調査報告書』	下関市埋蔵文化財調査報告書48	山口県下関市伊倉本町17番地内	下関市教育委員会	00/03/31
『無多田遺跡発掘調査報告書』	下関市埋蔵文化財調査報告書69	山口県下関市大字小月町字札の尾・無多田地内	下関市教育委員会	00/03/31
『綾羅木郷遺跡（木船地区）発掘調査報告書』	下関市埋蔵文化財調査報告書70	山口県下関市大字綾羅木字木船地内	下関市教育委員会	00/03/03
『久木原遺跡』	上陽町文化財調査報告書第１集		上陽町教育委員会	00/03/31
『宇野地区遺跡群』Ⅱ	新吉富村文化財調査報告書第13集	－福岡県築上郡新吉富村所在遺跡群の調査－	新吉富村教育委員会	00/03/31
『太宰府顕彰会二十周年記念論文集』			(財)太宰府顕彰会	97/05/25
『筑前国分寺跡』Ⅱ	太宰府市の文化財第40集	－国分寺外郭施設の調査－	太宰府市教育委員会	99/03/01
『馬場遺跡』	太宰府市の文化財第41集		太宰府市教育委員会	99/03/01
『太宰府条坊跡』ＸⅠ	太宰府市の文化財第42集	－第50次調査－	太宰府市教育委員会	99/03/01
『太宰府条坊跡』ＸⅡ	太宰府市の文化財第43集	－太宰府条坊跡第149次調査－	太宰府市教育委員会	99/03/01
『太宰府・佐野地区遺跡群』ＩＸ	太宰府市の文化財第44集	前田遺跡第８・９・10・11次調査	太宰府市教育委員会	99/03/01
『横岳遺跡』	太宰府市の文化財第45集	－横嶽崇福寺跡の調査－(遺構編)	太宰府市教育委員会	99/03/01
『太宰府条坊』ＸⅢ	太宰府市の文化財第46集	－第56次調査－	太宰府市教育委員会	99/03/01
『勝浦　担い手育成基盤整備事業勝浦地区に伴う発掘調査報告書』Ⅲ	津屋崎町文化財調査報告書第16集		津屋崎町教育委員会	00/03/31
『日上小深田遺跡』	津山市埋蔵文化財発掘調査報告第66集		津山市教育委員会・津山弥生の里文化財センター	00/03/31
『田邑丸山古墳群・田村丸山遺跡』	津山市埋蔵文化財発掘調査報告第67集		津山市教育委員会・津山弥生の里文化財センター	00/03/31
『二宮岡東遺跡』	津山市埋蔵文化財発掘調査報告第68集		津山市教育委員会・津山弥生の里文化財センター	00/03/31
『押入兼田遺跡』	津山市埋蔵文化財発掘調査報告第69集		津山市教育委員会・津山弥生の里文化財センター	00/03/31
『年報　津山弥生の里』第７号（平成10年度）			小郷利幸	00/03/31
『古事』	天理大学考古学研究室紀要第４冊		天理大学考古学研究室	00/03/31
『長崎県の近世寺社建築』	長崎県文化財調査報告書第79集	近世寺社建築緊急調査報告書	長崎県教育委員会	86/03/31
『県内主要遺跡内容確認調査報告書』Ⅲ	長崎県文化財調査報告書第156集		長崎県教育委員会	00/03/31
『長崎県建造物復元記録図報告書（黄檗）』			長崎県教育委員会	88/03/31
『長崎県建造物復元記録図報告書（民家等）』			長崎県教育委員会	89/03/31
『原の辻ニュースレター』第７号～第８号			長崎県教育庁原の辻遺跡調査事務所	
『定留遺跡田畑地区台遺跡　1999年度』	中津市文化財調査報告第24集	中津地区遺跡群発掘調査概報（ＸⅡ）	中津市教育委員会	00/03/31
『銘苅直禄原遺跡・銘苅原南遺跡』	那覇市埋蔵文化財発掘調査ニュースNo.10		那覇市教育委員会	00/03/01
『ナーチュー毛古墓群』	那覇市文化財調査報告書第44集		那覇市教育委員会	00/03/15
『鷹ノ原城跡』Ⅰ	南関町文化財調査報告書第５集		南関町教育委員会	00/03/31

書　名	副　題	副題２	発行機関	発行月日
『ひろしまの遺跡』第81号～第83号			㈶広島県埋蔵文化財調査センター	
『いぶき』No.27～28			広島中世遺跡調査研究室	
『羽熊遺跡』	福岡県文化財調査報告書第144集	国道496号線関係埋蔵文化財調査報告	福岡県教育委員会	00/03/31
『陣山屋敷遺跡』	福岡県文化財調査報告書第145集	一般国道322号香春大任バイパス関係埋蔵文化財調査報告　第１集	福岡県教育委員会	00/03/31
『寄原遺跡・長者原遺跡』	福岡県文化財調査報告書第146集		福岡県教育委員会	00/03/31
『竹重遺跡』	福岡県文化財調査報告書第147集	県立浮羽高等学校体育館改築移設工事関係埋蔵文化財調査報告	福岡県教育委員会	00/03/31
『森原・藤坂古墳群』	福岡県文化財調査報告書第148集	主要地方道筑紫野三輪線関係埋蔵文化財調査報告６	福岡県教育委員会	00/03/31
『頓野横道遺跡・浦田池南遺跡』	福岡県文化財調査報告書第149集	一般国道200号　直方バイパス関係埋蔵文化財調査報告	福岡県教育委員会	00/03/31
『横溝中島遺跡』	福岡県文化財調査報告書第150集	県道大川大木線関係埋蔵文化財調査報告２	福岡県教育委員会	00/03/31
『北大手木遺跡』	福岡県文化財調査報告書第151集	主要地方道久留米筑紫野線関係埋蔵文化財調査報告９	福岡県教育委員会	00/03/31
『上別府沖代遺跡・上別府園田遺跡』	福岡県文化財調査報告書第152集	主要地方道椎田勝山線関係埋蔵文化財調査報告（３）	福岡県教育委員会	00/03/31
『築城五反田遺跡・築城小迫遺跡』	福岡県文化財調査報告書第153集	主要地方道椎田勝山線関係埋蔵文化財調査報告（４）	福岡県教育委員会	00/03/31
『西新町遺跡』Ⅱ	福岡県文化財調査報告書第154集	県立修猷館高校改築事業関係埋蔵文化財調査報告１	福岡県教育委員会	00/03/31
『浦ノ田遺跡』Ⅱ	福岡県文化財調査報告書第155集	九州国立博物館建設予定地内の埋蔵文化財発掘調査２	福岡県教育委員会	00/03/31
『上唐原了清遺跡』Ⅱ	一級河川山国川築堤関係埋蔵文化財報告５		福岡県教育委員会	00/03/31
『仁右衛門畑遺跡』	一般国道210号浮羽バイパス関係埋蔵文化財調査報告第12集		福岡県教育委員会	00/03/31
『船越高原Ａ遺跡』Ⅰ	一般国道210号浮羽バイパス関係埋蔵文化財調査報告第13集		福岡県教育委員会	00/03/31
『福岡県埋蔵文化財発掘調査年報－平成９年度－』			福岡県教育委員会	00/03/31
『解体移築された旧飯尾家住宅について』	『博多』抜き刷り		福岡県教育委員会	88/03/31
『狭間宮ノ下遺跡（遺構編）』	豊前市文化財調査報告書第13集		豊前市教育委員会	00/03/31
『豊前市内遺跡分布地図』			豊前市教育委員会	00/03/31
『豊前神楽入門』	豊前市の岩戸神楽		豊前市教育委員会	00/03/31
『府中市内遺跡５－1998年度調査に関する報告－』	府中市埋蔵文化財調査報告第11冊	備後国府跡（金龍寺東遺跡）ほか	府中市教育委員会	00/03/31
『北大構内の遺跡［11］』	－平成７・８・９・10年度		北海道大学	00/03/31
『調査年報』12	平成11年度		㈶北海道埋蔵文化財センター	00/03/31
『テエタ』第４号			㈶北海道埋蔵文化財センター	
『織島東分遺跡群』Ⅱ	三日月町文化財調査報告書第10集	西佐賀水道関係企業団三日月配水池建設に伴う織島東分古墳群Ｄ－１号墳の調査報告書	三日月町教育委員会	99/02/26
『諏訪廻第１遺跡』	三股町文化財調査報告書第２集		宮崎県三股町教育委員会	00/03/31

書　名	副　題	副題２	発行機関	発行月日
『寺崎遺跡第８次調査』	国衙跡保存整備基礎調査概要報告書Ⅳ		宮崎県教育委員会	00/03/31
『宮崎県文化財年報平成11年度』	宮崎県文化財調査報告第44集		宮崎県教育委員会	00/03/31
『鬼の窟古墳・西都原205号墳』	特別史跡　西都原古墳群発掘調査報告書第１集		宮崎県教育委員会	00/03/31
『発掘調査・保存整備概要報告書（Ⅴ）』	特別史跡西都原古墳群		宮崎県教育委員会	00/03/31
『東九州自動車道建設に伴う発掘調査報告書』Ⅰ	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第29集	平田迫遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター	00/03/31
『国道218号高千穂バイパス建設関係発掘調査報告書』（２）	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第17集	神殿遺跡Ｂ・Ｃ地区ほか	宮崎県埋蔵文化財センター	00/03/31
『石用遺跡・友尻遺跡』	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第22集		宮崎県埋蔵文化財センター	00/03/31
『一般国道10号宮崎西バイパス建設事業に伴う発掘調査報告書』（３）	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第23集	石塚城跡・鳥ノ子遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター	00/03/31
『黒草第１・第２・第３遺跡・本野原遺跡・七野第３遺跡』	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第24集	－大淀川右岸農業水利事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第３集－	宮崎県埋蔵文化財センター	00/03/31
『県営農地保全整備事業時屋地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』Ⅱ（第１分冊）	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第25集	上の原第２遺跡・上の原第１遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター	00/03/31
『県営農地保全整備事業時屋地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』Ⅱ（第２分冊）	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第25集	白ケ野第３遺跡Ｂ地区	宮崎県埋蔵文化財センター	00/03/31
『山中前遺跡』	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第26集		宮崎県埋蔵文化財センター	00/03/31
『竹ノ内遺跡』	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第27集		宮崎県埋蔵文化財センター	00/03/31
『大島畠田遺跡』	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第28集		宮崎県埋蔵文化財センター	00/03/31
『都城』No.11	㈶向日市埋蔵文化財センター報		㈶向日市埋蔵文化財センター	00/03/31
『向日市埋蔵文化財調査報告書』第50集			㈶向日市埋蔵文化財センター・向日市教育委員会	00/03/31
『向日市埋蔵文化財調査報告書』第51集（第１分冊）	長岡京跡ほか		㈶向日市埋蔵文化財センター	00/11/30
『向日市埋蔵文化財調査報告書』第51集（第２分冊）	芝ケ本遺跡		㈶向日市埋蔵文化財センター	00/11/30
『都城』No.12	㈶向日市埋蔵文化財センター年報		㈶向日市埋蔵文化財センター	00/11/30
『都城』No.10	付載：設立10周年記念論文集・長岡京条坊復原図		㈶向日市埋蔵文化財センター	99/03/30
『イモジＢ遺跡』	山川町文化財調査報告書第３集	福岡県山門郡山川町所在遺跡の調査報告書	山川町教育委員会	00/03/31
『長野市宮崎遺跡』	立命館大学文学部学芸員課程研究報告第９集	第１～５次調査概報	立命館大学文学部	00/03/31
『蕨市金山遺跡調査報告書』	蕨市埋蔵文化財調査報告書第１集		埼玉県蕨市	95/03/01

付篇２　2000年度熊本大学埋蔵文化財保護対策組織

１．熊本大学埋蔵文化財調査委員会規則

（設　置）
第１条　熊本大学（熊本大学医療技術短期大学部を含む。以下「本学」という。）に、熊本大学埋蔵文化財調査委員会（以下「委員会」という。）を置く。
（任　務）
第２条　委員会は、本学の施設整備に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関する重要事項を調査審議する。
（組　織）
第３条　委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。
(1)　大学院自然科学研究科長
(2)　附属図書館長
(3)　各学部、医学部附属病院及び医療技術短期大学部から選出された教授又は助教授　各1人
(4)　事務局長
(5)　埋蔵文化財調査室長
(6)　その他委員会が必要と認めた者　若干人
２　前項第３号及び第６号の委員は、学長が委嘱する。
（任　期）
第４条　前条第１項第３号及び第６号の委員の任期は２年とし、再任は妨げない。
２　前項の規定にかかわらず、前条第１項第３号及び第６号の委員に欠損を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
（委員長）
第５条　委員会に委員長を置き、委員の互選によって定める。
２　委員長は、委員会を召集し、その議長となる。
３　委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。
（議　事）
第６条　委員会は、委員の過半数が出席しなければ議事を開き、議決をすることができない。
２　委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
（意見の聴取）
第７条　委員長は、必要があるときは、委員以外の者を出席させ意見を聴くことができる。
（調査室）
第８条　委員会に、埋蔵文化財の発掘調査に関する業務を行うため、埋蔵文化財調査室（以下「調査室」という。）を置く。
２　調査室の業務、組織その他必要な事項については、別に定める。
（事　務）
第９条　委員会の事務は、施設部企画課において処理する。
（雑　則）
第10条　この規定が定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。
附　則
この規則は、平成12年４月１日から施行する。

2．熊本大学埋蔵文化財調査室要項

(趣　旨)

第１条　この要項は、熊本大学埋蔵文化財調査委員会規則第８条第２項の規定に基づき、熊本大学埋蔵文化財調査室(以下「調査室」という。)の業務、組織その他必要な事項について定める。

(業　務)

第２条　調査室は、熊本大学(熊本大学医療技術短期大学部を含む。以下「本学」という。)の施設整備に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関する次の業務を行う。

(1)　実施計画の立案及び実施に関すること。

(2)　出土した埋蔵文化財の整理、保管及び保存関すること。

(3)　文化庁等に提出する報告書の作成に関すること。

(4)　その他必要な事項

(組　織)

第３条　調査室に室長を置く。

２　室長は、調査室に関する業務を掌理する。

３　調査室に調査員その他必要な職員を置くことができる。

４　調査員は発掘調査に関する業務を行う。

(室長等の任命)

第４条　室長及び調査員は、本学の教官のうちから学長が任命する。

２　学長は、必要がある場合は、学外の者を調査員に委嘱することができる。

(事　務)

第５条　調査室の事務は、関係学部等の協力を得て、施設部企画課において処理する。

(雑　則)

第６条　この要項に定めるもののほか、調査室の運営に必要な事項は、熊本大学埋蔵文化財調査委員会が定める。

附　則

この要項は、平成12年４月１日から実施する。

3．2000年度熊本大学埋蔵文化財保護対策組織

1　埋蔵文化財調査室組織(2000年４月１日現在)

〈室　長〉	(併・文学部教授)	甲元　眞之
〈調査員〉	(併・文学部助教授)	小畑　弘己
	(併・文学部助手)	大坪　志子
〈事務補佐員〉		冨永　明子
〈室内作業員〉(2000年11月～2001年2月)		古賀　敬子
		溜渕　俊子
		林田　恵子
		番山　明子

2　埋蔵文化財調査委員会

委員長	北野　隆	(熊本大学工学部教授)	任期(2000.4.1～2002.3.31)
委　員	木下　尚子	(文学部教授)	(2000.4.1～2002.3.31)
	春田　直紀	(教育学部助教授)	(2000.4.1～2002.3.31)

大澤　博明	(法学部助教授)	(2000.4.1～2002.3.31)
安仁屋　勝	(理学部助教授)	(2000.4.1～2002.3.31)
小川　　尚	(医学部教授)	(2000.4.1～2002.3.31)
今村　順茂	(薬学部教授)	(2000.4.1～2002.3.31)
土亀　直俊	(附属病院助教授)	(2000.4.1～2002.3.31)
蔦川　忠久	(医技短大部教授)	(2000.4.1～2002.3.31)
園田　頼信	(大学院自然科学研究科長)	(2000.4.1～2002.3.31)
平山　忠一	(附属図書館長)	(1999.5.16～2001.5.15)
森　　光昭	(学生部長)	(1998.10.1～2000.9.30)
保呂草　弘	(学生部長)	(2000.10.1～)
角地　敏弘	(事務局長)	(1998.4.1～)
甲元　眞之	(埋蔵文化財調査室長)	(1994.5.16～)

審議事項

2000年4月26日　委員長の選出
1999年度の埋蔵文化財発掘調査結果について
2000年度の埋蔵文化財発掘調査について
埋蔵文化財調査室経費の要求について
教官定員流用の申請について

付篇３　9911調査地点

昨年度末に行われた調査である．昨年度の年次報告に記載できなかったため，本年度に付篇として報告するものである．

1. 遺跡の立地と周辺遺跡

工学部・理学部が所在する黒髪南地区は，北地区とともに黒髪町遺跡群（熊本市遺跡地区№８－88）内にある．9907調査地点と同様，白川右岸の河岸段丘上（標高18～25m）に位置する．調査地点は大学構内でも最も白川に接近した場所で，目前に白川が流れている．対岸には渡鹿遺跡群・新屋敷遺跡・大江遺跡群が所在する．

2. 調査の概要

水生動物飼育舎新営に伴う調査である．年度途中，学長決裁により決定した事業である．11月初めに申請を行った．調査日程は年明けという要望であった．本来１・２月は年次報告書作成期間のため実施が困難であるにもかかわらず，既に２月から工学部衝撃・極限環境研究センター・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー棟新営工事のため，小畑が報告書作成とともに調査を行うことになっており，大坪が報告書作成業務とともに３月から調査を実施した．

調査区は予想を越えて深かったため，廃土処理の都合により，東西２区に分けて調査を行った．

＜調査面積＞

70.9㎡

＜調査期間＞

2000年３月６日～３月14日

＜調査者・参加者＞

大坪志子．

外野木亜紀，岡田イツ代，小細工洋子，白石美智子，溜渕俊子，堀川貞子，水上順子．

3. 調査の結果

a　基本層序

本調査区は9907地点からさほど離れていないが，遺構面および基盤層の深さが全く異なっていた．最も深い所では2.5mに達する．1層は現代埋土でガラなども含む．２層～５層までが耕作土，６層～10層は白川の洪水砂の層である．12層－黒褐色土層（10YR2/2）が古代の遺物包含層で土師器や須恵器を含む．13層は所謂地山層であるが，既に報告されているように縄文土器の包含層であり，その下が基盤層になる．

b．検出遺構と遺物

本調査区の遺構面・基盤層は，9907調査地点と同様に白川に向かって傾斜していた．本調査区ではとくに急激に落ちており，白川側半分が溝状になっていた．ただし，明確な掘り込みは見られず，地形に沿った堆積であろう．基盤層にもピット状の穴があり，縄文土器が含まれるものもあったが，自然の窪みである．この他遺構らしいものはなかった．

遺物は，古代の包含層から土師器と須恵器が出土した．Ⅱ区では礫とともにある程度まとまった出土があったが，その他は砕片が散在していた．また，先述のように地山としている層から縄文土器が出土した．

4. 成果と問題点

今回の調査は9907地点と同様，白川に向かって傾斜する地形を確認し，同様な遺物を得た．本荘地区では明らかな地山層からの縄文時代遺物の出土は未確認であるが，黒髪北地区同様，南地区でも縄文時代の遺物が出土する可能性が高い事が分かった．また，現状からは予想できないほど旧地形がかなり起伏のあるもので，今後周辺で調査を行う際，考慮すべきものがある．

黒髪南地区で行った調査地点では，集落や畑地・墓域などそれぞれ異なる時代性・遺構を見せている．それらを念頭に慎重に調査に臨みたい．

写真32　Ⅱ区全景（東南より）

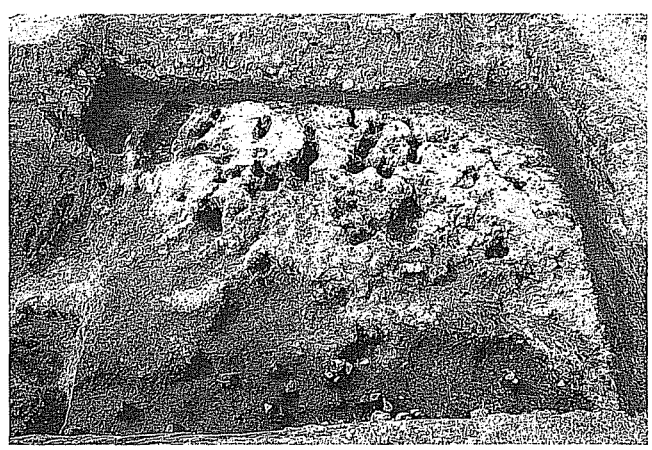
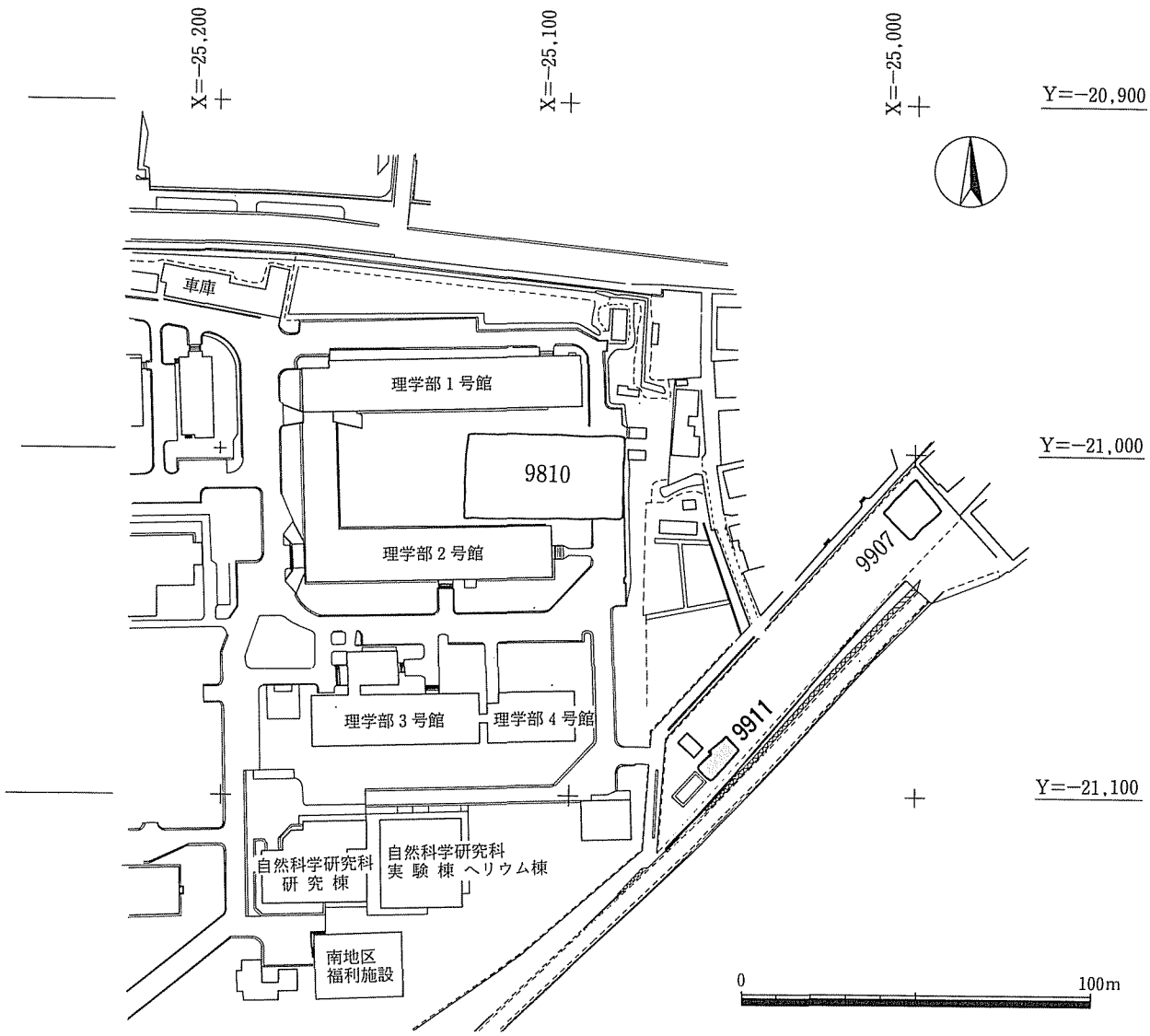
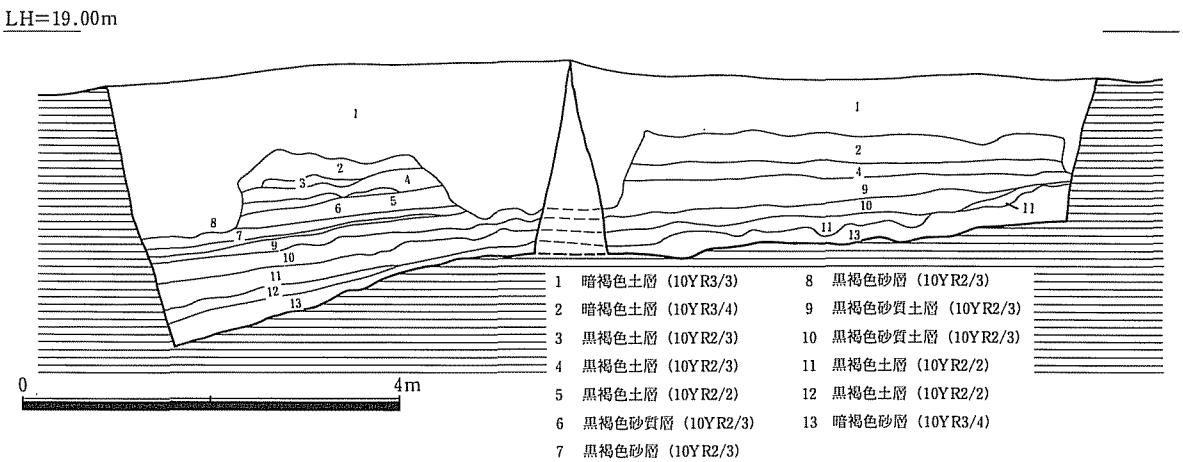


図17　黒髪南地区における調査地点配置図（1/2000）・9911調査区土層断面図（南西・北西壁）（1/80）





報告書抄録

ふりがな	くまもとだいがくまいぞうぶんかざいちょうさしつねんぽう　7
書名	熊本大学埋蔵文化財調査室年報　7
副書名	
巻次	
シリーズ名	熊本大学埋蔵文化財調査室年報
シリーズ号	7
編著者名	甲元眞之・小畑弘己・大坪志子・冨永明子
編集機関	熊本大学埋蔵文化財調査室
所在地	〒860-8555　熊本県熊本市黒髪2-39-1　TEL. 096-342-3832　FAX. 096-342-3832
発行年月日	2001年3月31日

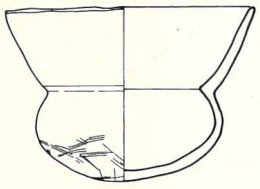
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
ほんじょう 本庄遺跡 （０００６地点）	くまもと 熊本県 熊本市 本荘	43 201		32° 47' 40"	130° 42' 38"	20001109 ～ 20010129	171.8㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
きょうまちだい 京町台遺跡 （０００７地点）	熊本県 熊本市 京町本丁	43 201		32° 48' 55"	130° 42' 22"	20010122 ～ 20010130	53㎡	学校敷地内の開発事業に伴う

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
本庄遺跡 （０００６地点）	集落址	縄文・古墳 古代	竪穴住居址4 ピット29	縄文土器 縄文時代石器 古代土師器・須恵器 鉄器 ガラス玉	
京町台遺跡 （０００７地点）	集落址	弥生・古代	土壙3 柱穴10	弥生土器 古代土師器 鉄器 土製紡錘車	

熊本大学埋蔵文化財調査室年報7
—2000年度—

平成13年3月27日　印刷
平成13年3月31日　発行

編集兼発行者　熊本大学埋蔵文化財調査室
熊本市黒髪2－39－1
電話（096)342－3832
印刷所　シモダ印刷株式会社



Published by
Archaeological Operation Center
The Kumamoto University
Kumamoto, 2001